



令和元年度 小山町町民意識調査 分析結果まとめ

- 調査方法 : 往復郵便・留置記入方式
(質問と回答が一体となったアンケート用紙に回答を直接記入し、その用紙を返信用封筒でそのまま返信していただく調査方法)
- 調査対象 : 町内在住20歳以上の男女
(町内5地域よりバランスよく無作為抽出)
- 配布票数 : 1,500票
- 調査期間 : 令和元年7月2日 ~ 令和元年7月17日
- 回収結果 : 回収票数544通 ※回収率 36.3%

令和元年8月

・基本事項集計結果（問1～問5）	1
・後期基本計画の目標（指標）に関する結果一覧表	2
・問6「あなたは今後とも小山町に住み続けたいと思いますか」	3
・問7「あなたは町の施策全般について、どの程度満足していますか」	4
・問8－（1）「自然環境が保全されている」	5
・問8－（2）「清らかで豊かな水資源が守られている」	6
・問8－（3）「ごみの減量化や資源化が進んでいる」	7
・問8－（4）「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした 美しいまちづくりができています」	8
・問8－（5）「安全な水道水が安定供給されている」	9
・問8－（6）「汚水（下水）が適切に処理されている」	10
・問8－（7）「計画的な土地利用が行われている」	11
・問8－（8）「道路網が便利で快適である」	12
・問8－（9）「小山町は快適な公共交通の整備に取り組んでいる」	13
・問8－（10）「誰もが住みやすい住環境が整っている」	14
・問8－（11）「公園・緑地が確保されている」	15
・問8－（12）「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」	16
・問8－（13）「地域福祉のためのボランティア活動等に、 進んで参加したい」	17
・問8－（14）「みんなが主体的に健康づくりに取り組んでいる」	18
・問8－（15）「必要な時に適切な医療が受けられる」	19
・問8－（16）「地域（近所）において、自身や家族の悩み事などを 真剣に相談できる人間関係が構築されている」	20
・問8－（17）「高齢者が自立していきいきと暮らしている」	21
・問8－（18）「介護が必要な状態になった場合、 適切な公的サービスを受けることができる」	22
・問8－（19）「障がいのある人が社会参加し、自立している」	23

・問 8－(20)「安心して子どもを産み育てる環境が整っている」	24
・問 8－(21)「地域に安心できる防災の仕組みがある」	25
・問 8－(22)「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」	26
・問 8－(23)「消防・救急体制が整っている」	27
・問 8－(24)「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」	28
・問 8－(25)「生涯学習活動の機会や場が充実している」	29
・問 8－(26)「図書館が便利で使いやすい」	30
・問 8－(27)「伝統文化や郷土を大切にしている」	31
・問 8－(28)「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」	32
・問 8－(29)「みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」	33
・問 8－(30)「生きる力を育む学校教育が行われている」	34
・問 8－(31)「子どもの教育について、 学校・家庭・地域の連携が取れている」	35
・問 8－(32)「地域間交流や国際交流が活発に行われている」	36
・問 8－(33)「普段の生活の中で、男女が平等である」	37
・問 8－(34)「企業誘致を活発に進めている」	38
・問 8－(35)「小山町が“農業”の活性化に取り組んでいる」	39
・問 8－(36)「小山町が“林業”の活性化に取り組んでいる」	40
・問 8－(37)「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」	41
・問 8－(38)「“金太郎生誕の地おやま”のPRが行われている」	42
・問 8－(39)「富士山須走口について情報発信が行われている」	43
・問 8－(40)「賑わいのある商業地づくりを行っている」	44
・問 8－(41)「周辺市町村との連携が進んでいる」	45
・問 8－(42)「町の財政運営が健全である」	46
・問 8－(43)「町民のための行政運営が行われている」	47
・問 8－(44)「地域コミュニティが活発である」	48
・問 8－(45)「町民が参加してまちづくりを進めている」	49
・問 8－(46)「役場からの必要な情報が伝わっている」	50

◆◆◆◆◆ 基本事項集計結果 ◆◆◆◆◆

問1 あなたの性別は。

男性：249人 (45.8%) 女性：292人 (53.7%) 無回答：3人 (0.5%)

問2 あなたの年齢は。

20代：35人 (6.4%) 50代：92人 (16.9%) 80代：1人 (0.2%)
30代：69人 (12.7%) 60代：134人 (24.6%) 無回答：2人 (0.4%)
40代：76人 (14.0%) 70代：135人 (24.8%)

問3 あなたのお住いの地区はどこですか。

成美地区：108人 (19.9%) 北郷地区：171人 (31.4%)
明倫地区：94人 (17.3%) 須走地区：110人 (20.2%)
足柄地区：58人 (10.7%) 無回答：3人 (0.5%)

問4 あなたは現在結婚されていますか。

結婚している（事実婚を含む）：412人 (75.7%)
結婚していない：76人 (14.0%)
結婚していたが、離婚・死別した：55人 (10.1%) 無回答：1人 (0.2%)

問5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。（別居を含む）

子どもがいる：429人 (78.9%)
子どもはいない：112人 (20.6%) 無回答：3人 (0.5%)

※各項目の分析について

問6以降の結果については、全体・地区別・男女（年齢）別に分析をしました。なお分析は、第4次小山町総合計画後期基本計画の目標（指標）に関するもの（次頁参照）のみとしています。

今回、同時に調査を行った「まちづくりについて」「総合政策の『重点施策』について」「男女共同参画について」「指定ごみ袋等について」「健康・子育て・保健事業について」「町の高速バス交通について」の結果につきましては、それぞれの所管課において、事業立案や各種計画の策定に活用されます。

担当・問合せ：小山町 町長戦略課

76-6133

後期基本計画の目標(指標)に関する結果一覧表

後期基本計画の施策 (ナンバーとタイトル)		アンケートNo.	町民アンケートによる目標 (指標)	H29 (前々回)	H30 (前回)	R1 (今回)	前回との比較	(目標)
1-1	恵まれた環境の保全	問8-(1)	「自然環境が保全されている」と回答する町民の割合	68%	66%	64%	↓	80%
1-2	清らかで豊かな水資源の保全と活用	問8-(2)	「清らかで豊かな水資源が守られている」と回答する町民の割合	80%	80%	77%	↓	90%
1-3	ごみの減量化と適切な処理	問8-(3)	「ごみの減量化や資源化が進んでいる」と回答する町民の割合	60%	58%	52%	↓	70%
1-4	人と自然が調和する景観の形成と環境美化の推進	問8-(4)	「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができています」と回答する町民の割合	51%	52%	48%	↓	70%
1-5	安全な水の安定供給	問8-(5)	「安全な水道水が安定供給されている」と回答する町民の割合	93%	91%	90%	↓	95%
1-6	適切な汚水処理の推進	問8-(6)	「汚水(下水)が適切に処理されている」と回答する町民の割合	59%	63%	59%	↓	70%
1-7	活力ある土地利用の推進	問8-(7)	「計画的な土地利用が行われている」と回答する町民の割合	30%	34%	29%	↓	50%
1-8	便利で快適な道路網の整備	問8-(8)	「道路網が便利で快適である」と回答する町民の割合	33%	30%	26%	↓	50%
1-9	公共交通の活性化	問8-(9)	町が「快適な公共交通の整備に取り組んでいる」と回答する町民の割合	25%	27%	19%	↓	50%
1-10	良好な住環境の実現	問8-(10)	「誰もが住みやすい住環境が整っている」と回答する町民の割合	22%	24%	20%	↓	50%
1-11	公園・緑地整備の推進	問8-(11)	「公園・緑地が確保されている」と回答する町民の割合	38%	39%	40%	↑	50%
2-1	地域で支え合う福祉の推進	問8-(12)	「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」と回答する町民の割合	52%	53%	53%	→	65%
2-1	地域で支え合う福祉の推進	問8-(13)	「地域福祉のためのボランティア活動等に、進んで参加したい」と回答する町民の割合	-	-	38%	-	-
2-2	町民主体の健康づくりと地域医療の推進	問8-(14)	「みんなが主体的に健康づくりに取り組んでいる」と回答する町民の割合	37%	42%	36%	↓	50%
2-2	町民主体の健康づくりと地域医療の推進	問8-(15)	「必要な時に適切な医療が受けられる」と回答する町民の割合	44%	45%	41%	↓	60%
2-2	町民主体の健康づくりと地域医療の推進 (参考)	問8-(16)	「地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを真剣に相談できる人間関係が構築されている」と回答する町民の割合	27%	28%	28%	→	-
2-3	高齢者福祉の推進	問8-(17)	「高齢者が自立していきいきと暮らしている」と回答する町民の割合	37%	37%	33%	↓	50%
2-4	介護予防事業と介護給付事業の充実	問8-(18)	「介護が必要な状態になった場合、適切な公的サービスを受けることができる」と回答する町民の割合	40%	43%	36%	↓	50%
2-5	障がい者福祉の充実	問8-(19)	「障がいのある人が社会参加し、自立している」と回答する町民の割合	25%	27%	23%	↓	50%
2-6	子ども・子育て支援の充実	問8-(20)	「安心して子どもを生み育てる環境が整っている」と回答する町民の割合	43%	48%	45%	↓	50%
2-7	災害に強いまちづくり	問8-(21)	「地域に安心できる防災の仕組みがある」と回答する町民の割合	50%	48%	48%	→	60%
2-8	交通事故・犯罪のないまちづくり	問8-(22)	「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」と回答する町民の割合	71%	72%	69%	↓	80%
2-9	消防・救急対策の推進	問8-(23)	「消防・救急体制が整っている」と回答する町民の割合	77%	75%	74%	↓	80%
2-10	消費者教育の推進	問8-(24)	「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」と回答する町民の割合	69%	71%	65%	↓	80%
3-1	心豊かな生涯学習の推進	問8-(25)	「生涯学習活動の機会や場が充実している」と回答する町民の割合	48%	53%	51%	↓	55%
3-1	心豊かな生涯学習の推進	問8-(26)	「図書館が便利で使いやすい」と回答する町民の割合	43%	46%	43%	↓	50%
3-2	地域文化の振興と健全な青少年の育成	問8-(27)	「伝統文化や郷土を大切にしている」と回答する町民の割合	54%	57%	54%	↓	70%
3-2	地域文化の振興と健全な青少年の育成	問8-(28)	「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」と回答する町民の割合	65%	63%	62%	↓	70%
3-3	スポーツ・レクリエーション活動の振興	問8-(29)	「みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」と回答する町民の割合	40%	41%	41%	→	50%
3-4	生きる力を育む学校教育の充実	問8-(30)	「生きる力を育む学校教育が行われている」と回答する町民の割合	45%	48%	46%	↓	50%
3-4	生きる力を育む学校教育の充実	問8-(31)	「子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている」と回答する町民の割合	49%	51%	48%	↓	55%
3-5	地域間交流・国際交流の推進	問8-(32)	「地域間交流や国際交流が活発に行われている」と回答する町民の割合	37%	37%	30%	↓	50%
3-6	誰もが活躍できる男女共同参画の推進	問8-(33)	「普段の生活の中で、男女が平等である」と回答する町民の割合	42%	43%	40%	↓	55%
3-7	三来拠点事業の推進	問8-(34)	「企業誘致を活発に進めている」と回答する町民の割合	48%	55%	50%	↓	60%
3-8	活気ある農業の振興	問8-(35)	「小山町が“農業”の活性化に取り組んでいる」と回答する町民の割合 (H27の数値は参考値)	37%	39%	33%	↓	50%
3-9	適切な森林整備を通じた林業の活性化	問8-(36)	「小山町が“林業”の活性化に取り組んでいる」と回答する町民の割合 (H27の数値は参考値)	27%	27%	22%	↓	50%
3-10	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興 (参考)	問8-(37)	「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」と回答する町民の割合	20%	19%	19%	→	-
3-10	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興 (参考)	問8-(38)	「“金太郎生誕の地おやま”のPRが行われている」と回答する町民の割合	51%	53%	48%	↓	-
3-10	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興 (参考)	問8-(39)	「富士山須走口について情報発信が行われている」と回答する町民の割合	30%	35%	29%	↓	-
3-11	賑わいと活気があふれる商工業の振興	問8-(40)	「賑わいのある商業地づくりを行っている」と回答する町民の割合	11%	11%	7%	↓	50%
3-12	定住・移住の促進と婚活支援		— (総合戦略に掲げる指標のみで、町民アンケートによる指標はなし)					
4-1	広域連携の推進	問8-(41)	「周辺市町村との連携が進んでいる」と回答する町民の割合	26%	28%	22%	↓	50%
4-2	健全な財政運営の確立	問8-(42)	「町の財政運営が健全である」と回答する町民の割合	28%	31%	21%	↓	50%
4-3	効率的な行政運営の推進	問8-(43)	「町民のための行政運営が行われている」と回答する町民の割合	32%	33%	27%	↓	50%
4-4	参加と協働によるまちづくり	問8-(44)	「地域コミュニティが活発である」と回答する町民の割合	33%	33%	27%	↓	50%
4-4	参加と協働によるまちづくり	問8-(45)	「町民が参加してまちづくりを進めている」と回答する町民の割合	28%	30%	22%	↓	50%
4-4	参加と協働によるまちづくり	問8-(46)	「役場からの必要な情報が伝わっている」と回答する町民の割合	50%	47%	49%	↑	70%

●アンケート実施期間：令和元年7月2日～令和元年7月17日

●アンケート発送数：1,500通 ⇒ 回収数：544通 ⇒ 回収率：36.3%

(参考・・・昨年度回収票数：577通 昨年度回収率：38.5%)

●前回よりも評価が上がったもの(↑)：2件

横ばいなもの(→)：5件

下がったもの(↓)：38件

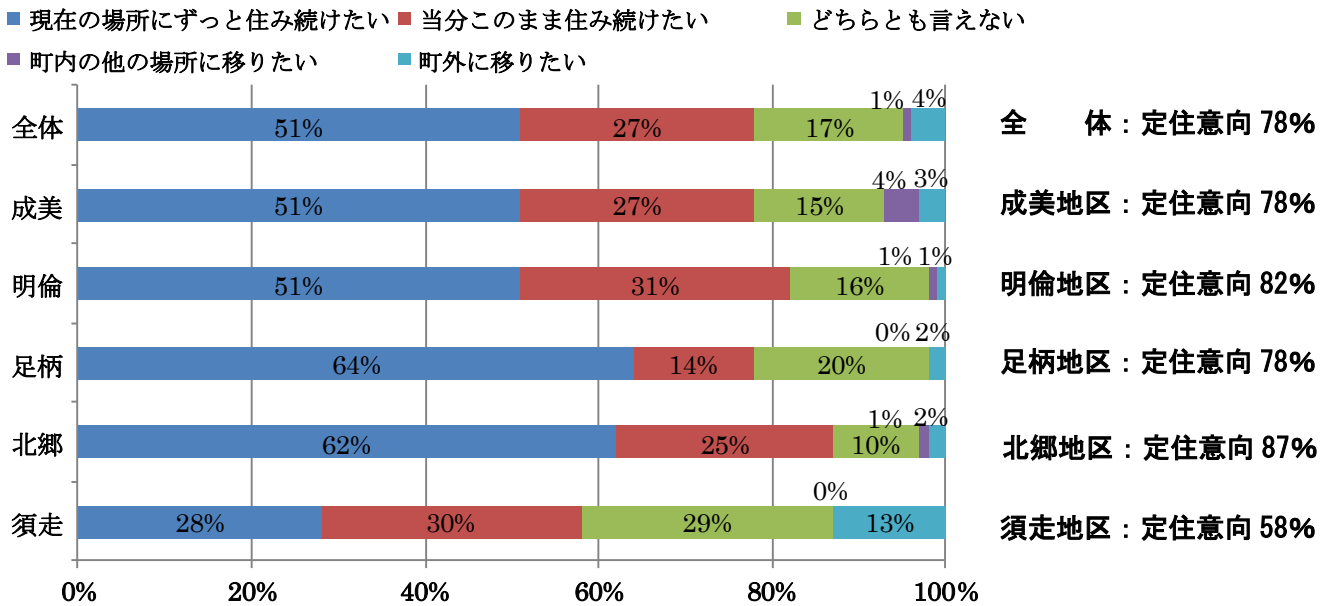
本年度からの指標により評価対象外(-)：1件

問6 「あなたは今後とも小山町に住み続けたいと思いますか」

今回の調査で、「現在の場所にずっと住み続けたい」及び「当分このまま住み続けたい」と回答した町民の割合を、「今後とも小山町に住み続けたい」という“定住意向”がある人の割合とします。

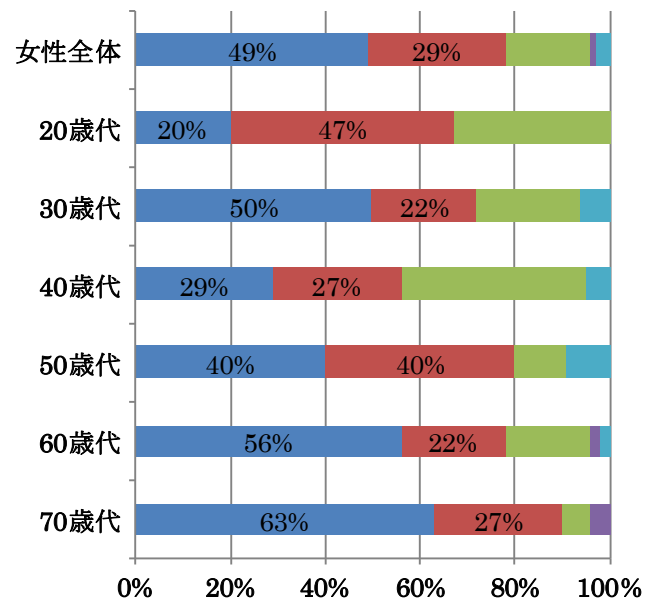
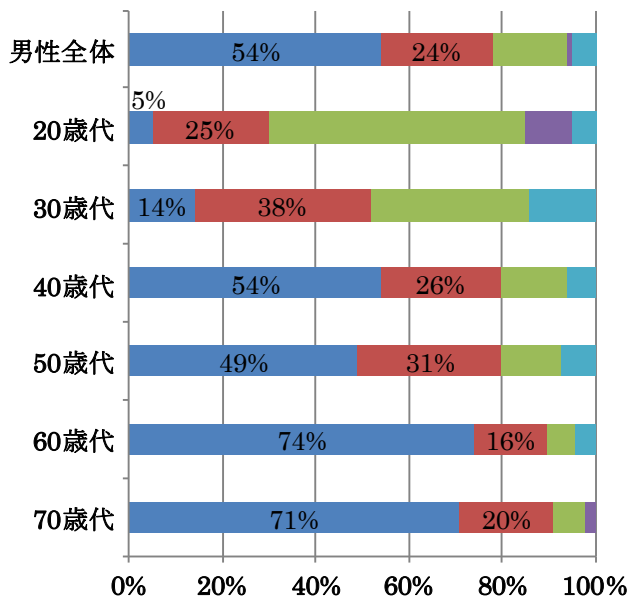
定住意向がある人の割合 ⇒ 78%

上記の値は、前回調査時と同様の78%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】



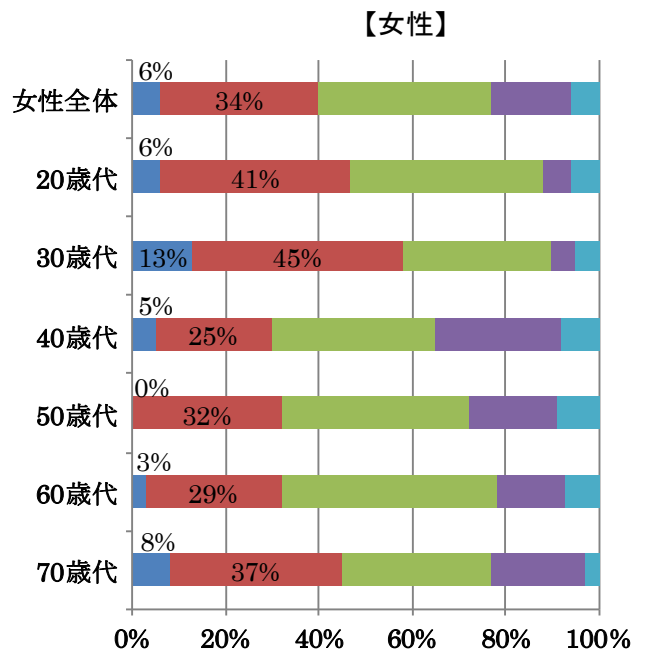
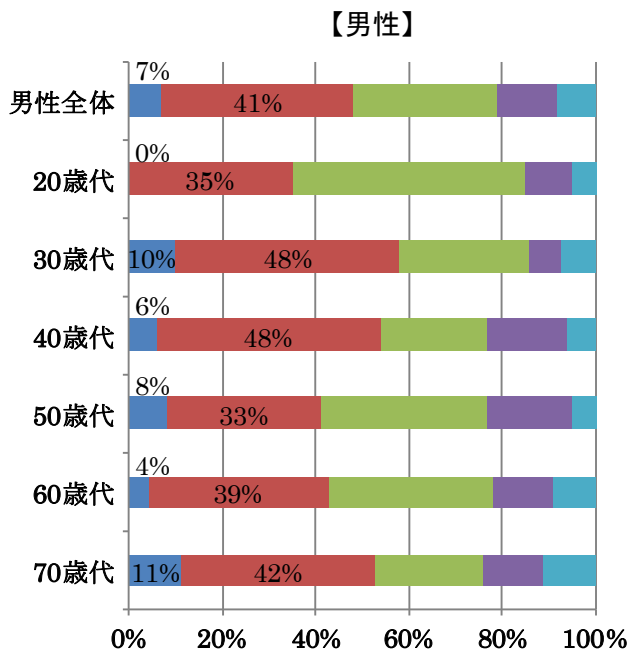
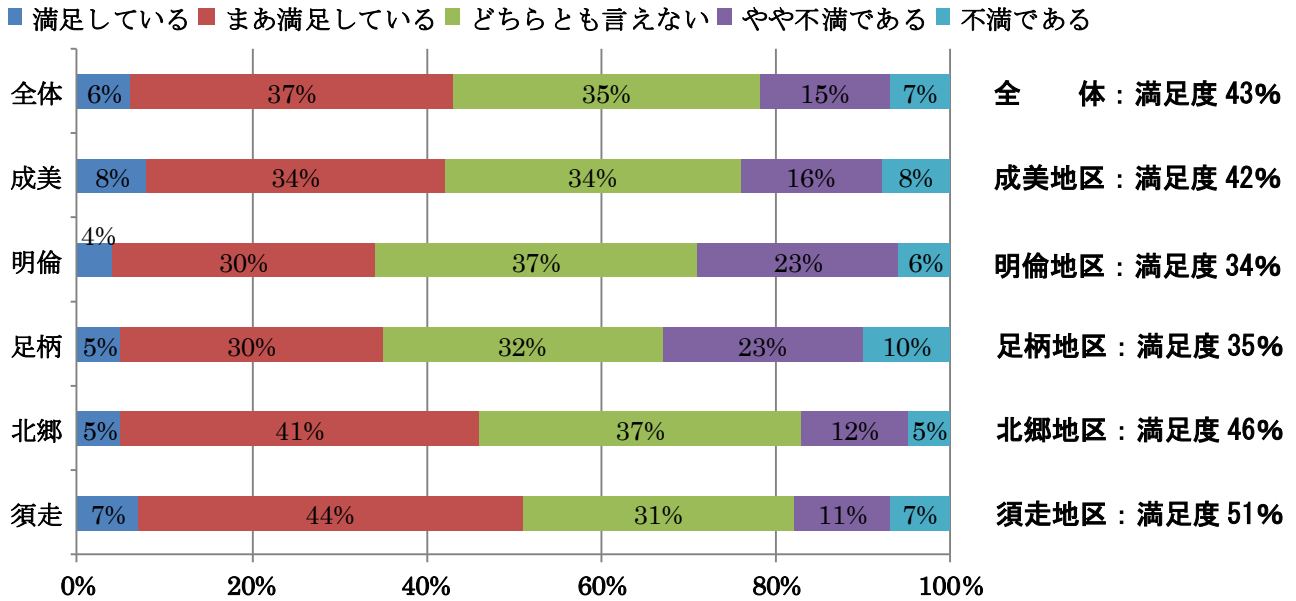
地区別の比較においては、須走を除く4地区での定住意向は高い傾向にあり、特に北郷地区の定住意向は非常に高いと言えます。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代の定住意向が非常に低く、年齢を重ねるごとに定住意向が高まる傾向にあります。女性では、男性と比べ20歳代と30歳代の定住意向が高く、若い世代における男女の差が大きくなっています。

問7 「あなたは、町の施策全体について、どの程度満足していますか。」

今回の調査で、「満足している」及び「まあ満足している」と回答した町民の割合を、町の施策全体に満足している人の割合とします。

町の施策全体に満足している人の割合 ⇒ 43%

上記の値は、前回の52%から今回の43%に9%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



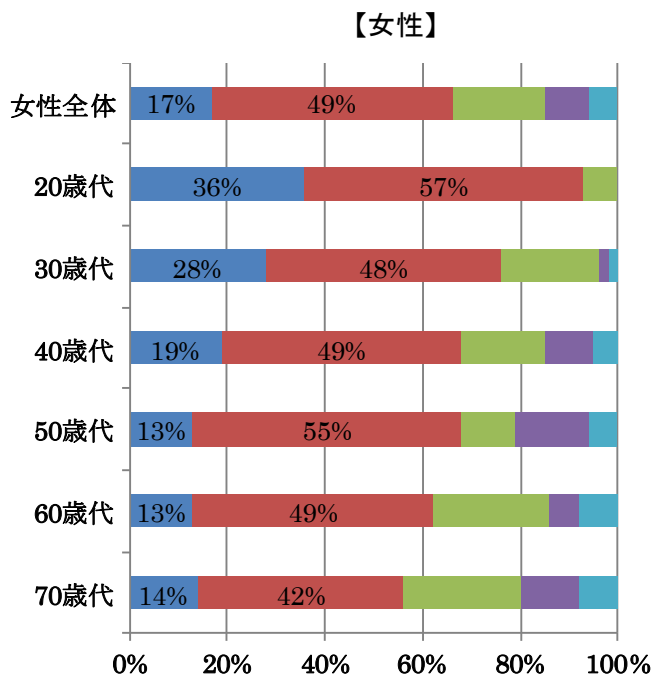
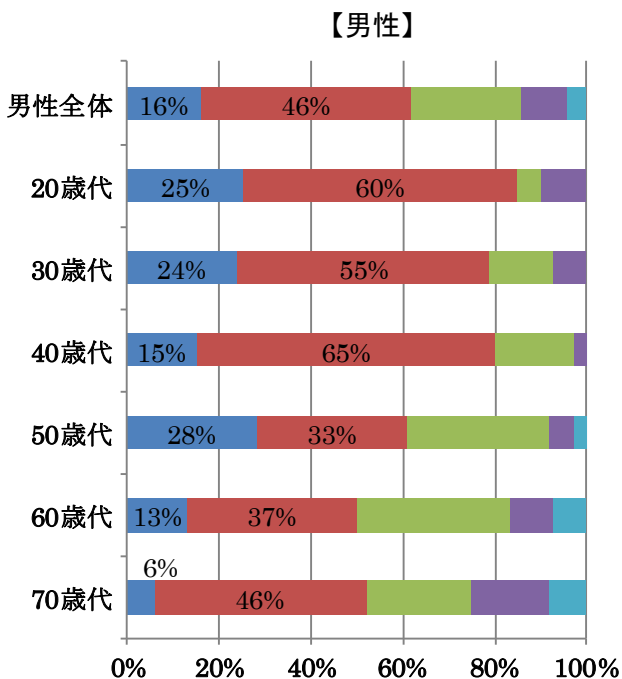
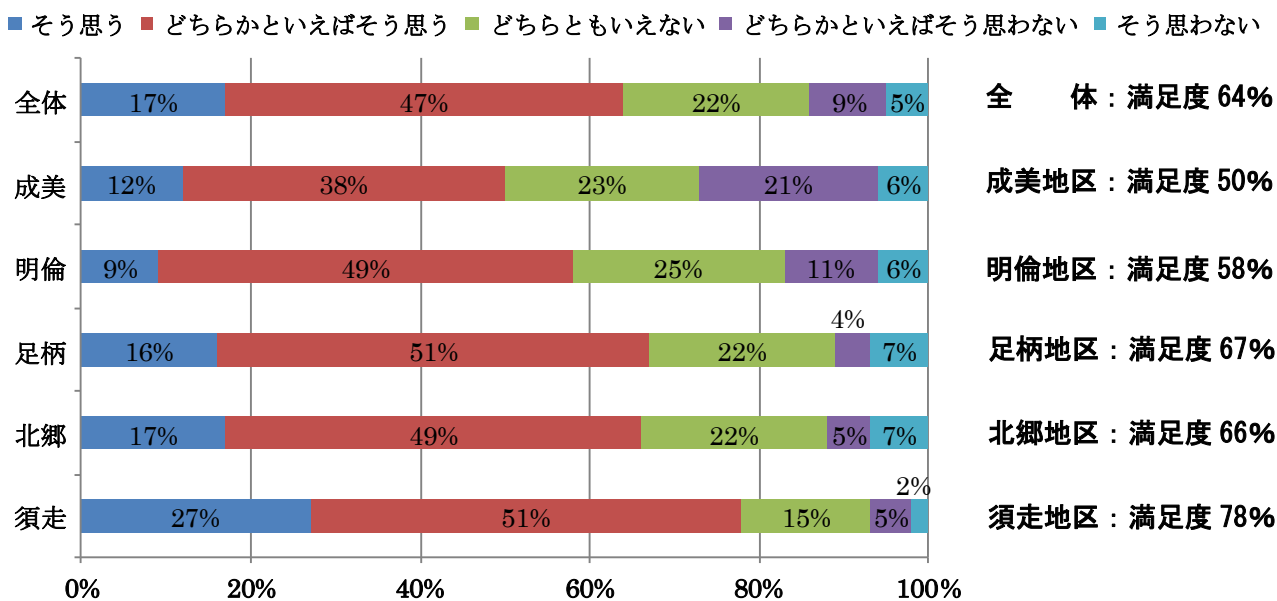
地区別の比較では、須走地区の満足度が高く、明倫地区と足柄地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、30歳代と40歳代、70歳代の満足度が高く、20歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では30歳代の満足度が高く、40歳代から60歳代にかけての満足度がやや低いという結果となっています。

【※問8の全ての質問において、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合を、『町民の満足度』としています。】

問8－(1) 「自然環境が保全されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 64%

上記の値は、前回の66%から今回の64%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

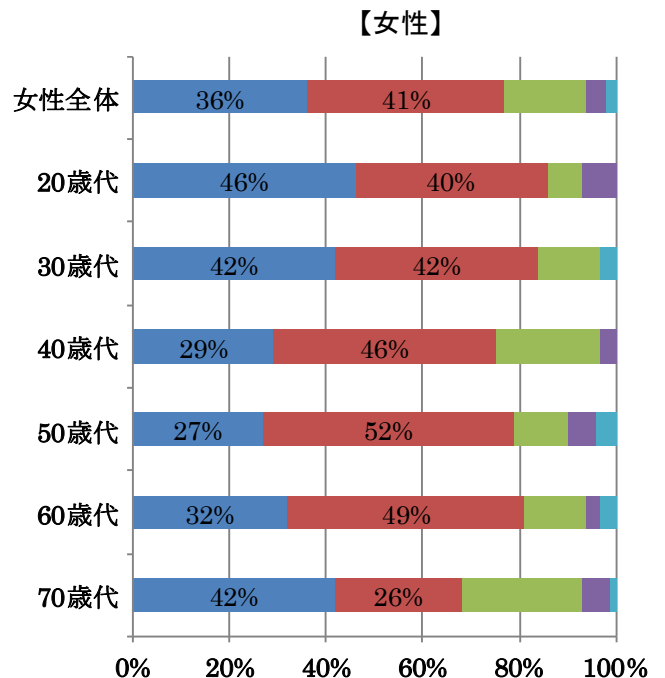
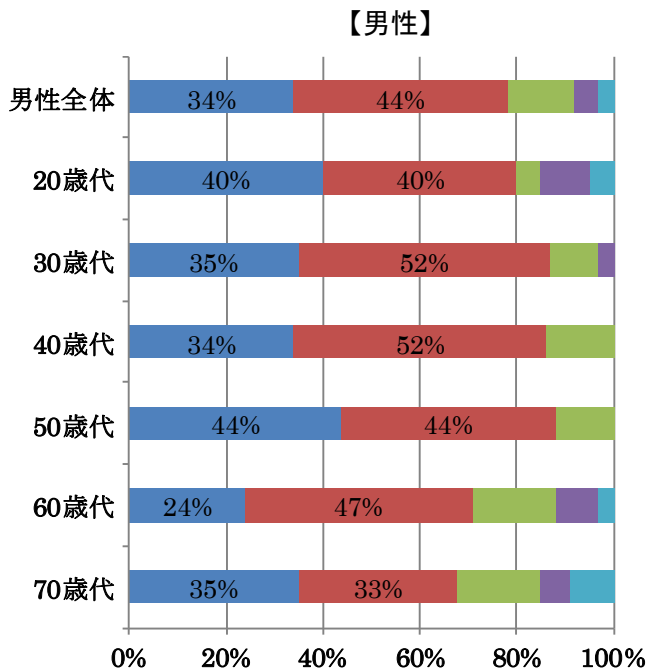
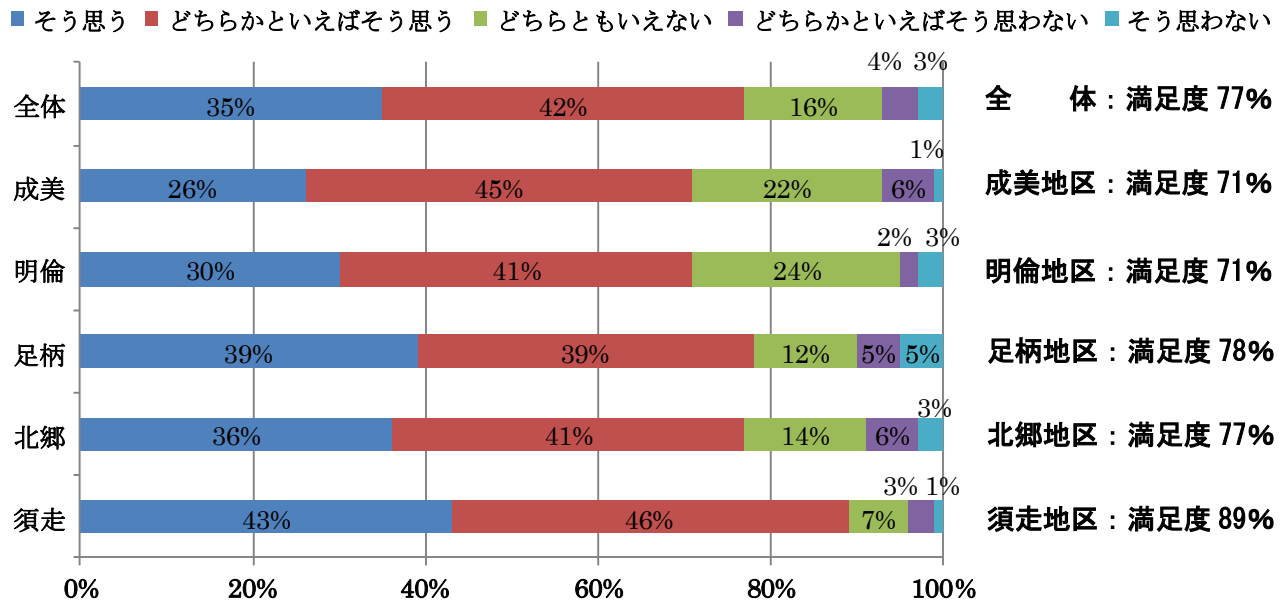


地区別の比較では、須走地区の満足度が高く、成美地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに20歳代の満足度が高くなっており、ややばらつきはあるものの、世代が上がるにつれて満足度が低くなる傾向にあります。

問8－(2) 「清らかで豊かな水資源が守られている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 77%

上記の値は、前回の80%から今回の77%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

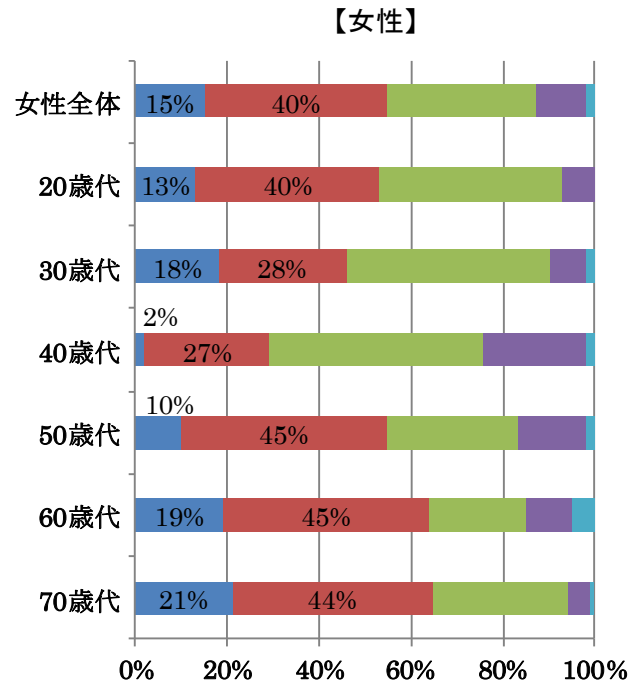
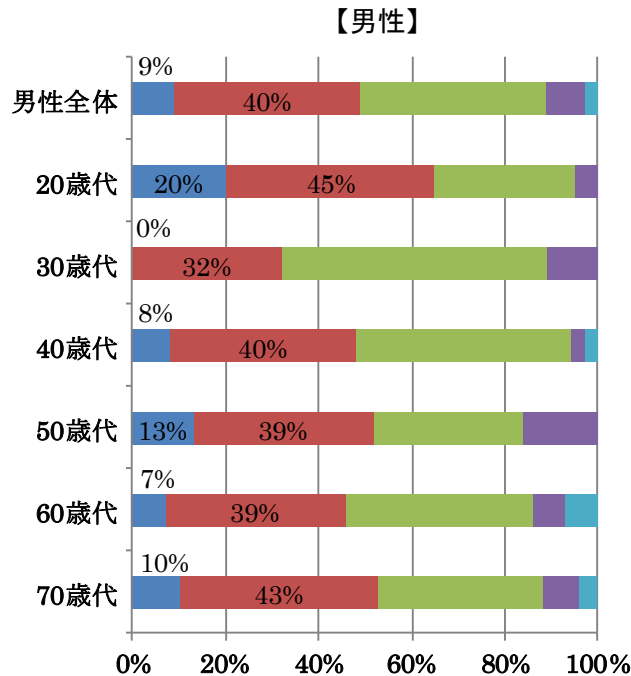
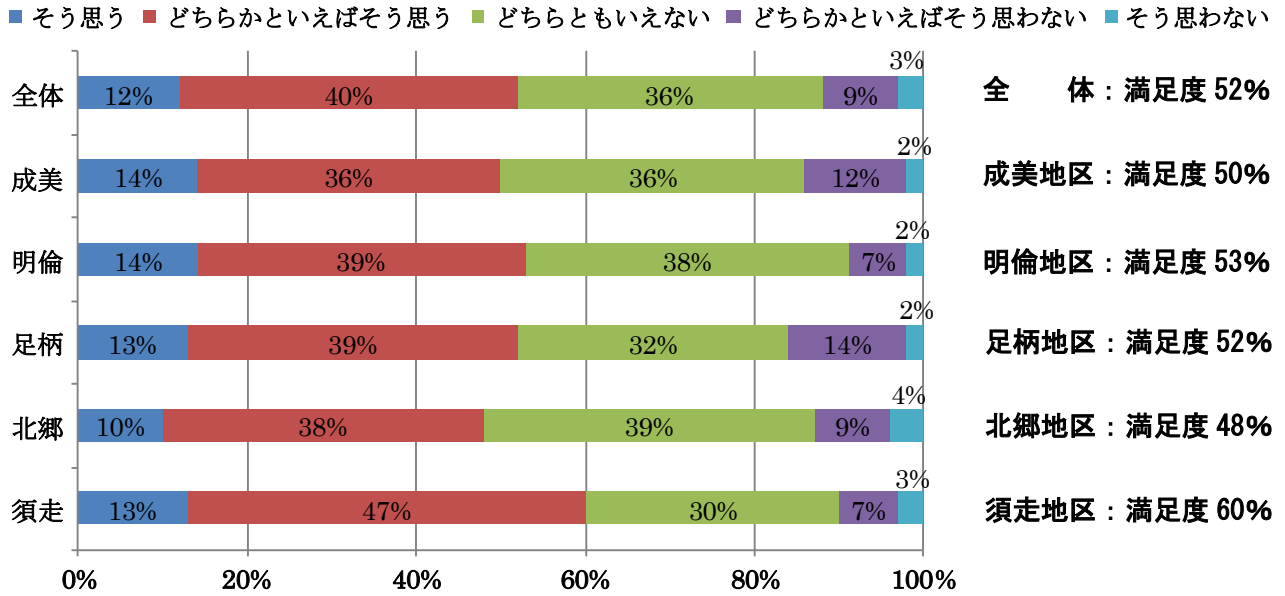


地区別の比較は全体的に高い満足度となっていますが、中でも須走地区の満足度が特に高く、成美地区と明倫地区の満足度がやや低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較でも概ね平均値に近い満足度となっていますが、男性では60歳代と70歳代、女性では70歳代の満足度がやや低いという結果となっています。

問 8 - (3) 「ごみの減量化や資源化が進んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 52%

上記の値は、前回の 58%から今回の 52%に 6%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

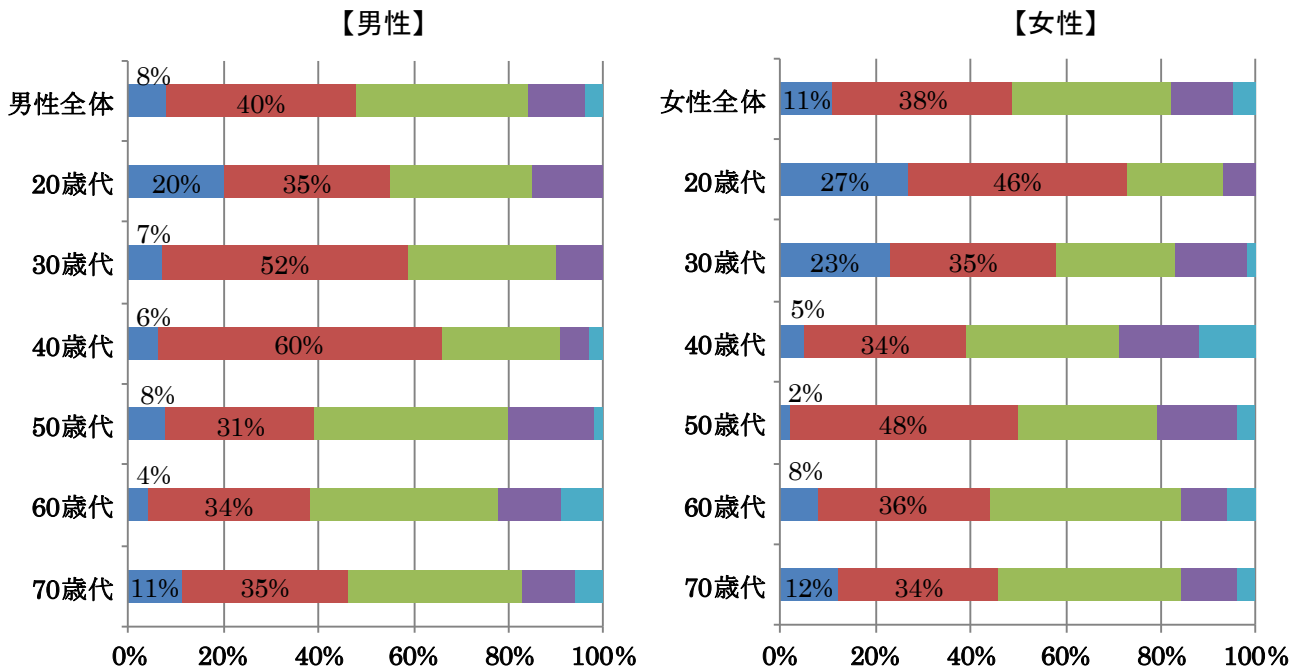
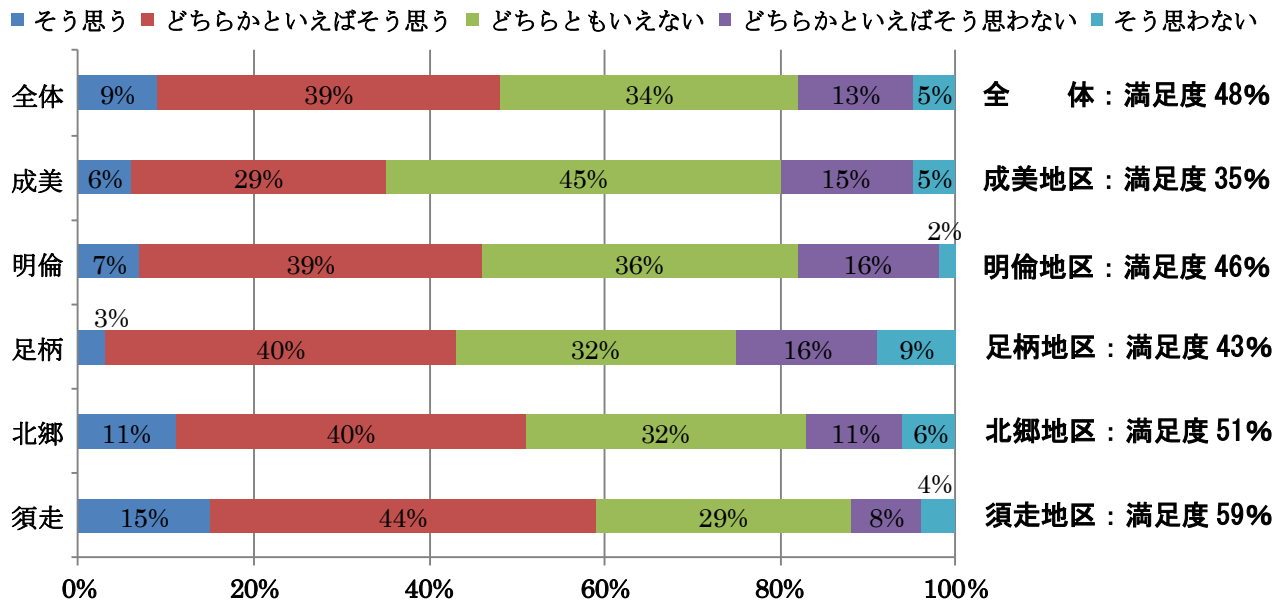


地区別の比較では、須走地区の満足度が、他の 4 地区と比べて高いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20 歳代の満足度が高く、30 歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、60 歳代と 70 歳代の満足度が高く、40 歳代の満足度が低いという結果となっています。

問8－(4) 「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 48%

上記の値は、前回の52%から今回の48%に4%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

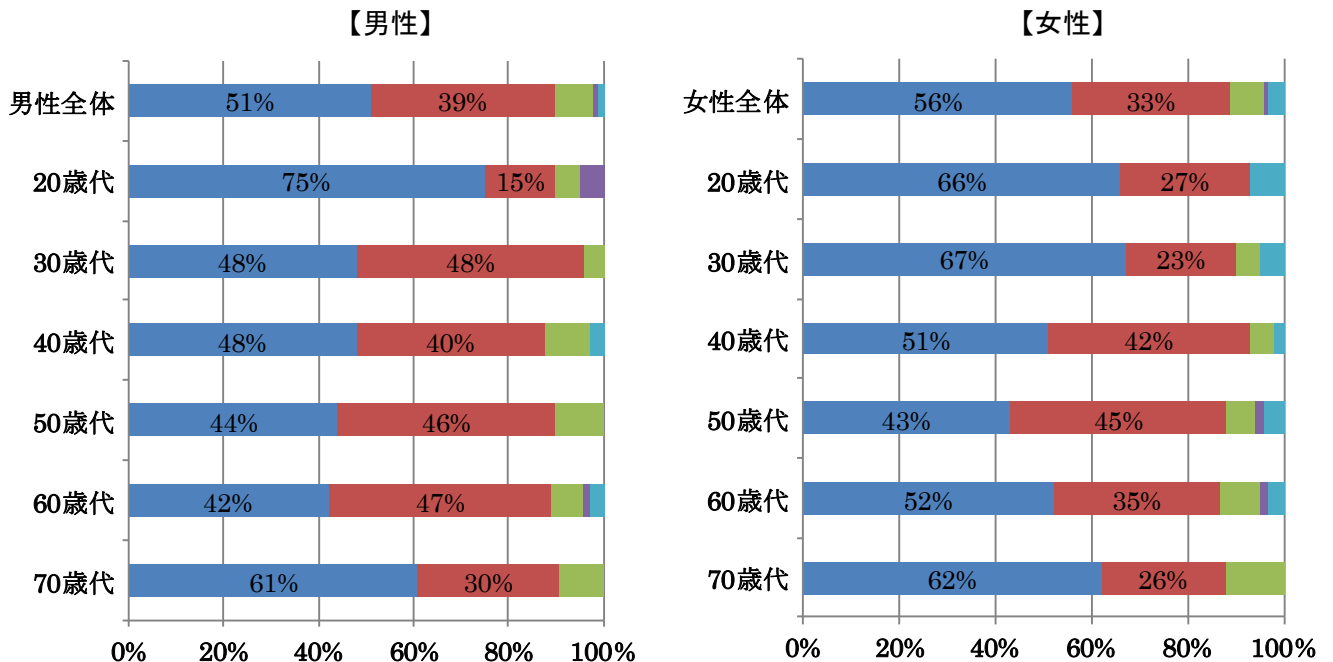
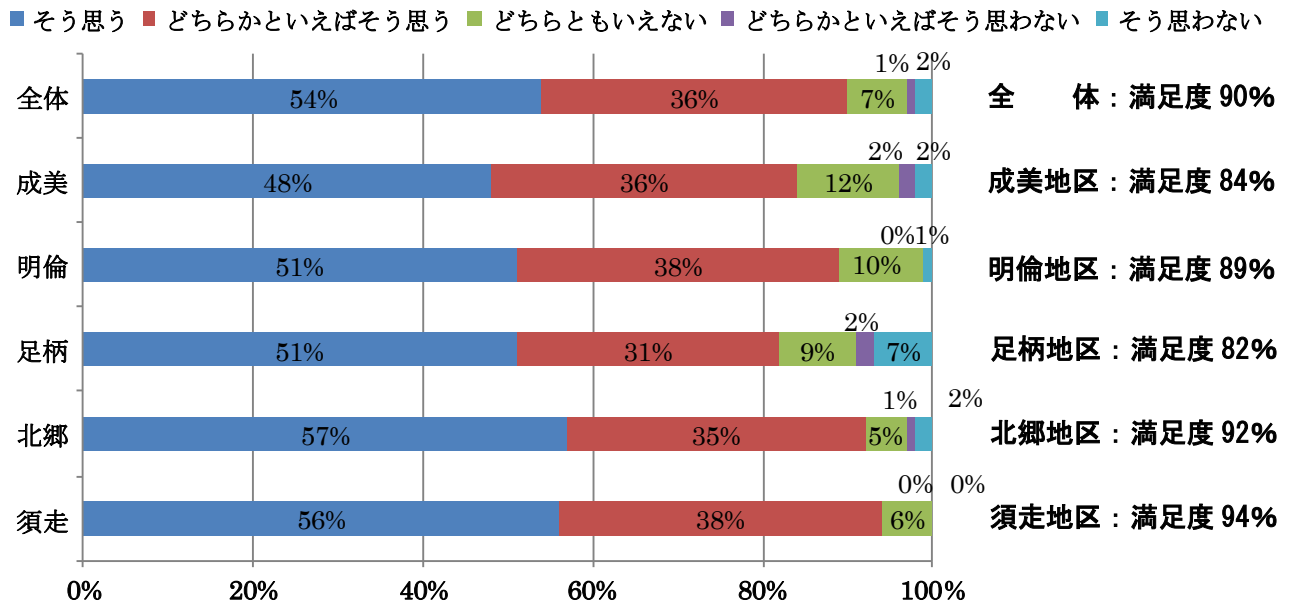


地区別の比較では、須走地区の満足度が高く、成美地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代から40歳代にかけての満足度が高く、50歳代と60歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、20歳代と30歳代の満足度が高く、40歳代の満足度が低いという結果となっています。

問8－(5) 「安全な水道水が安定供給されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 90%

上記の値は、前回の91%から今回の90%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

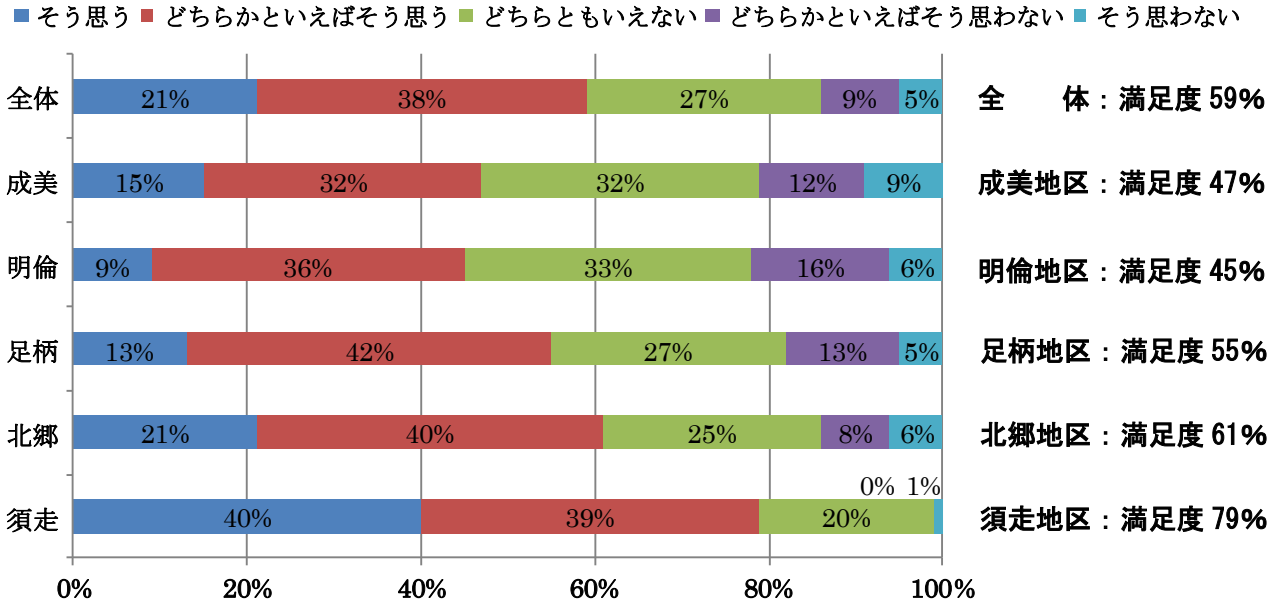


この質問に関しては、例年90%以上の高い満足度をキープし続けています。地区別及び男女（年齢）別でも、全体的に非常に高い満足度となっています。

問8－(6) 「汚水(下水)が適切に処理されている」

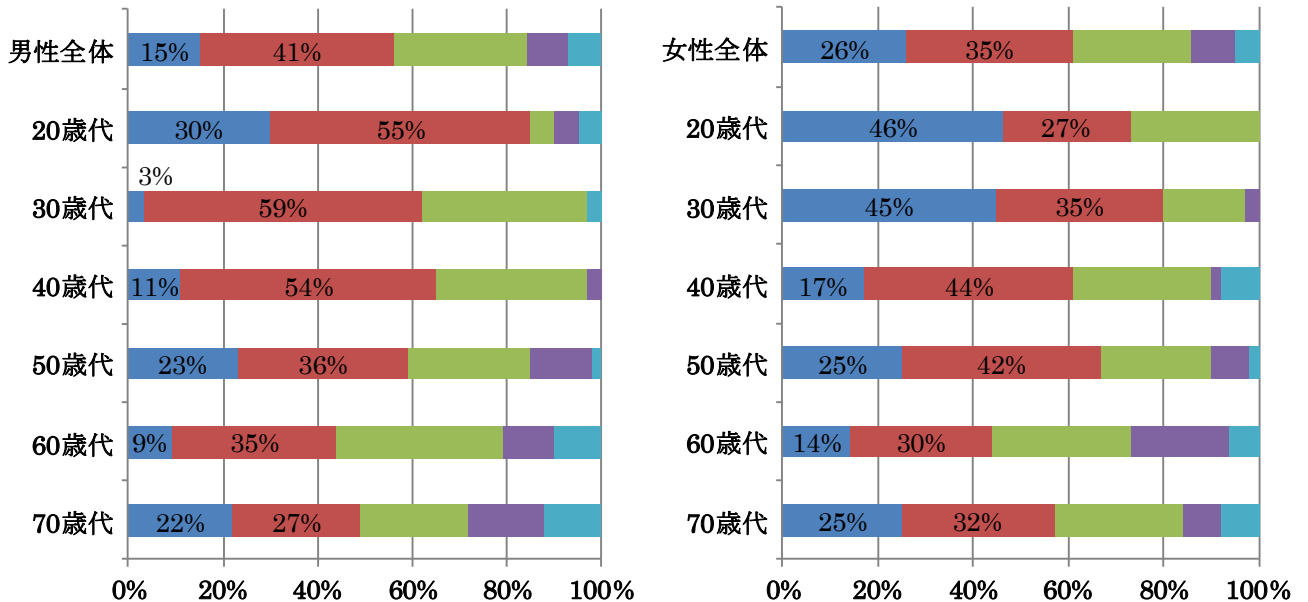
今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 59%

上記の値は、前回の63%から今回の59%に4%減少しています。全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

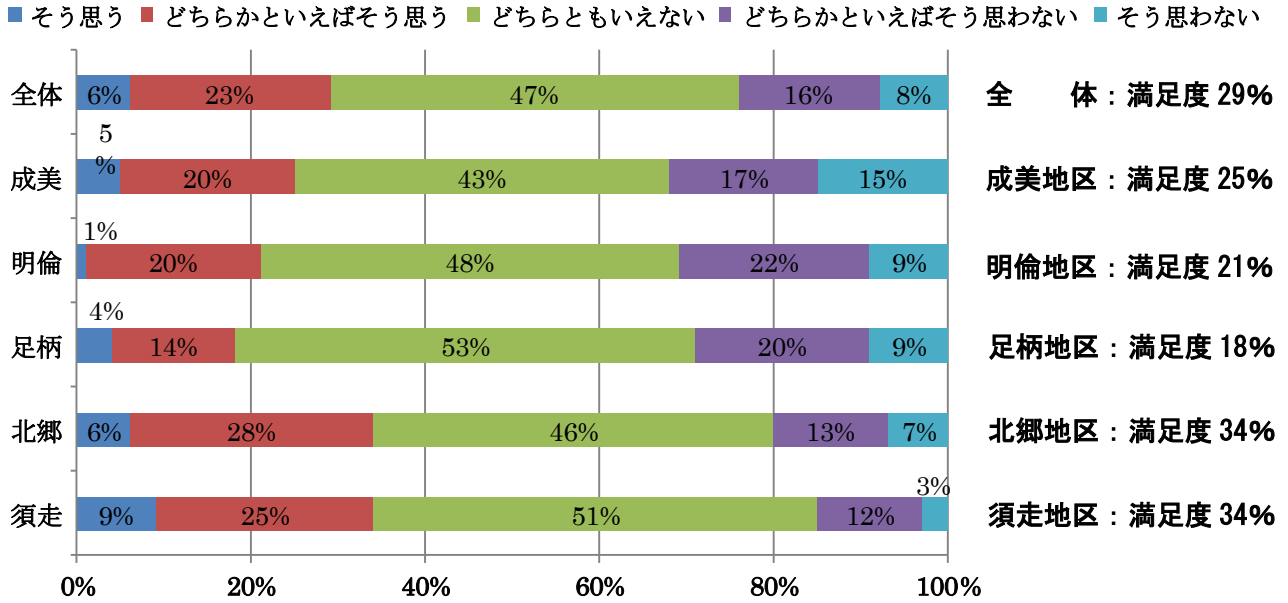


地区別の比較では、須走地区の満足度が高く、成美地区と明倫地区の満足度が低いという結果となっています。男女(年齢)別の比較では、男性では、20歳代の満足度が高く、60歳代と70歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、20歳代と30歳代の満足度が高く、60歳代の満足度が低いという結果となっています。

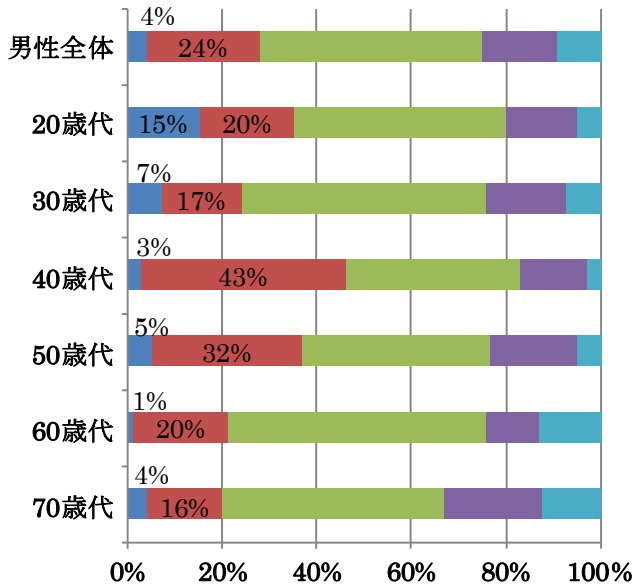
問 8 - (7) 「計画的な土地利用が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 29%

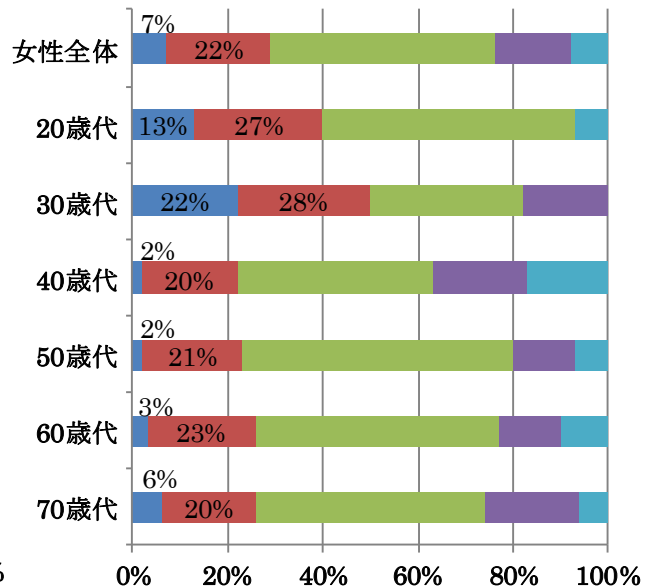
上記の値は、前回の34%から今回の29%に5%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

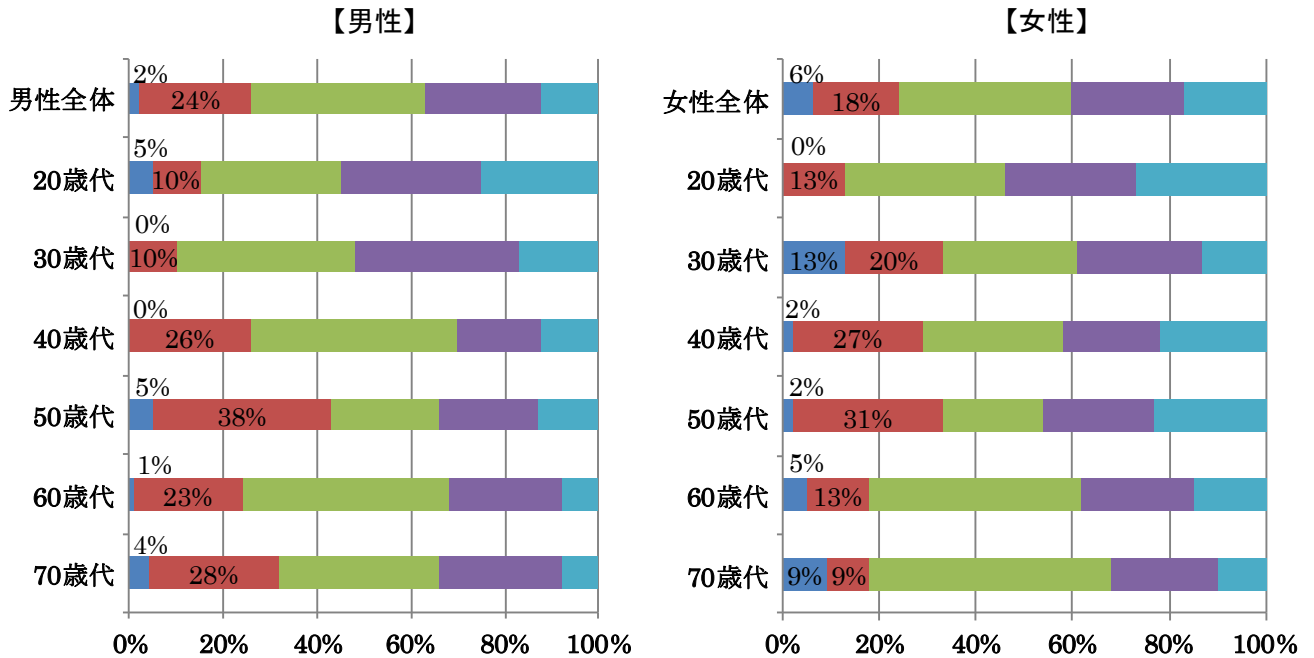
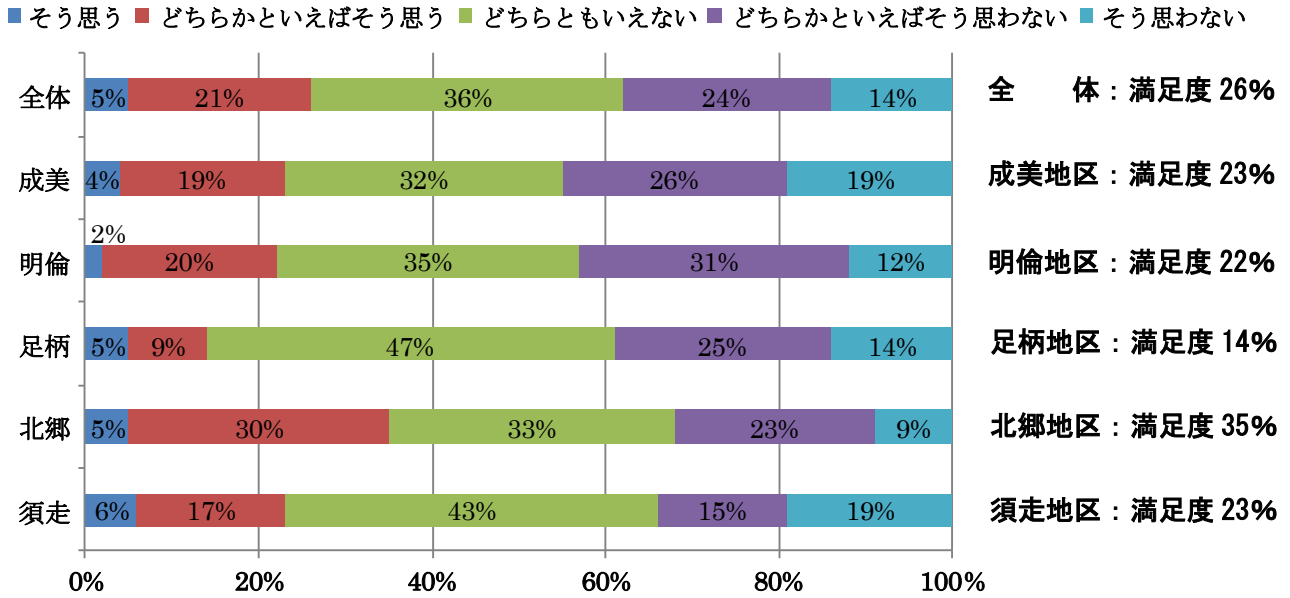


地区別の比較では、北郷地区と須走地区の満足度が、他の3地区と比べ高いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、40歳代の満足度が高く、30歳代と60歳代、70歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、20歳代と30歳代の満足度が他の世代と比べて高いという結果となっています。

問8－(8) 「道路網が便利で、快適である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 26%

上記の値は、前回の30%から今回の26%に4%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

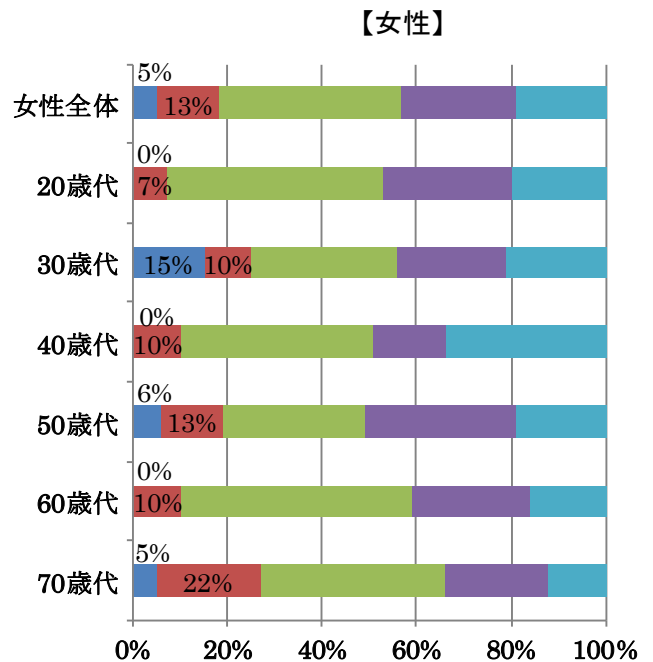
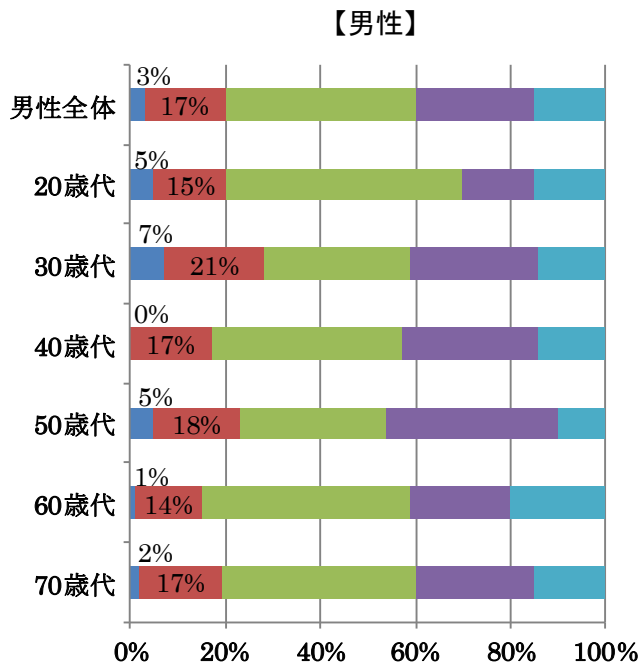
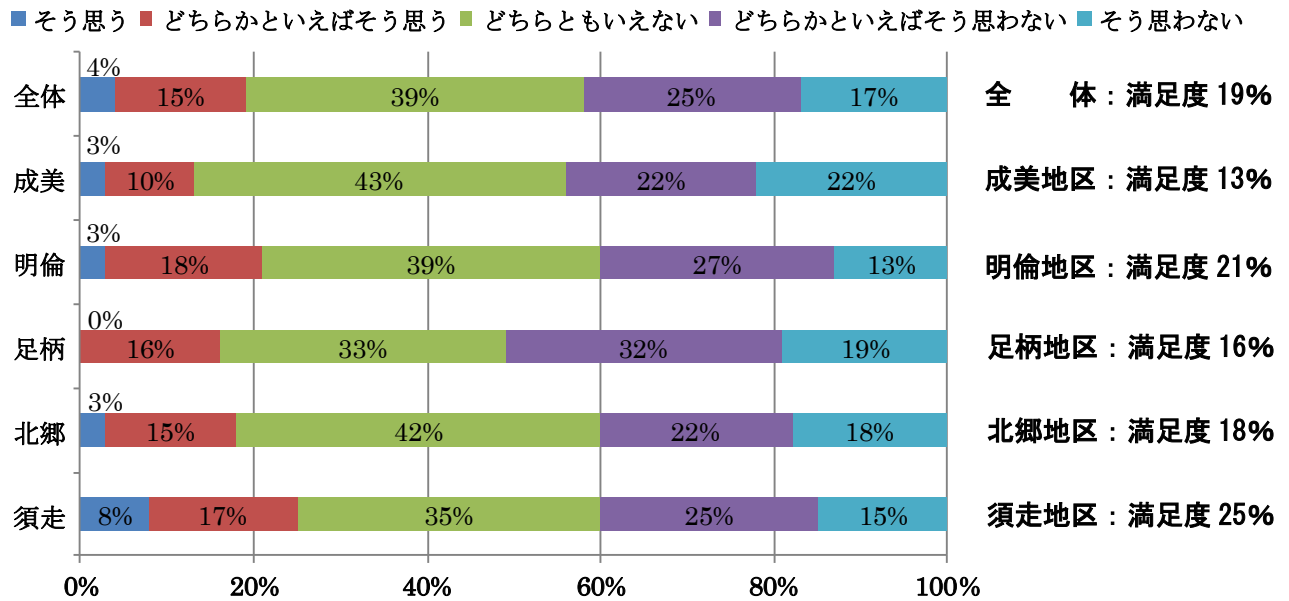


地区別の比較では、北郷地区の満足度が高く、足柄地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、50歳代の満足度が高く、20歳代と30歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、30歳代から50歳代にかけての満足度が高く、20歳代の満足度が低いという結果となっています。

問 8 - (9) 町が「快適な公共交通の整備に取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 19%

上記の値は、前回の27%から今回の19%に8%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

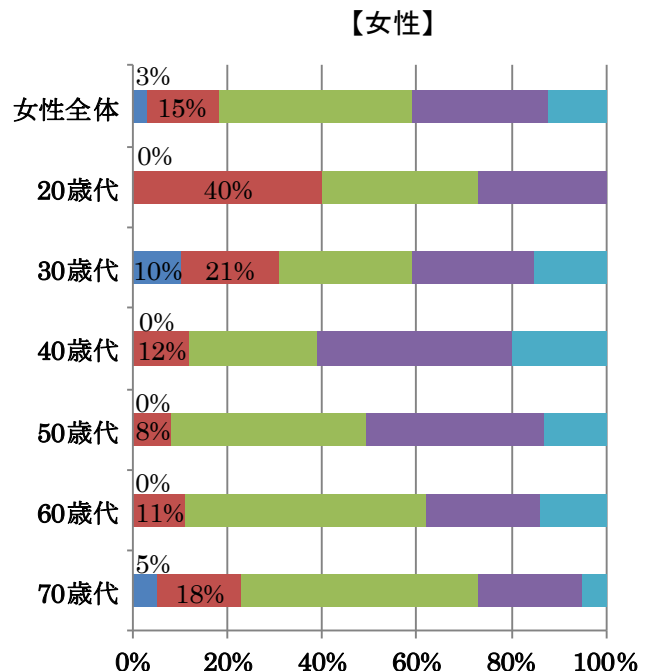
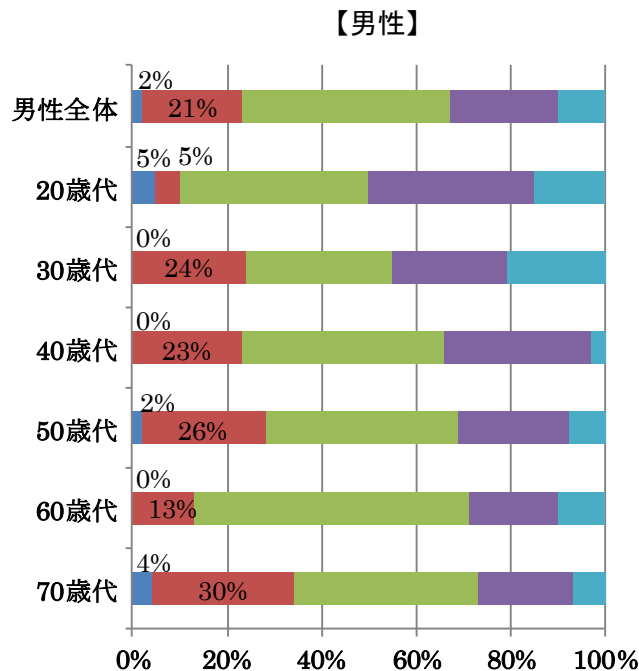
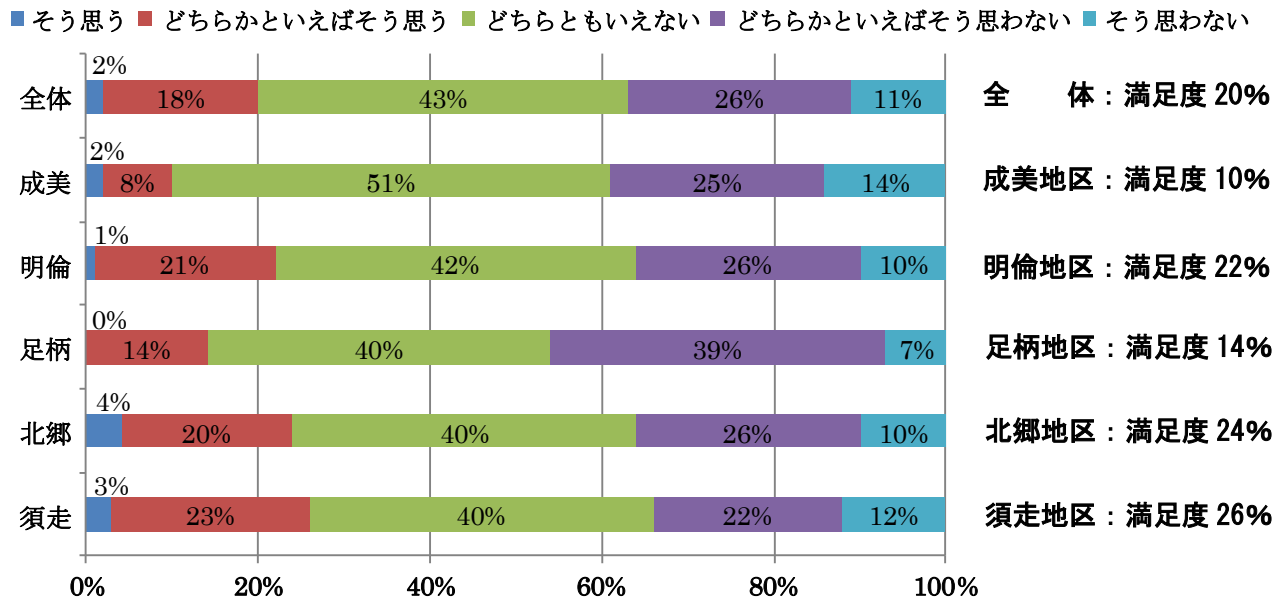


地区別の比較では、全体的に満足度は低い傾向にあります。その中で須走地区の満足度がやや高く、成美地区の満足度がやや低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較でも、ややばらつきはあるものの、全体的に満足度は低い傾向にあります。そのなかで、男女ともに30歳代の満足度が、他の世代と比べるとやや高い傾向にあります。

問 8 - (1 0) 「誰もが住みやすい住環境が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 20%

上記の値は、前回の24%から今回の20%に4%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

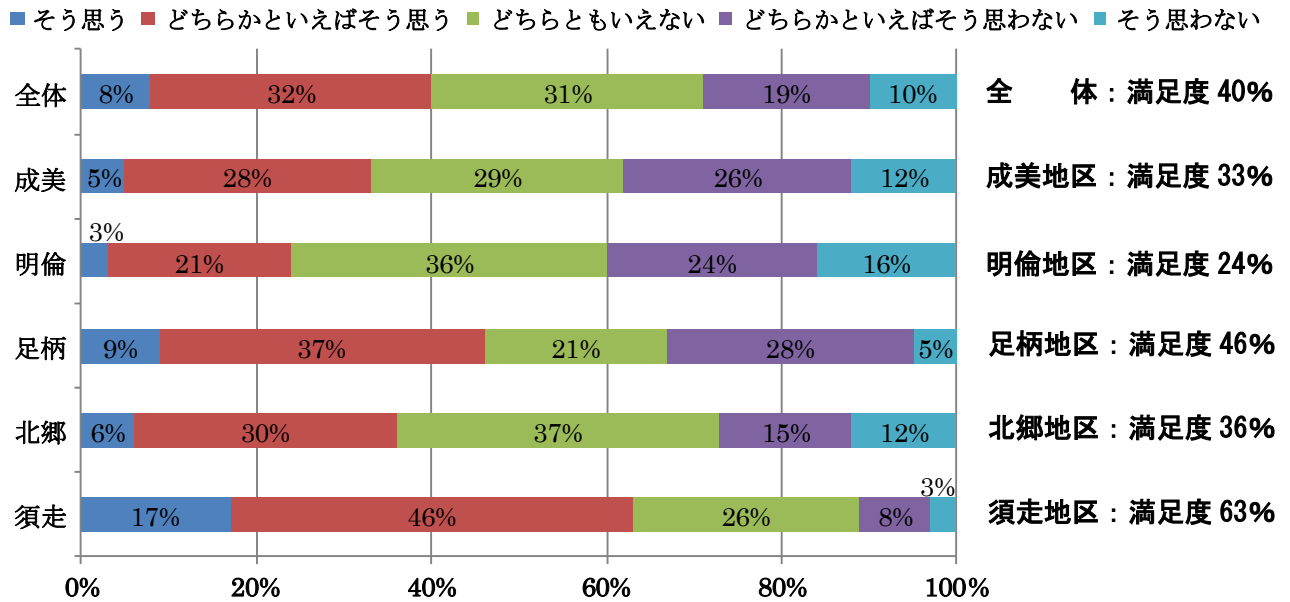


地区別の比較では、成美地区と足柄地区の満足度が、他の3地区と比べ低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、70歳代の満足度が高く、20歳代と60歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、20歳代と30歳代の満足度が高く、40歳代から60歳代にかけての満足度が低いという結果となっています。

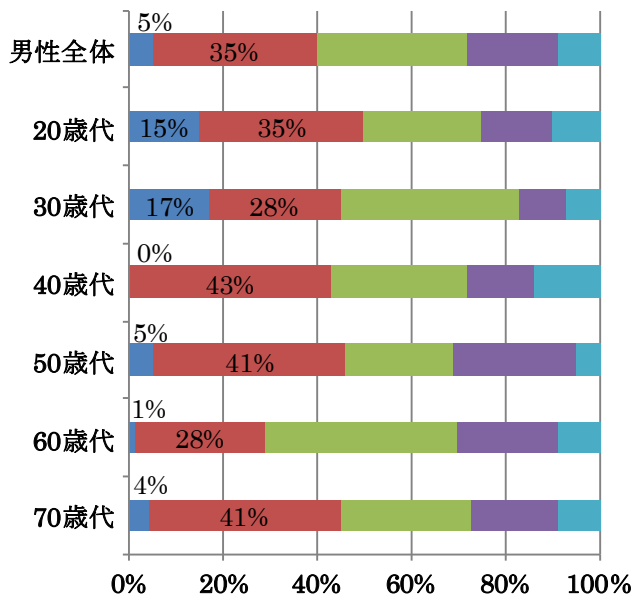
問8－(11) 「公園・緑地が整備されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 40%

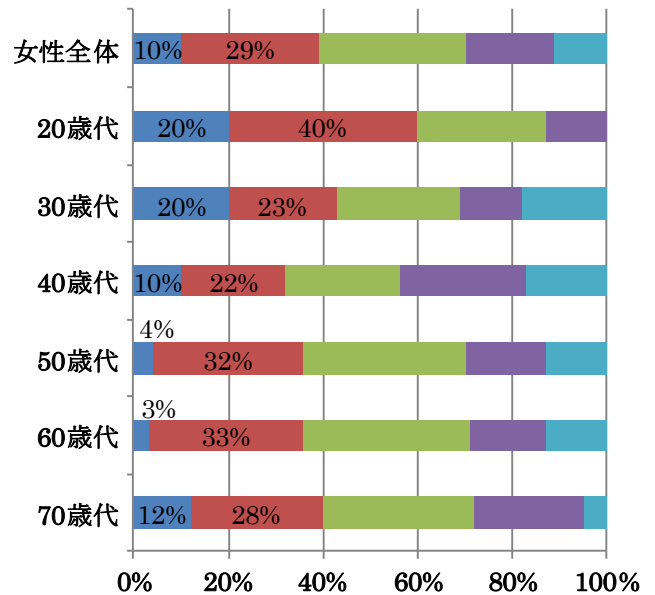
上記の値は、前回の39%から今回の40%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

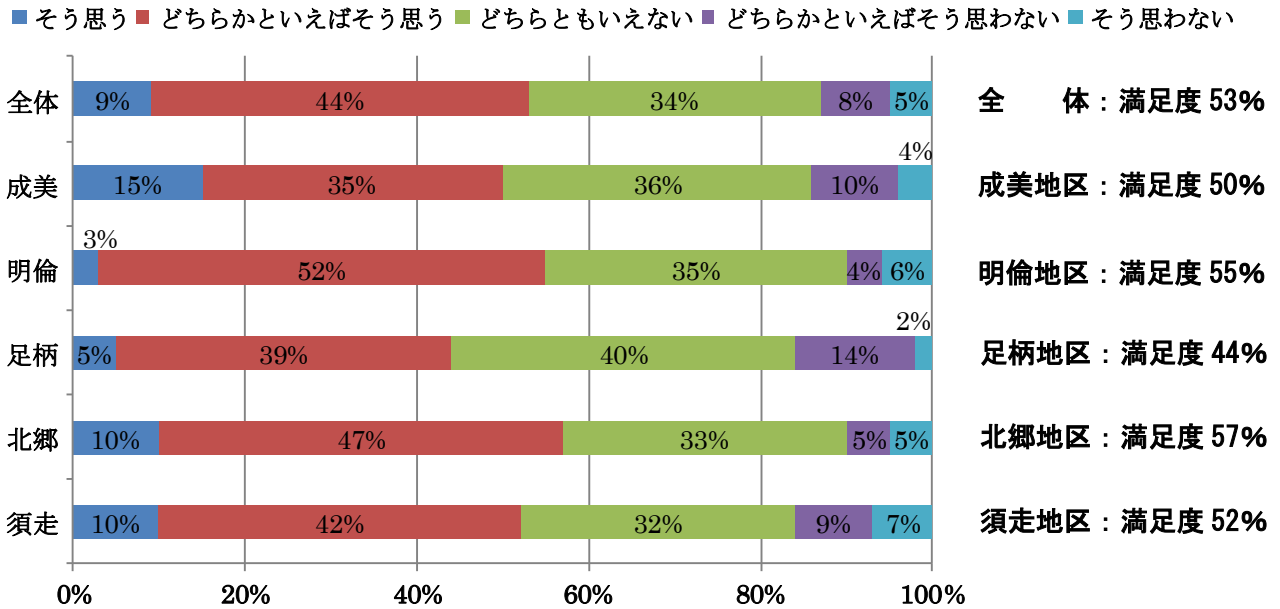


地区別の比較では、地区によって大きなばらつきがあり、須走地区の満足度が高く、明倫地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、60歳代の満足度が他の世代に比べて低いという結果となっています。女性では、20歳代の満足度が高く、40歳代の満足度がやや低いという結果となっています。

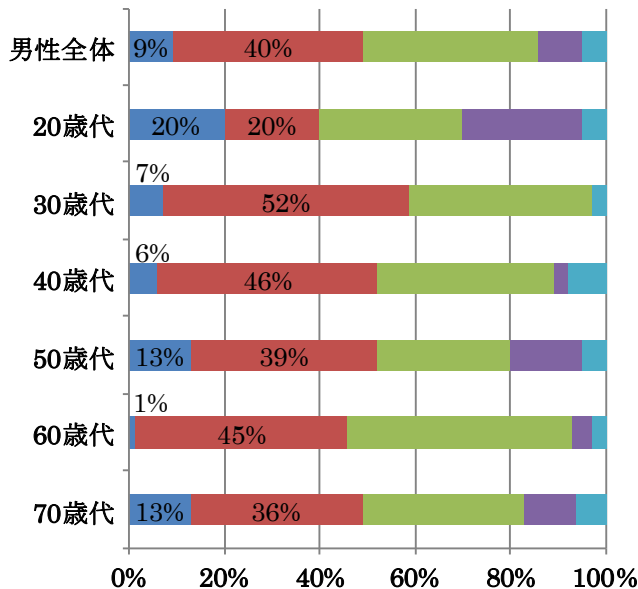
問 8 - (1 2) 「町民が地域で互いに支えあって暮らしている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 53%

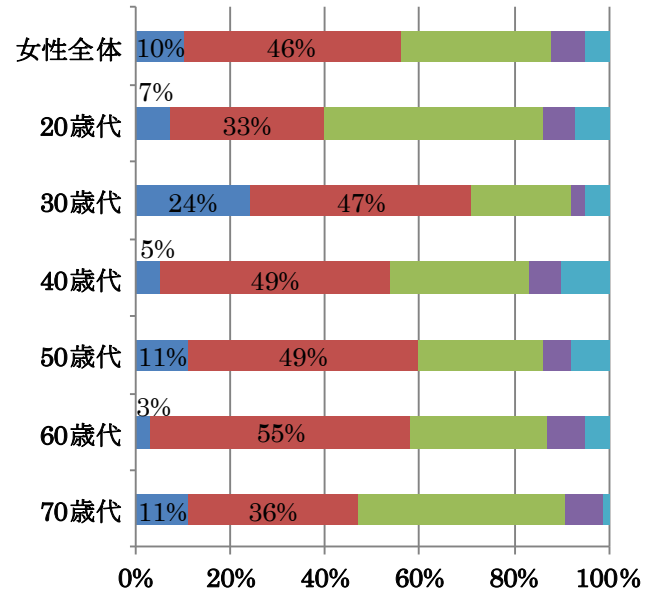
上記の値は、前回調査時と同様の 53%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

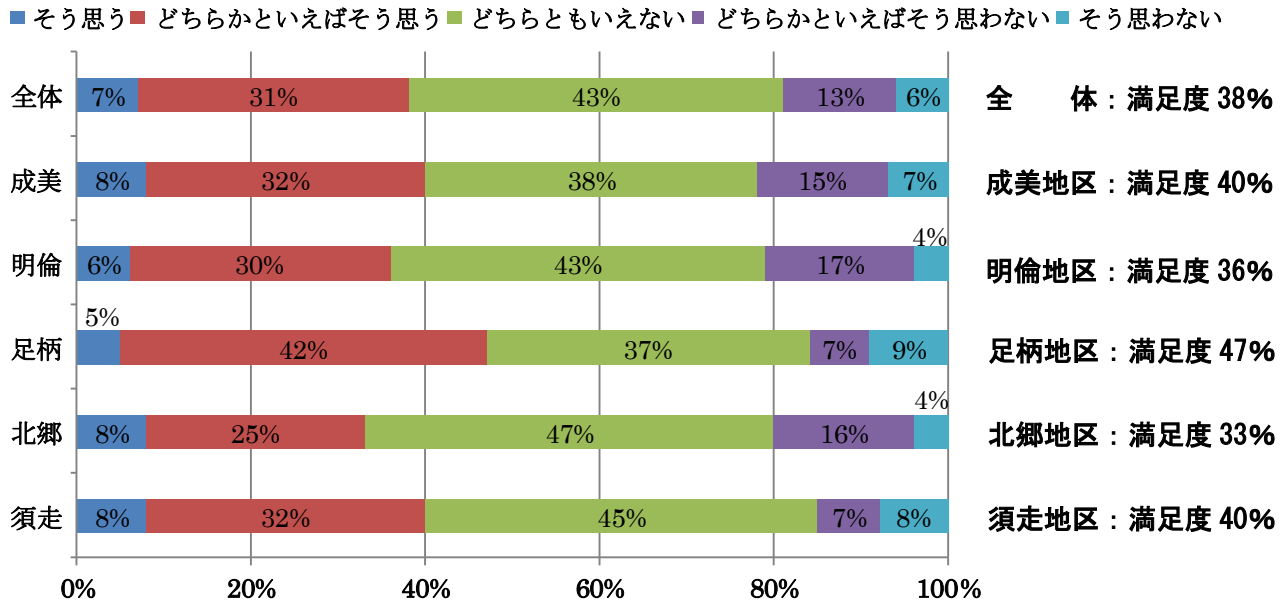


地区別の比較では、足柄地区の満足度が、他の4地区と比べやや低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに30歳代の満足度が高く、20歳代の満足度が低いという結果となっています。

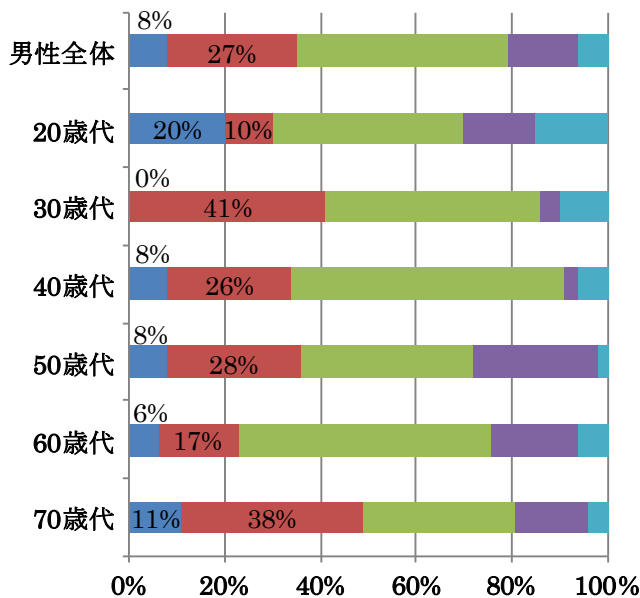
問8- (13) 「地域福祉のためにボランティア活動等に、進んで参加したい」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 38%

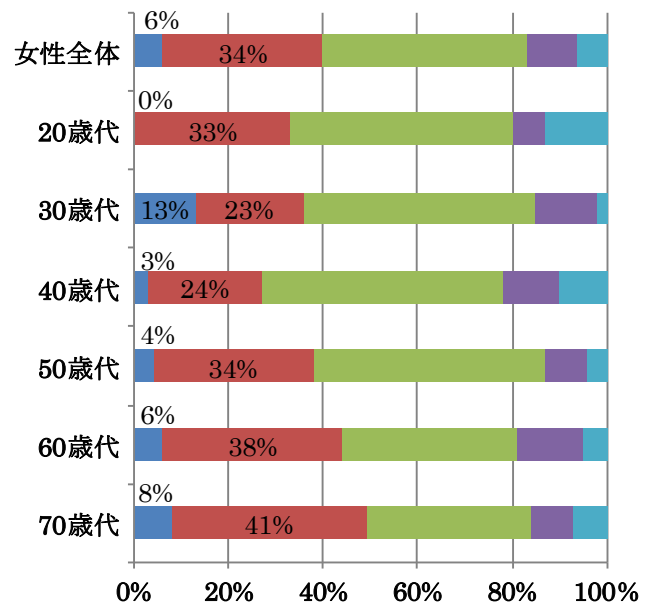
この設問は今年度調査から新たに設けられたものです。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】



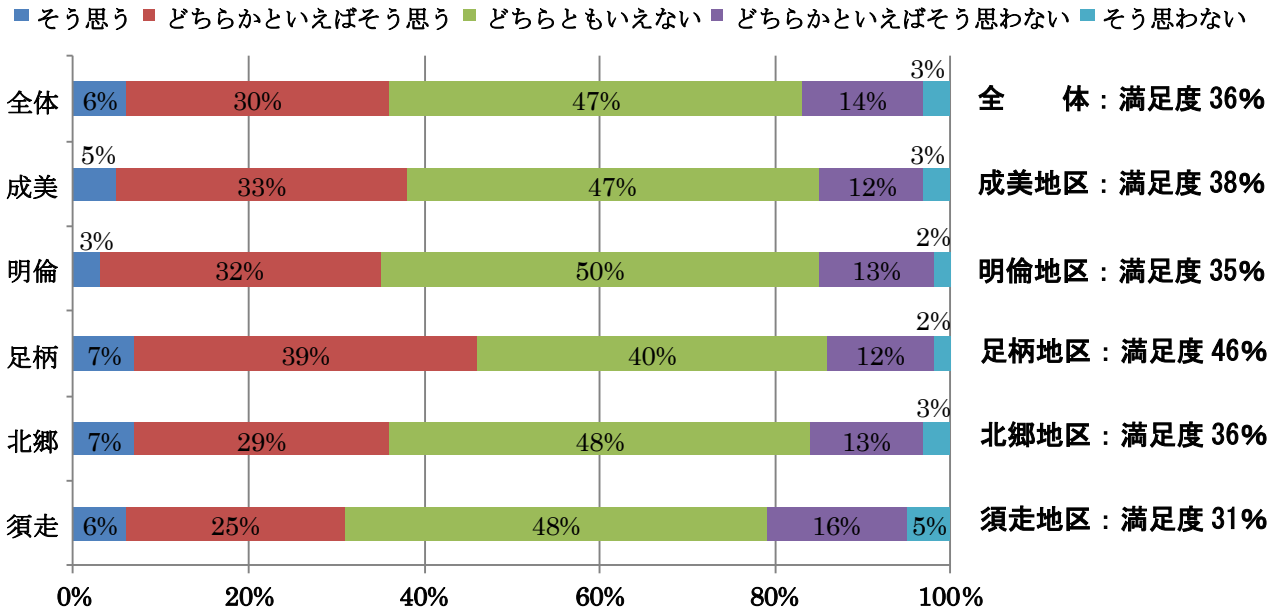
地区別の比較では、足柄地区の満足度が高く、明倫地区と北郷地区の満足度がやや低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、70歳代の満足度が高く、60歳代が低いという結果となっています。女性では、60歳代と70歳代の満足度が高く、40歳代の満足度が低いという結果となっています。

（本設問は町民の意識に関する調査ですが、他の設問と統一するために、便宜上「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合を「満足度」と呼称します。）

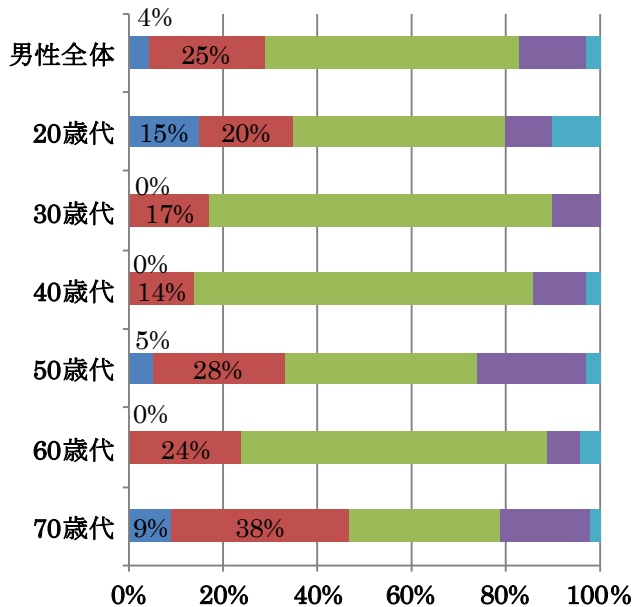
問 8 - (1 4) 「みんなが主体的に健康づくりに取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 36%

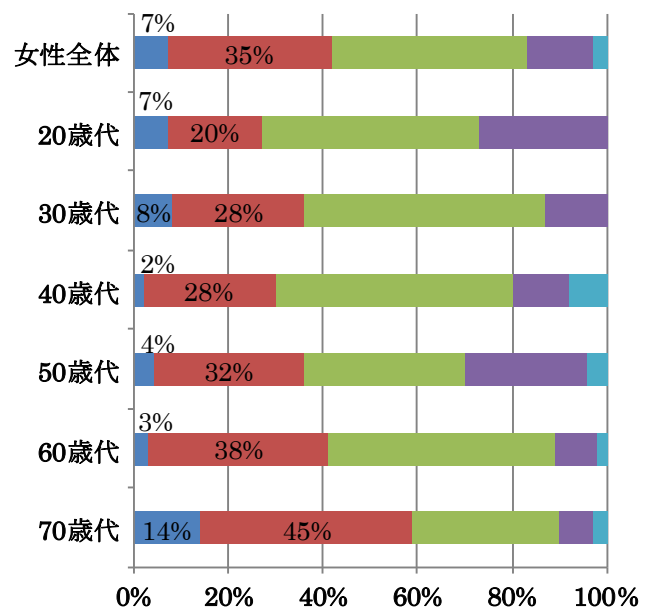
上記の値は、前回の42%から今回の36%に6%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

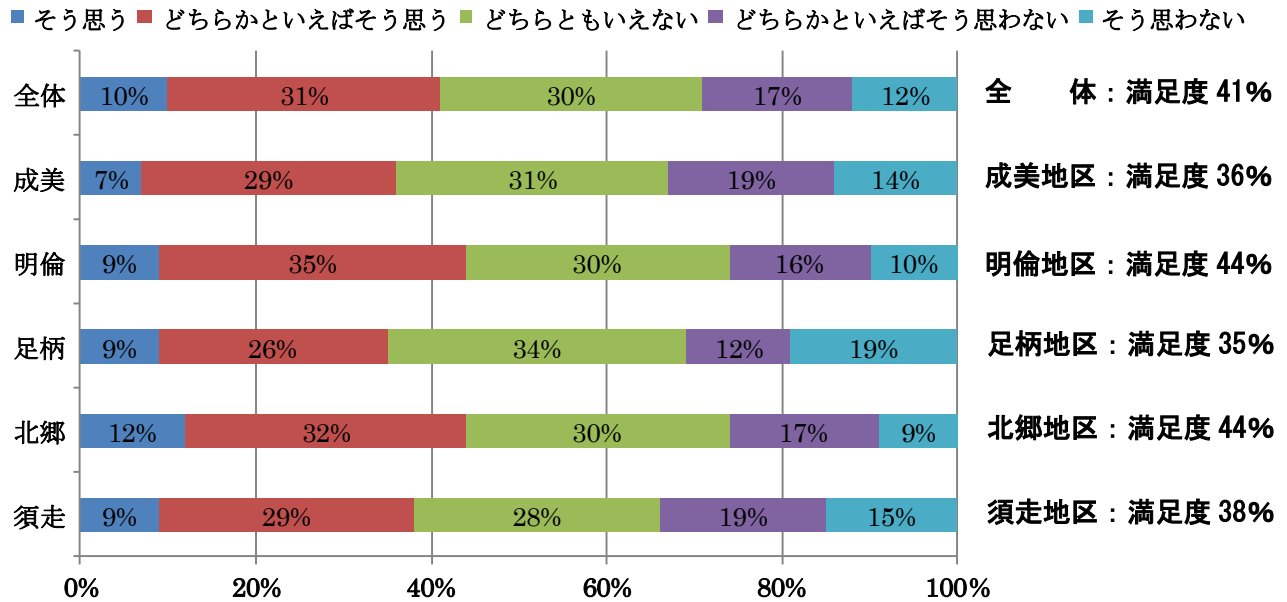


地区別の比較では、足柄地区の満足度が高く、須走地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性より女性の方が満足度が高い傾向にあります。また、男女ともに70歳代の満足度が最も高く、男性では30歳代と40歳代、女性では20歳代と40歳代の満足度が低いという結果となっています。

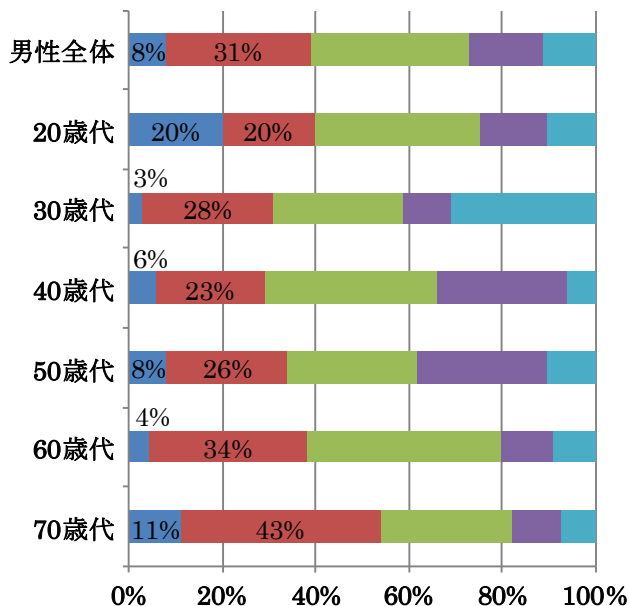
問8－(15) 「必要な時に適切な医療が受けられる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 41%

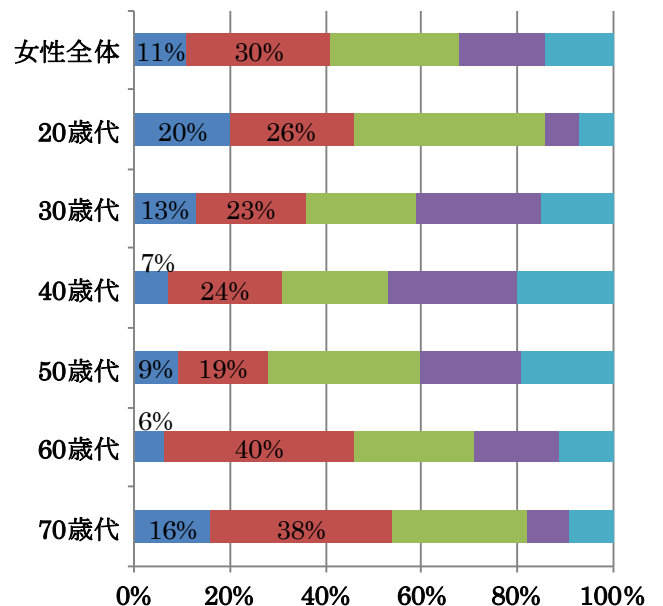
上記の値は、前回の45%から今回の41%に4%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

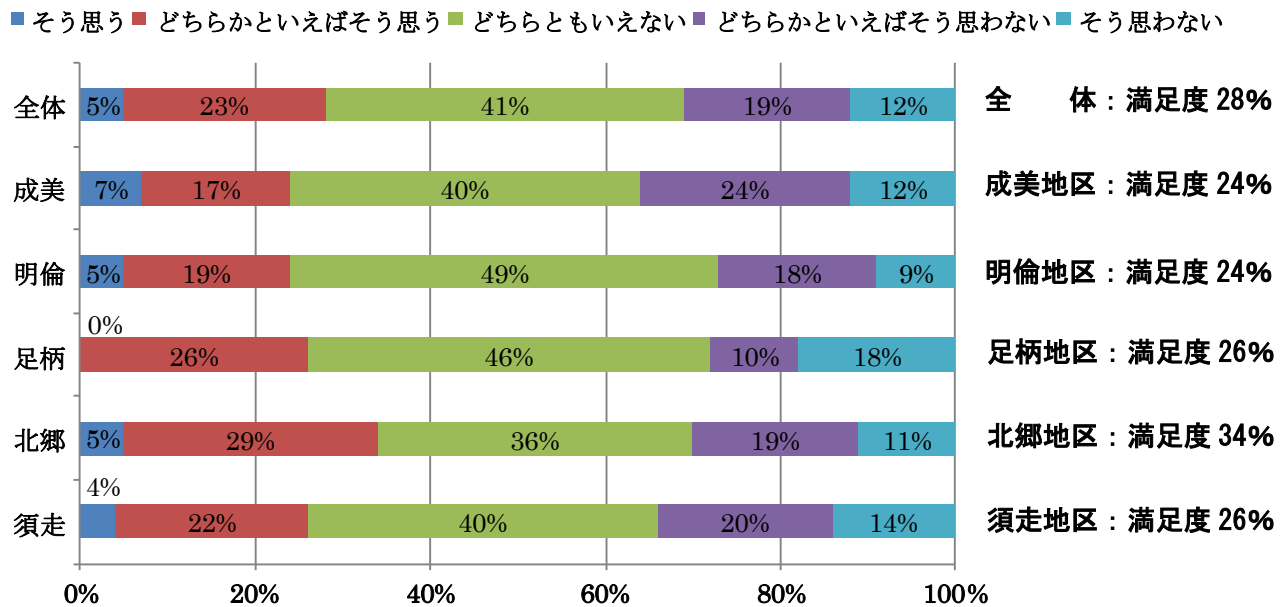


地区別の比較では、明倫地区と北郷地区の満足度が、他の3地区と比べ高い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、男女ともに70歳代の満足度が最も高く、30歳代から50歳代の満足度が低いという結果となっています。

問8－(16) 「地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを真剣に相談できる人間関係が構築されている」

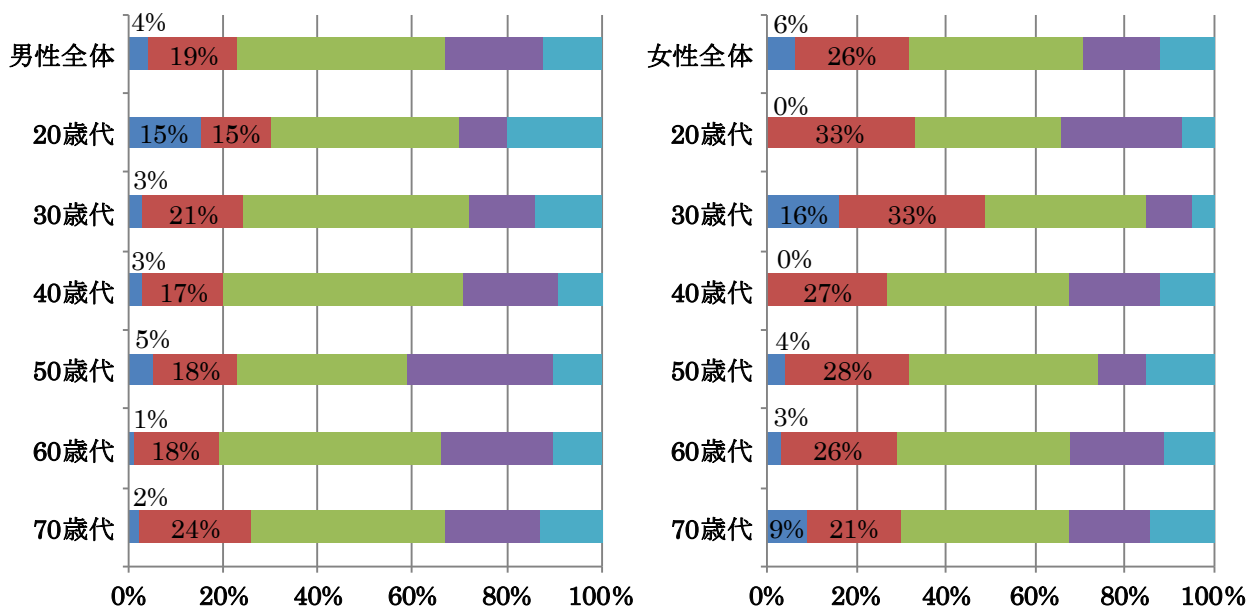
今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 28%

上記の値は、前回調査時と同様の28%となっています。全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

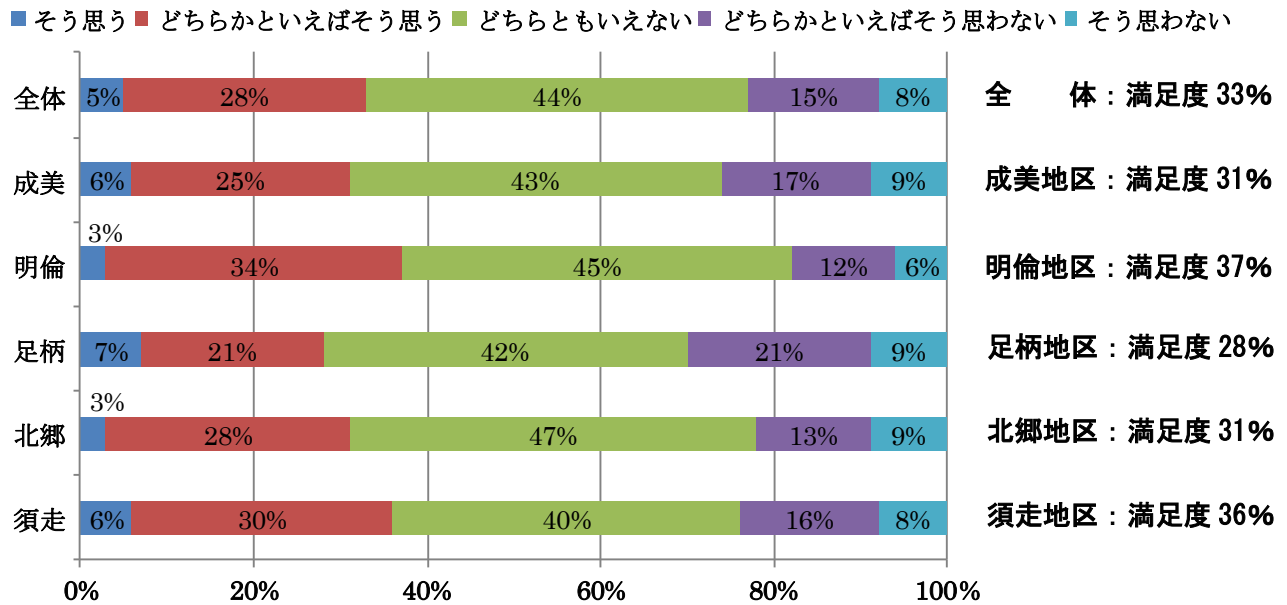


地区別の比較では、北郷地区の満足度が、他の4地区と比べやや高いという結果となっています。男女(年齢)別の比較では、男性より女性の方が満足度が高い傾向にあります。男性では20歳代、女性では30歳代の満足度が、他の世代の満足度と比べ高いという結果となっています。

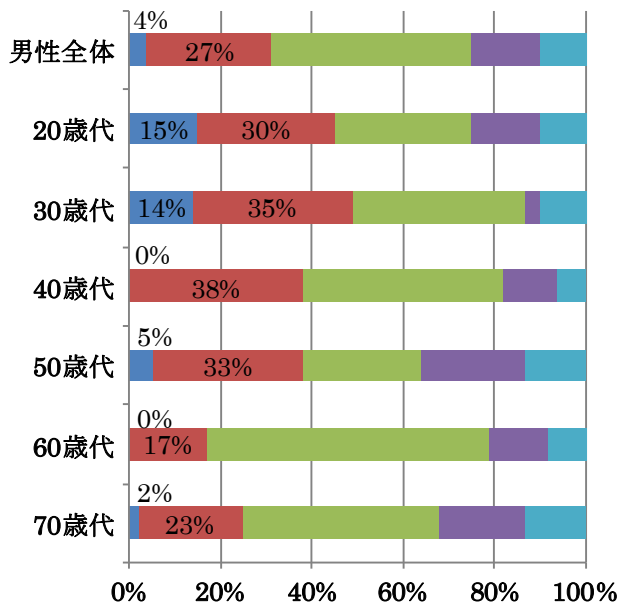
問8－(17) 「高齢者が自立していきいきと暮らしている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 33%

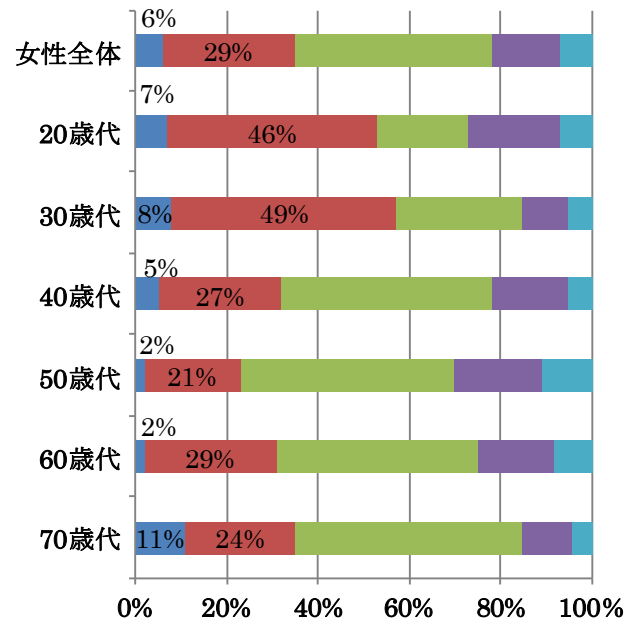
上記の値は、前回の37%から今回の33%に4%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

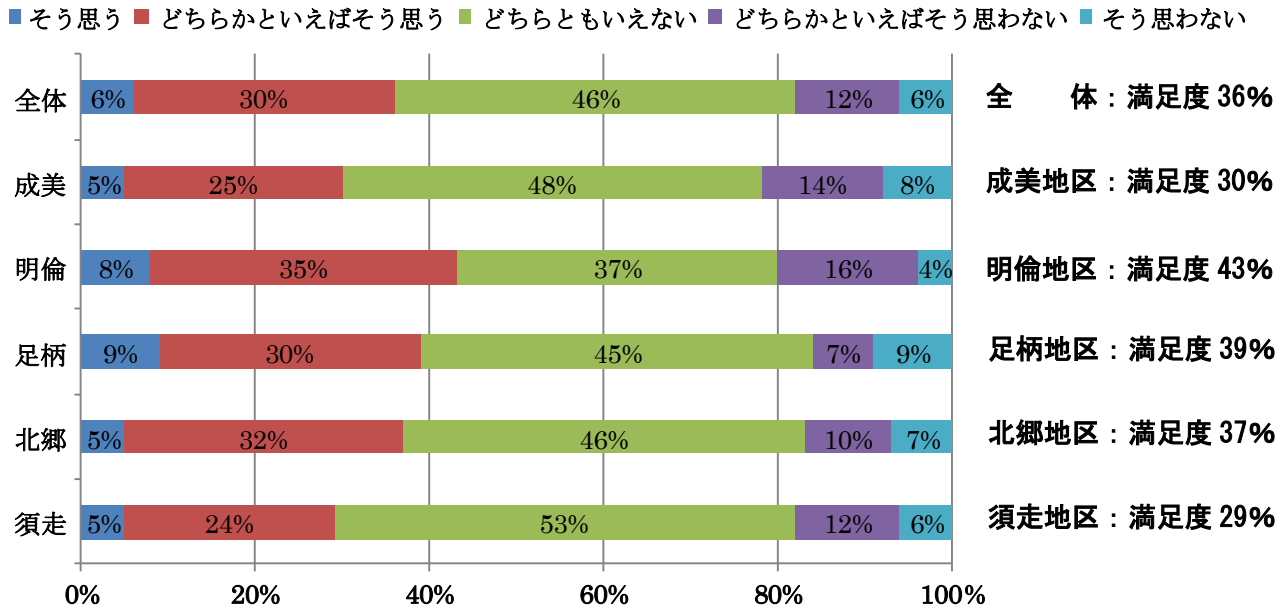


地区別の比較では、明倫地区と須走地区の満足度が高く、足柄地区の満足度がやや低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに20歳代と30歳代の満足度が高い傾向にあります。また、男性では60歳代と70歳代、女性では50歳代の満足度が低いという結果となっています。

問 8 - (1 8) 「介護が必要な状態になった場合、適切な公的サービスを受けることができる」

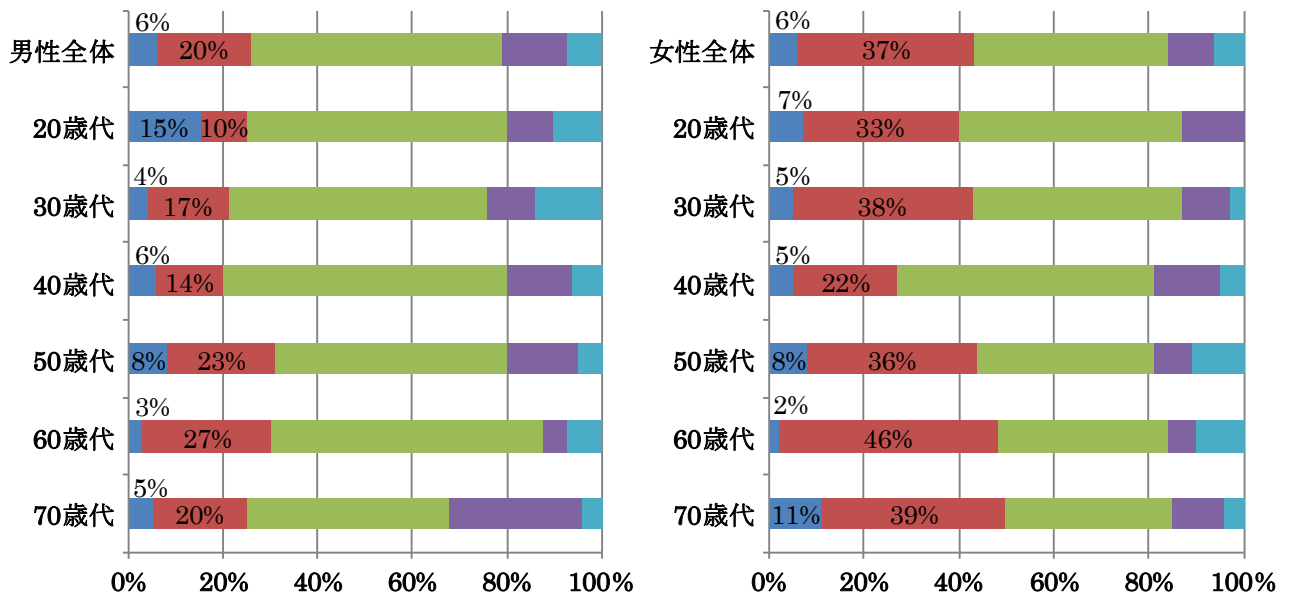
今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 36%

上記の値は、前回の43%から今回の36%に7%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

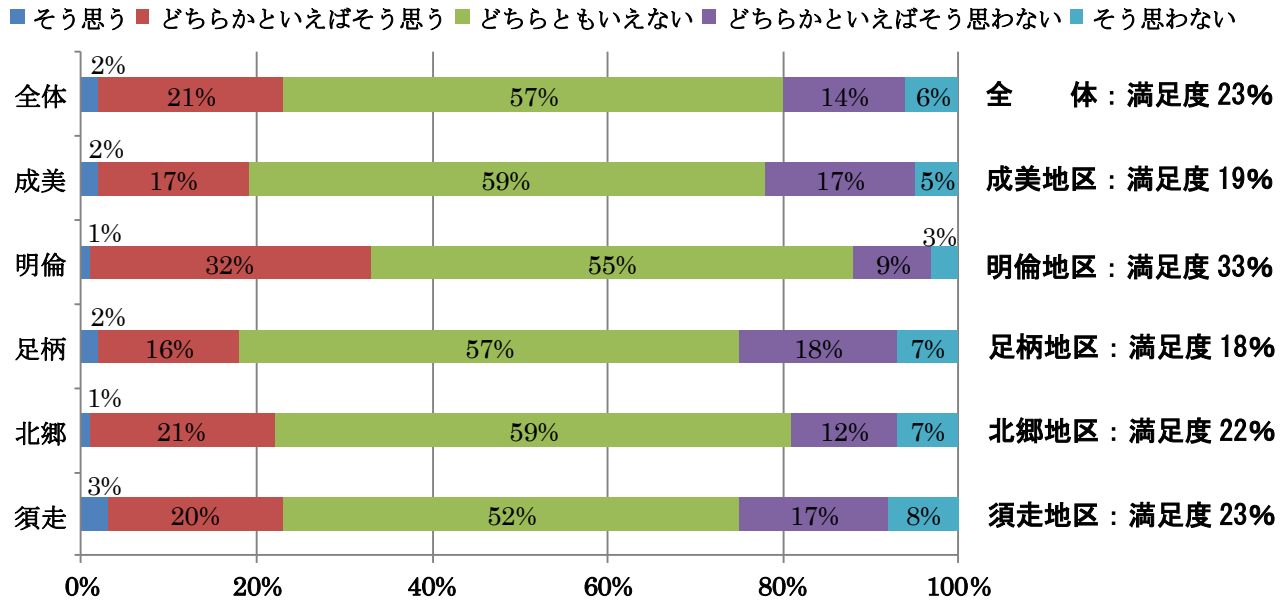


地区別の比較では、明倫地区の満足度が高く、成美地区と須走地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では50歳代と60歳代の満足度が高く、30歳代と40歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、60歳代と70歳代の満足度が高く、40歳代の満足度が低いという結果となっています。

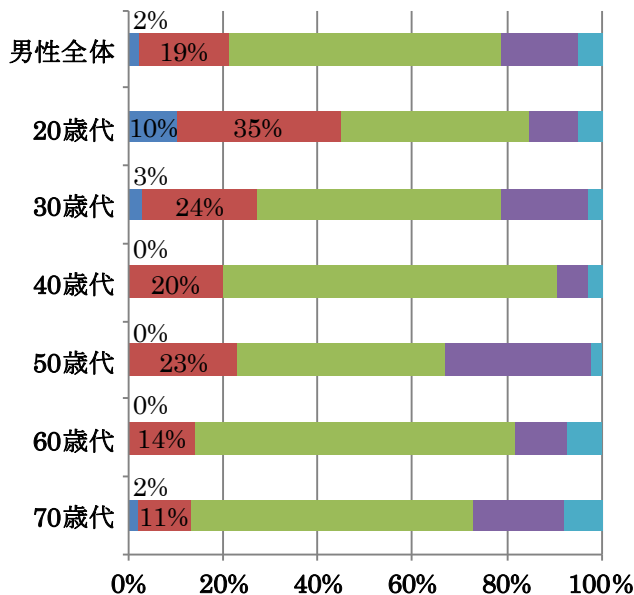
問8－(19) 「障がいのある人が社会参加し、自立している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 23%

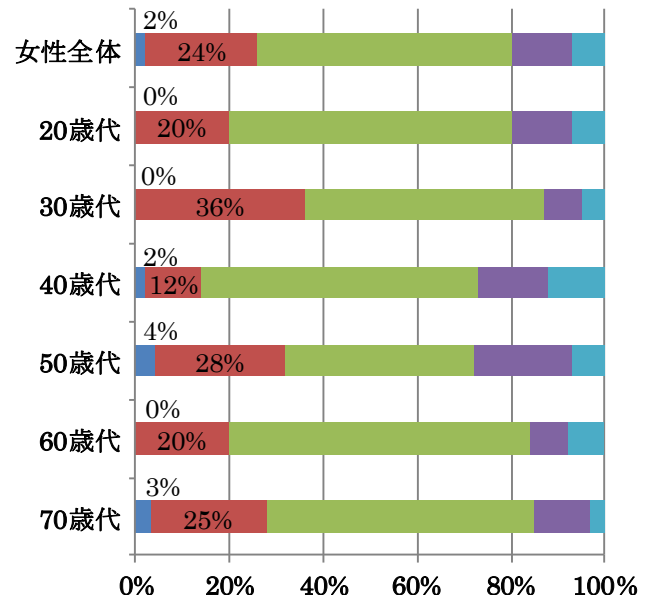
上記の値は、前回の27%から今回の23%に4%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

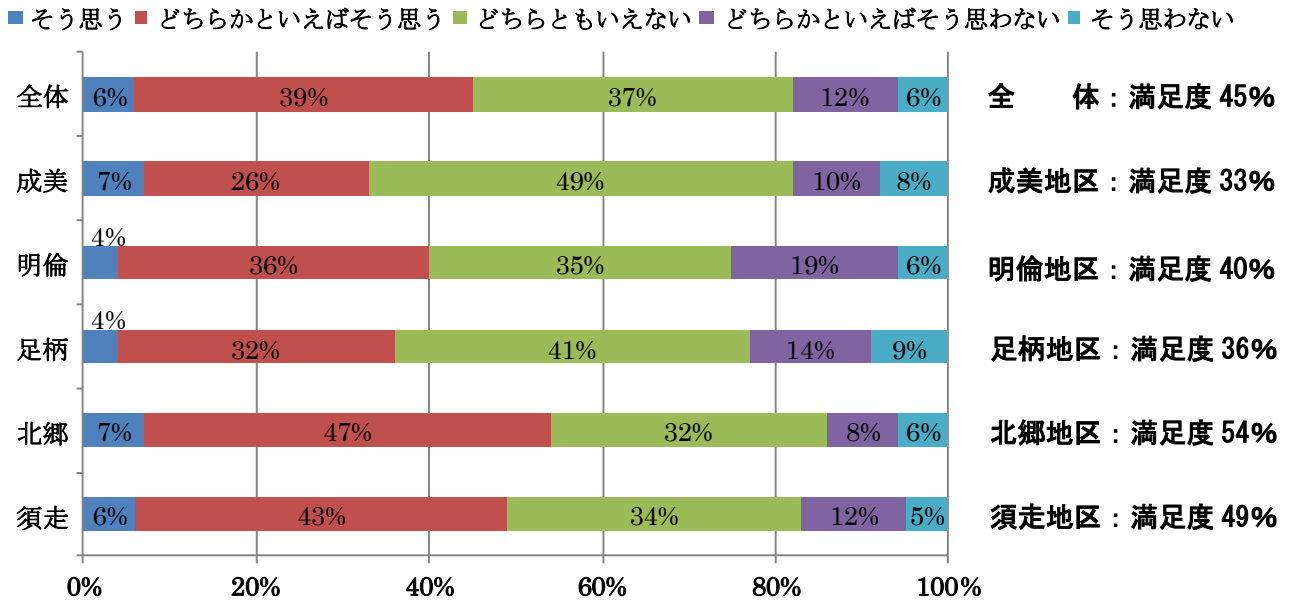


地区別の比較では、明倫地区の満足度が他の4地区と比べ高く、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を選択する人の割合も他の4地区と比べ低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代の満足度が高く、60歳代と70歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、30歳代の満足度が高く、40歳代の満足度が低いという結果となっています。

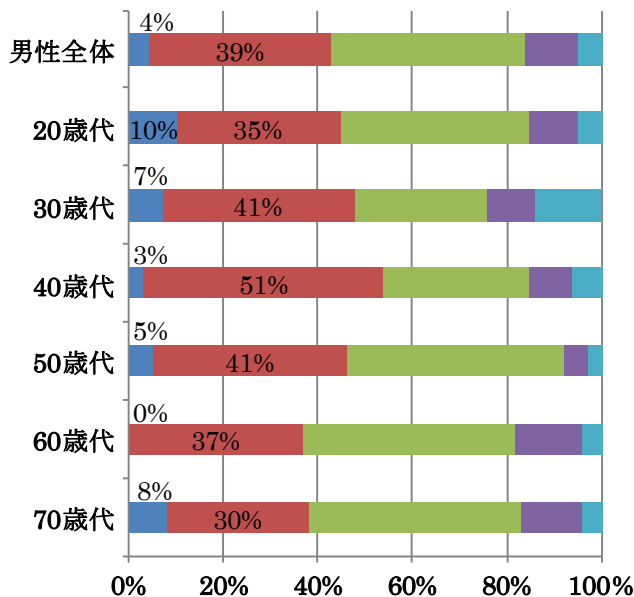
問 8 - (2 0) 「安心して子供を産み育てる環境が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 45%

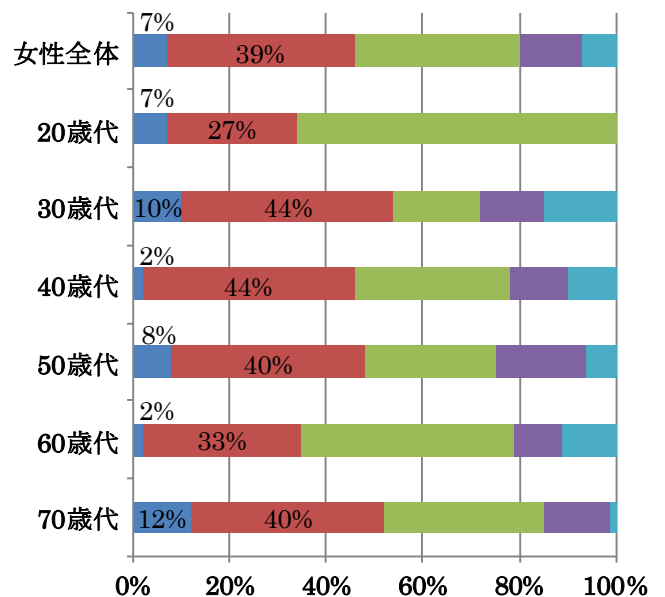
上記の値は、前回の48%から今回の45%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

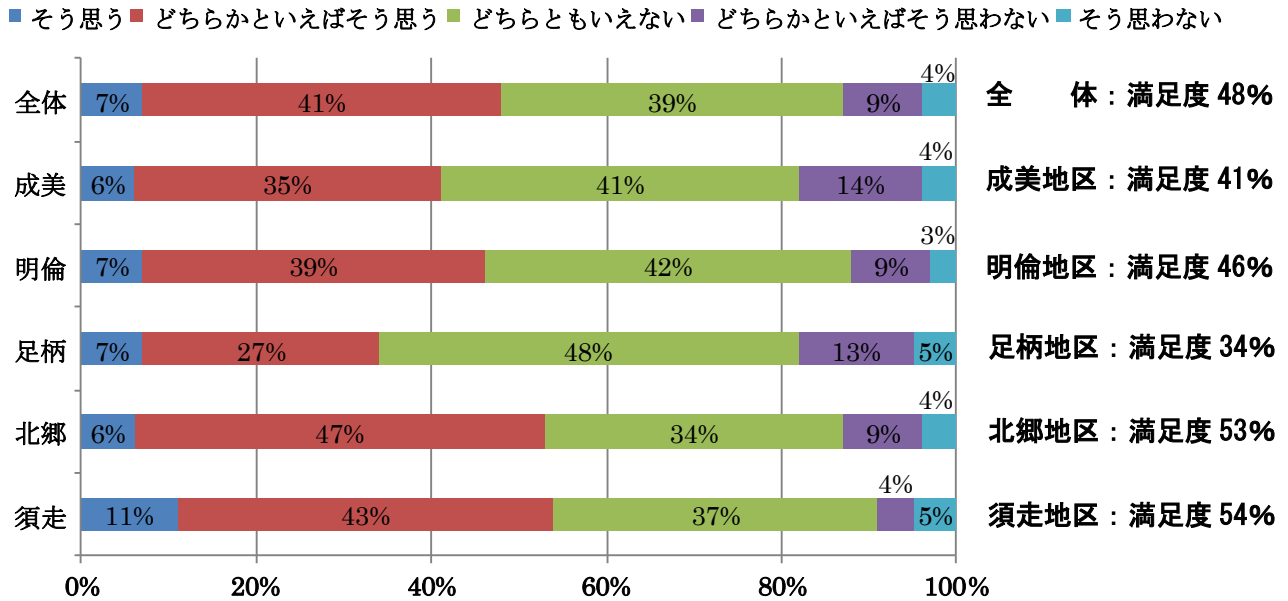


地区別の比較では、北郷地区と須走地区の満足度が他の3地区よりも高いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、40歳代の満足度が高く、60歳代と70歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、30歳代と70歳代の満足度が高く、20歳代と60歳代の満足度が低いという結果となっています。

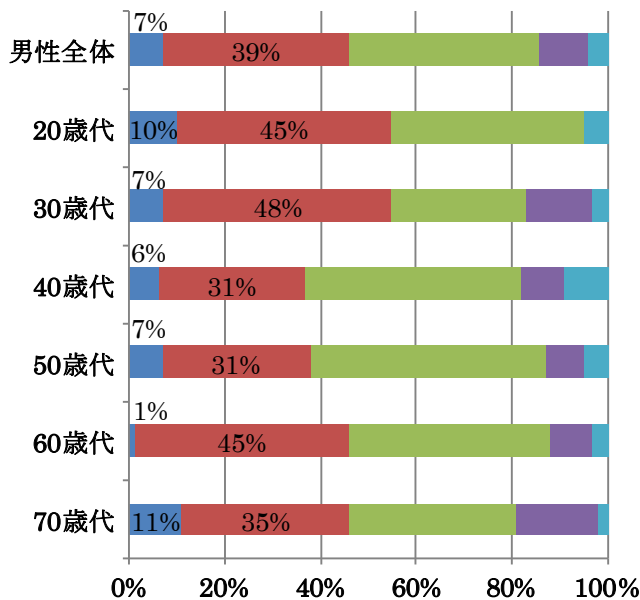
問 8 - (2 1) 「地域に安心できる防災の仕組みがある」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 48%

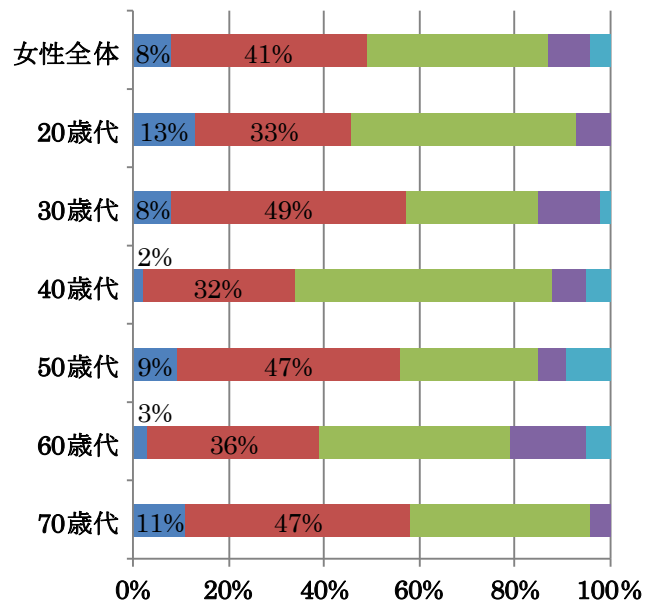
上記の値は、前回調査時と同様の 48%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

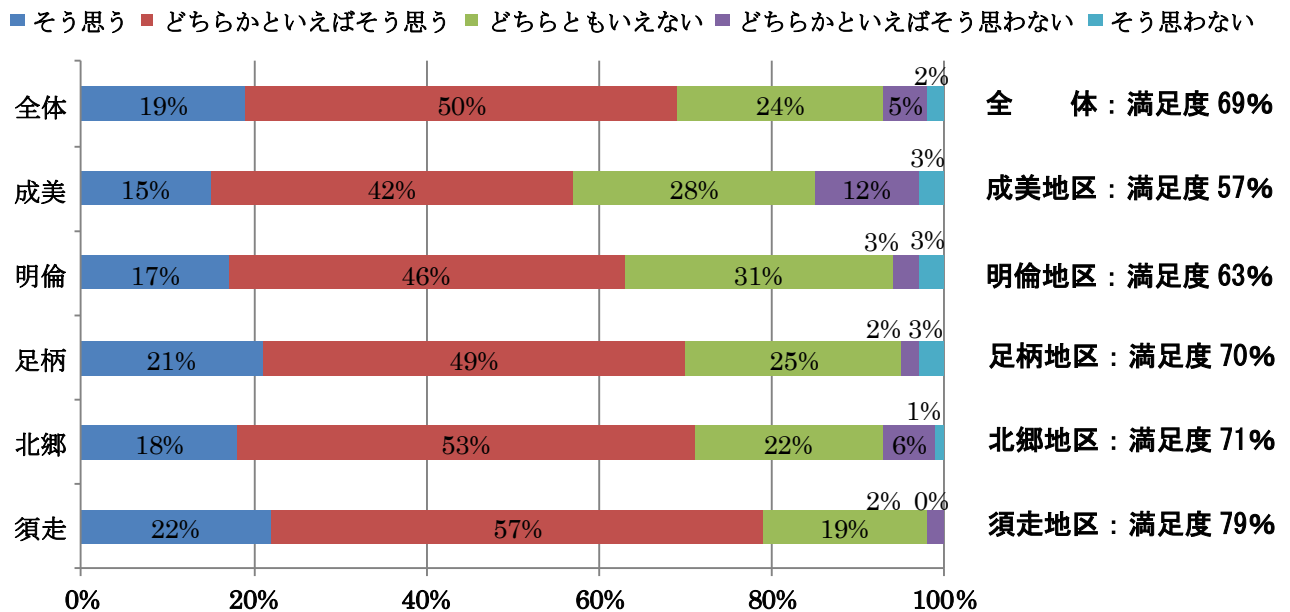


地区別の比較では、北郷地区と須走地区の満足度が高く、足柄地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代と30歳代の満足度が高く、40歳代と50歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、30歳代、50歳代、70歳代の満足度が高く、40歳代と60歳代が低いという結果となっています。

問 8 - (2 2) 「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」

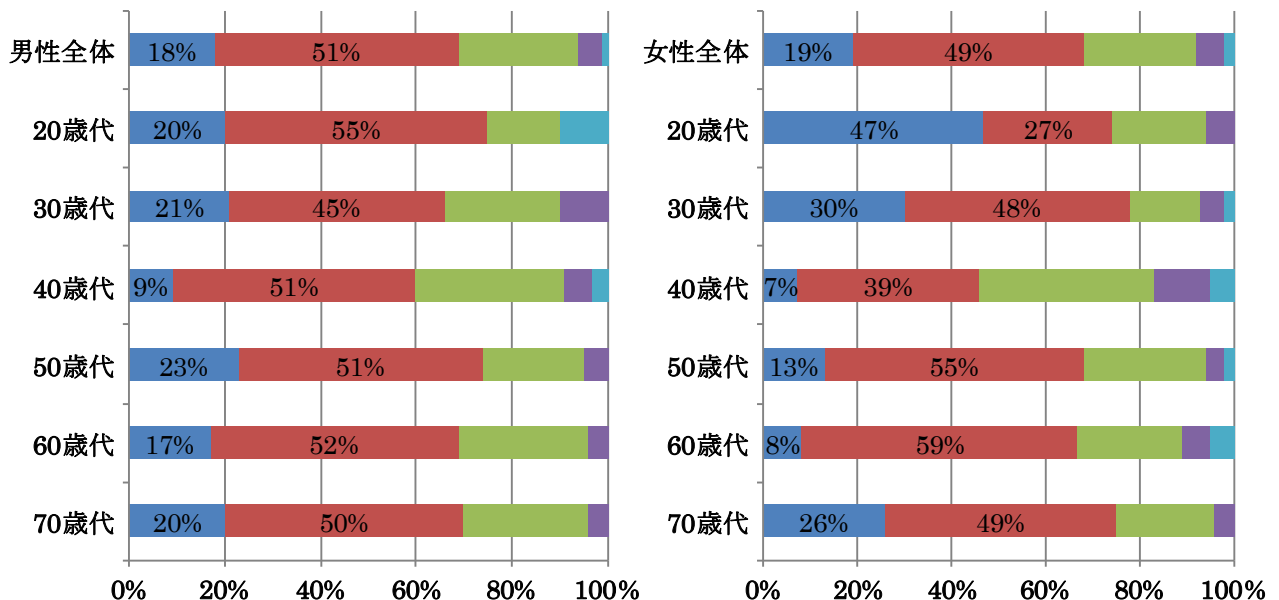
今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 69%

上記の値は、前回の72%から今回の69%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

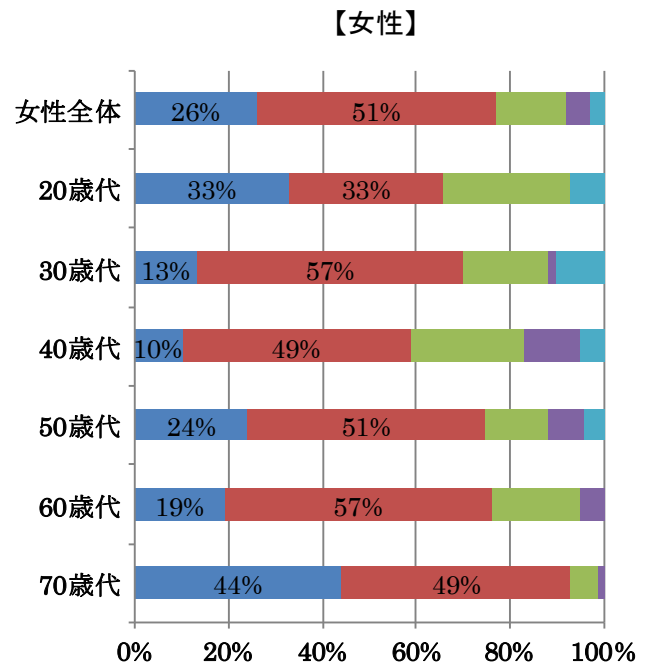
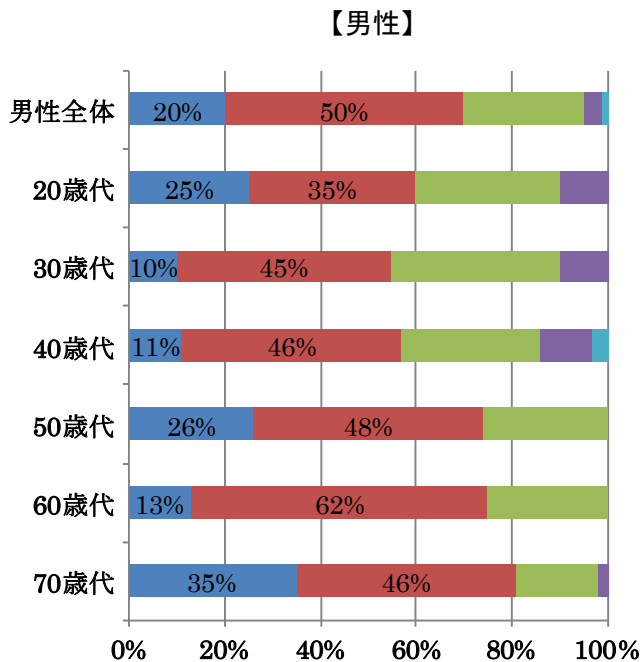
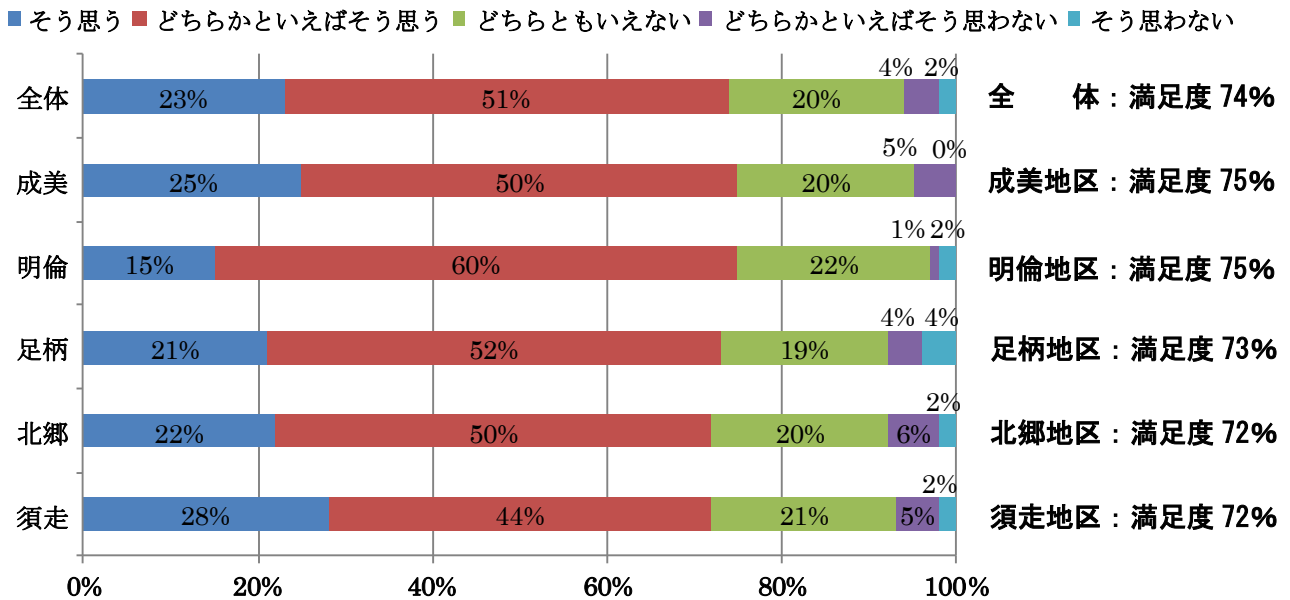


地区別の比較では、須走地区の満足度が高く、成美地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代と50歳代の満足度がやや高く、40歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では20歳代と30歳代、70歳代の満足度がやや高く、40歳代の満足度が低いという結果となっています。

問8－(23) 「消防・救急体制が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 74%

上記の値は、前回の75%から今回の74%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

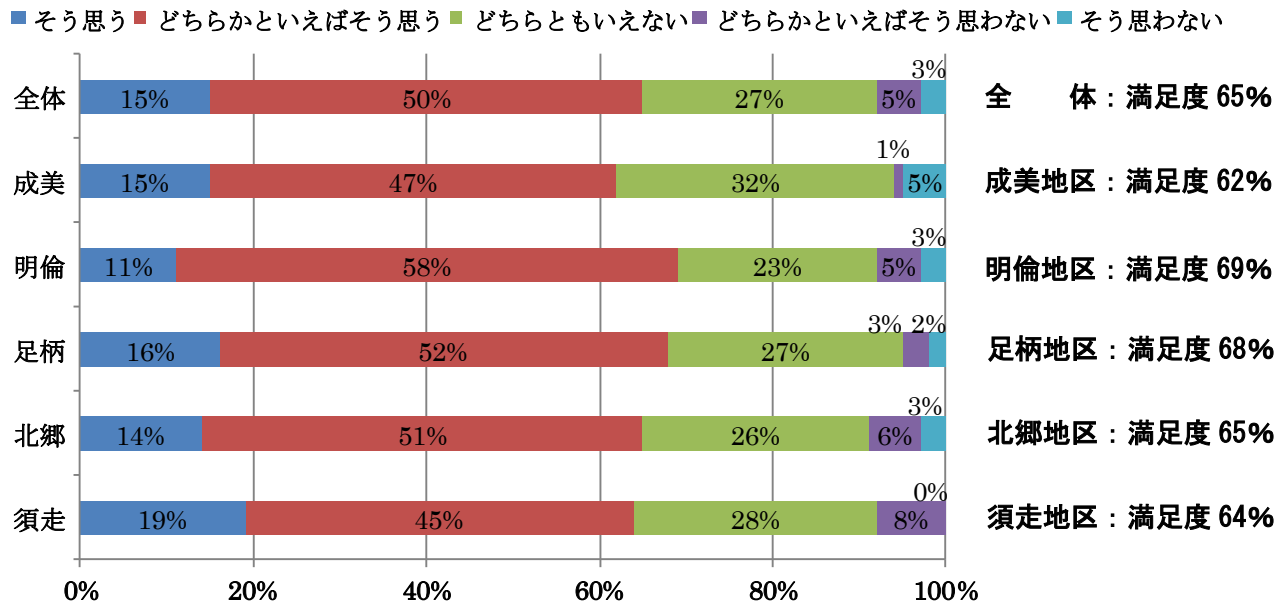


地区別の比較では、どの地区も概ね74%前後の満足度となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに、40歳代までの世代よりも50歳代以降の世代の方が満足度が高く、特に70歳代の満足度が最も高いという結果となっています。

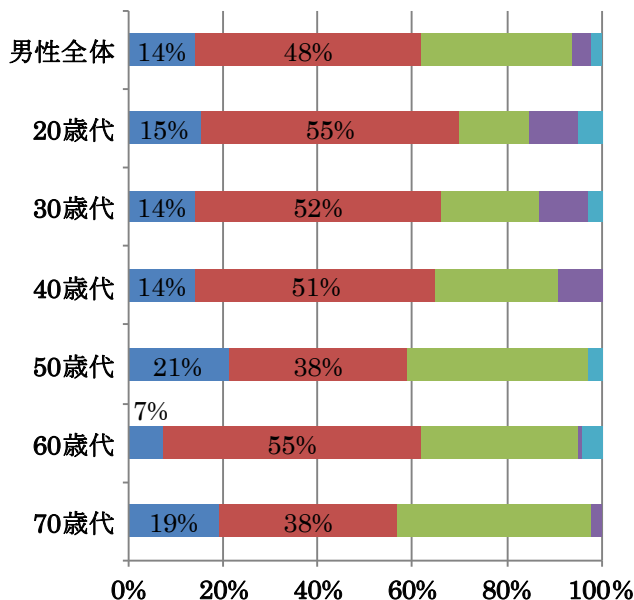
問8－(24) 「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 65%

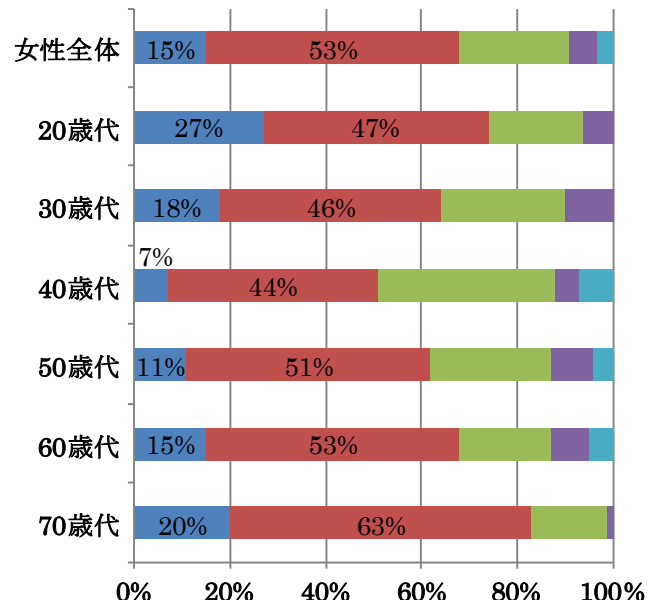
上記の値は、前回の71%から今回の65%に6%減少しています。全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

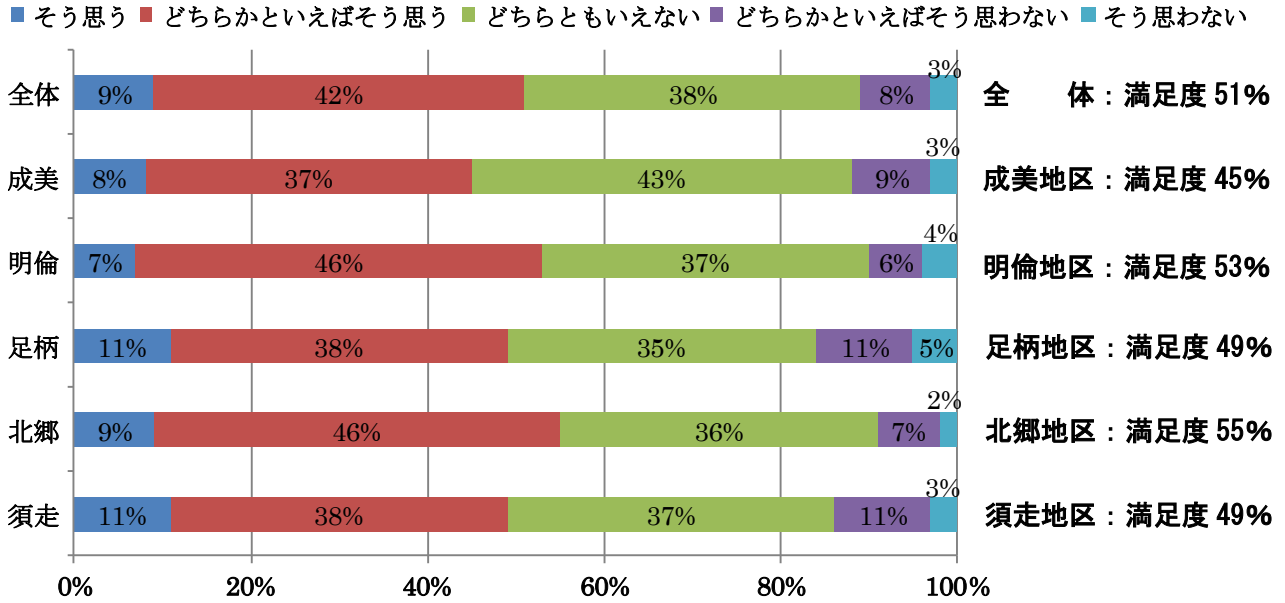


地区別の比較では、どの地区も概ね65%前後の満足度となっており、明倫地区と足柄地区の満足度がやや高く、成美地区の満足度がやや低いという結果となっています。男女(年齢)別の比較では、男性では、20歳代の満足度が最も高く、世代が上がると徐々に満足度が低くなる傾向にあります。女性では、40歳代の満足度が最も低いですが、男性とは逆に、世代が上がると徐々に満足度が高くなる傾向にあります。

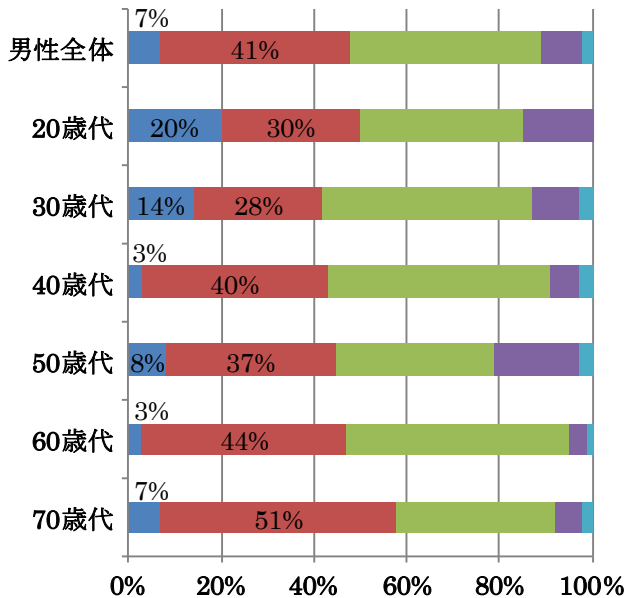
問 8 - (2 5) 「生涯学習活動の機会が充実している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 51%

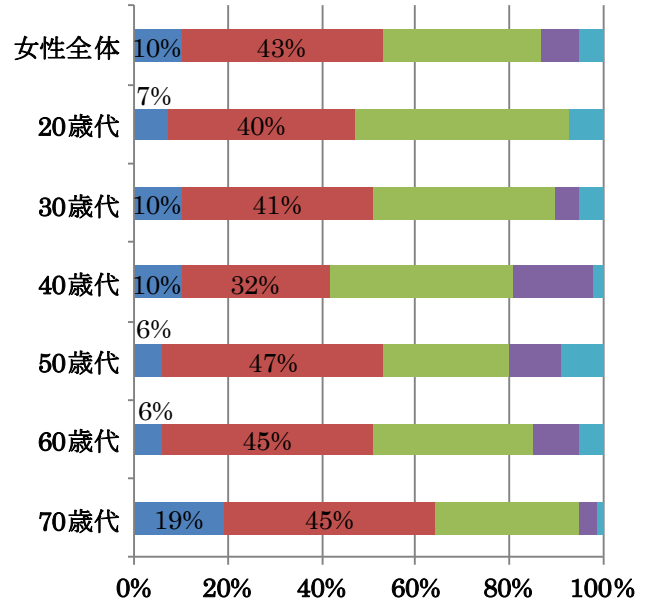
上記の値は、前回の53%から今回の51%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

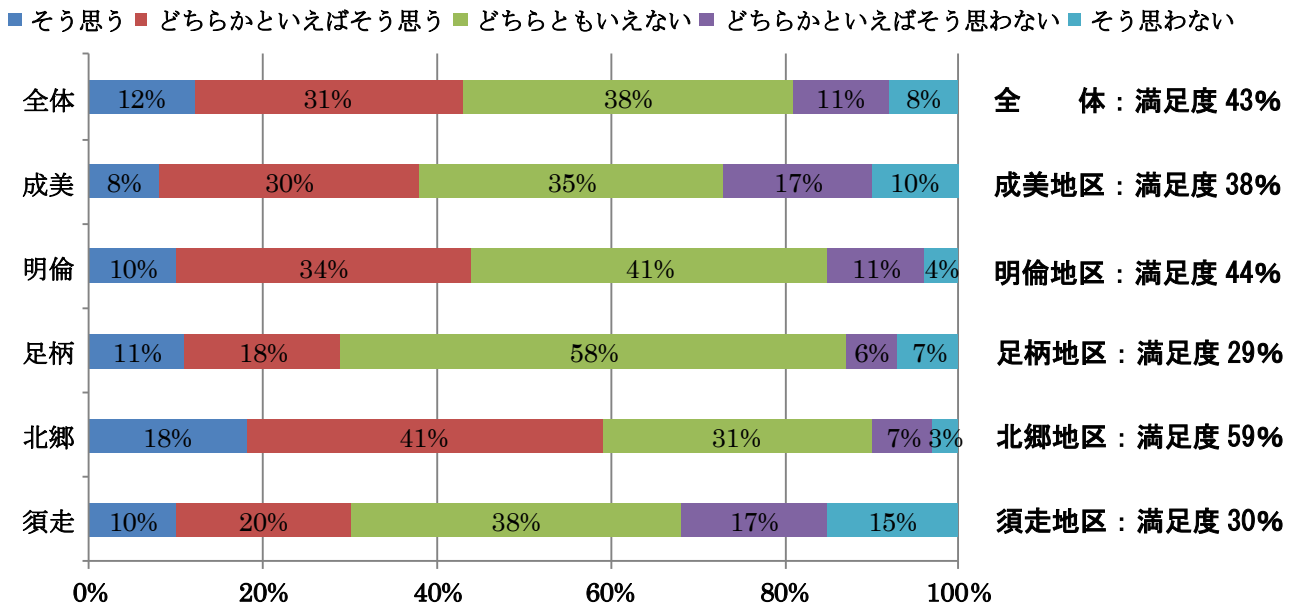


地区別の比較では、明倫地区と北郷地区の満足度がやや高く、成美地区の満足度がやや低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに70歳代の満足度が他の世代の満足度より高いという結果となっています。

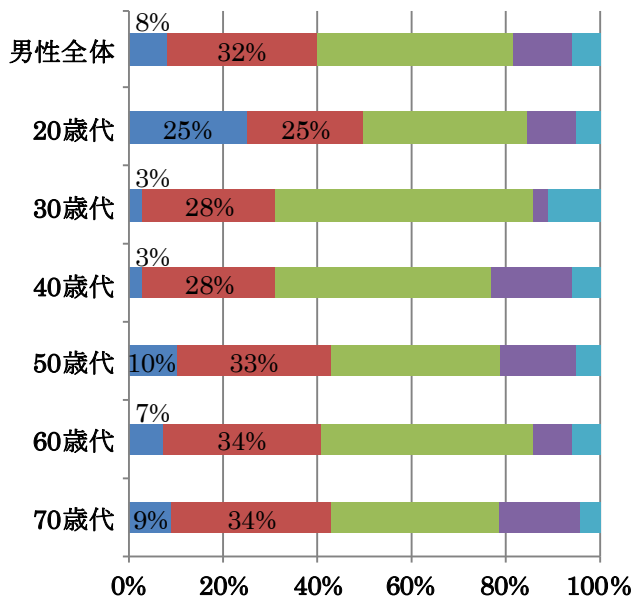
問 8 - (2 6) 「図書館が便利で使いやすい」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 43%

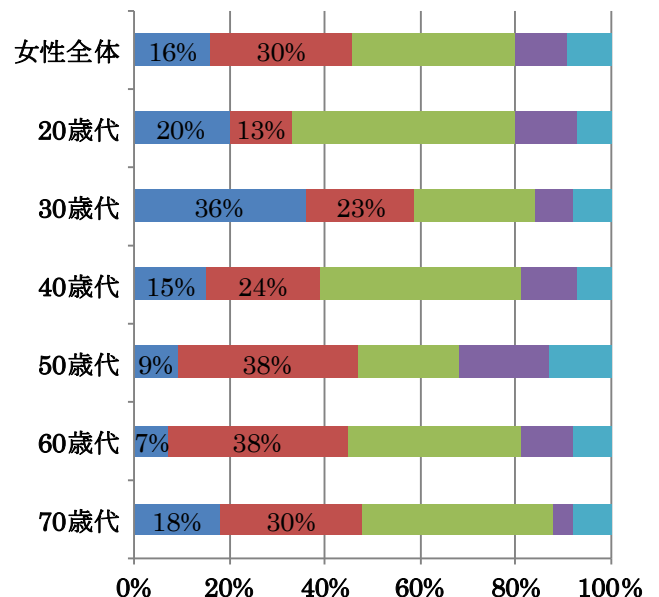
上記の値は、前回の46%から今回の43%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

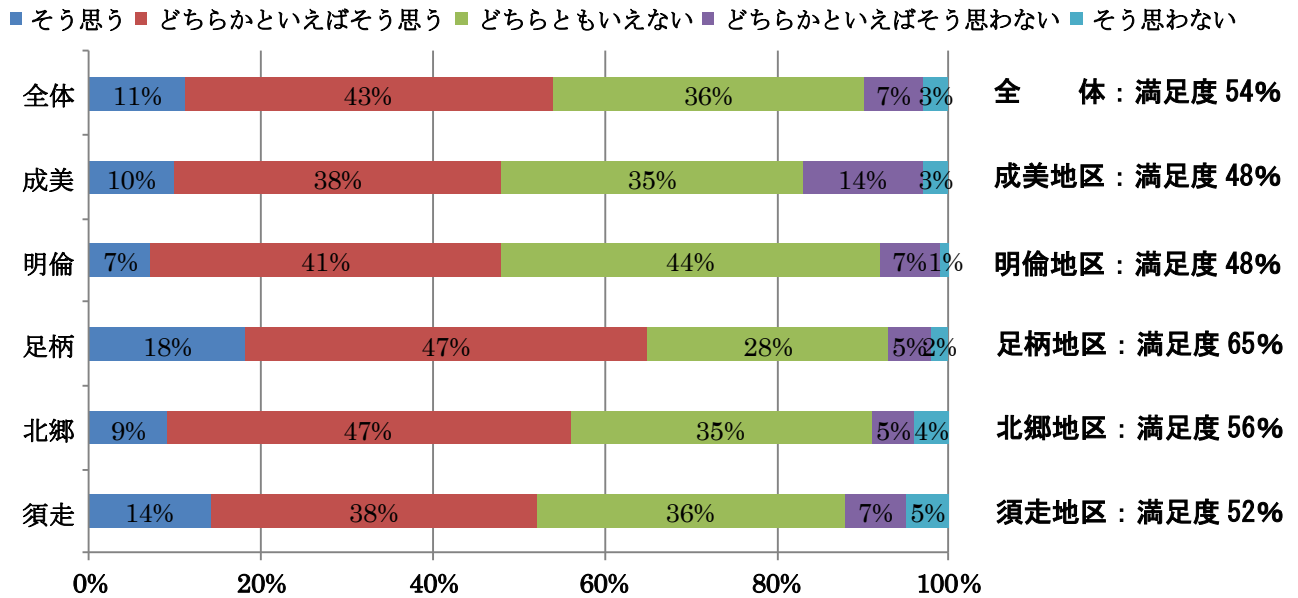


地区別の比較では、地区ごとに大きなばらつきがあり、北郷地区の満足度が高く、足柄地区と須走地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代の満足度が高く、30歳代と40歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、30歳代の満足度が高く、20歳代の満足度が低いという結果となっています。

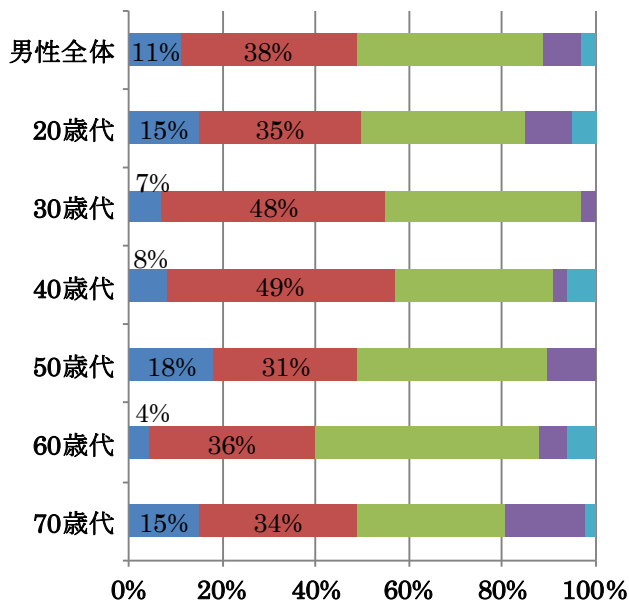
問8－(27) 「伝統文化や郷土を大切にしている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 54%

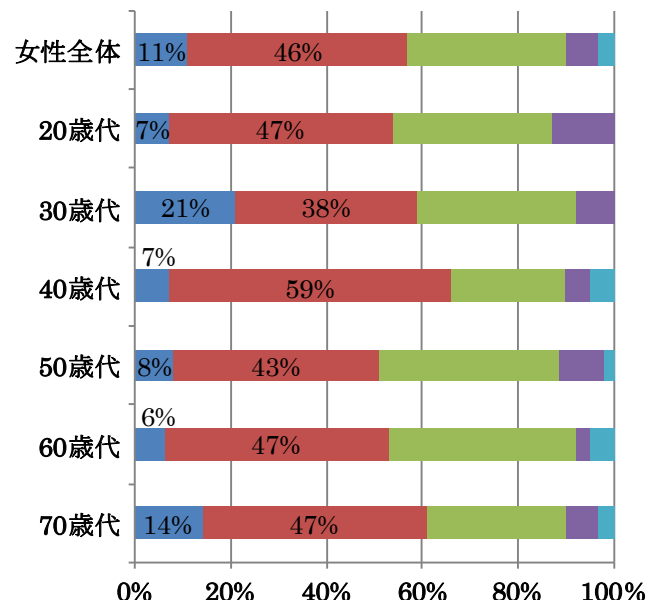
上記の値は、前回の57%から今回の54%に3%減少しています。全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

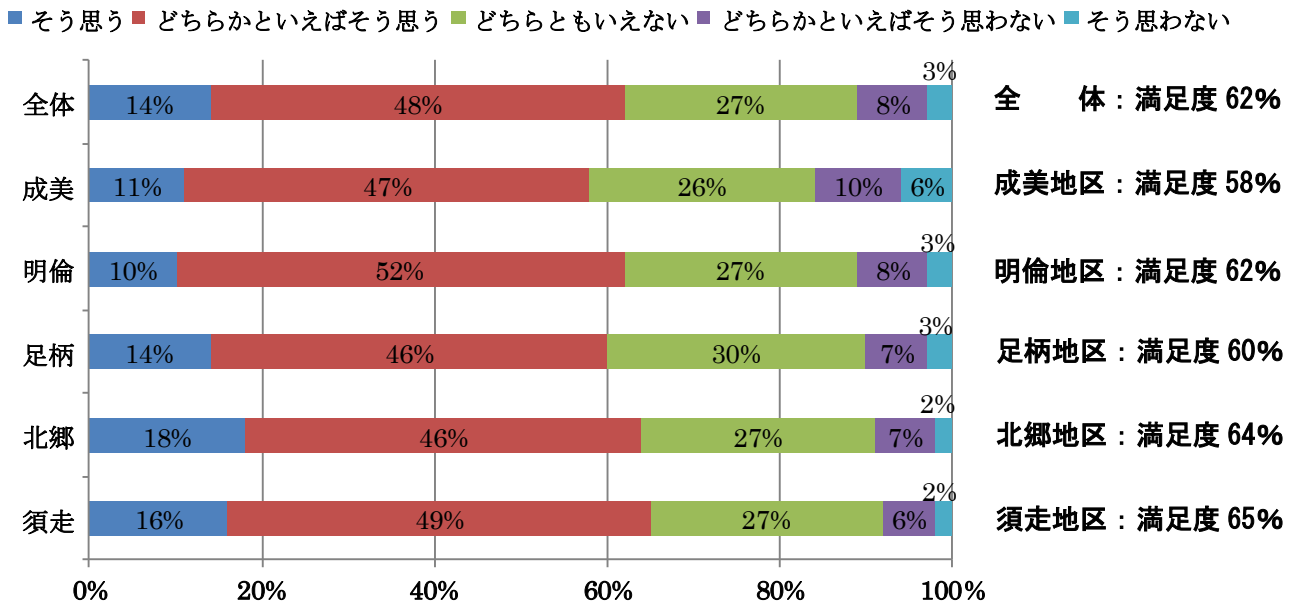


地区別の比較では、足柄地区の満足度が高く、成美地区と明倫地区の満足度がやや低いという結果となっています。男女(年齢)別の比較では、男女ともに40歳代の満足度が高くなっています。男性では60歳代、女性では50歳代の満足度が低いという結果となっています。

問 8 - (2 8) 「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」

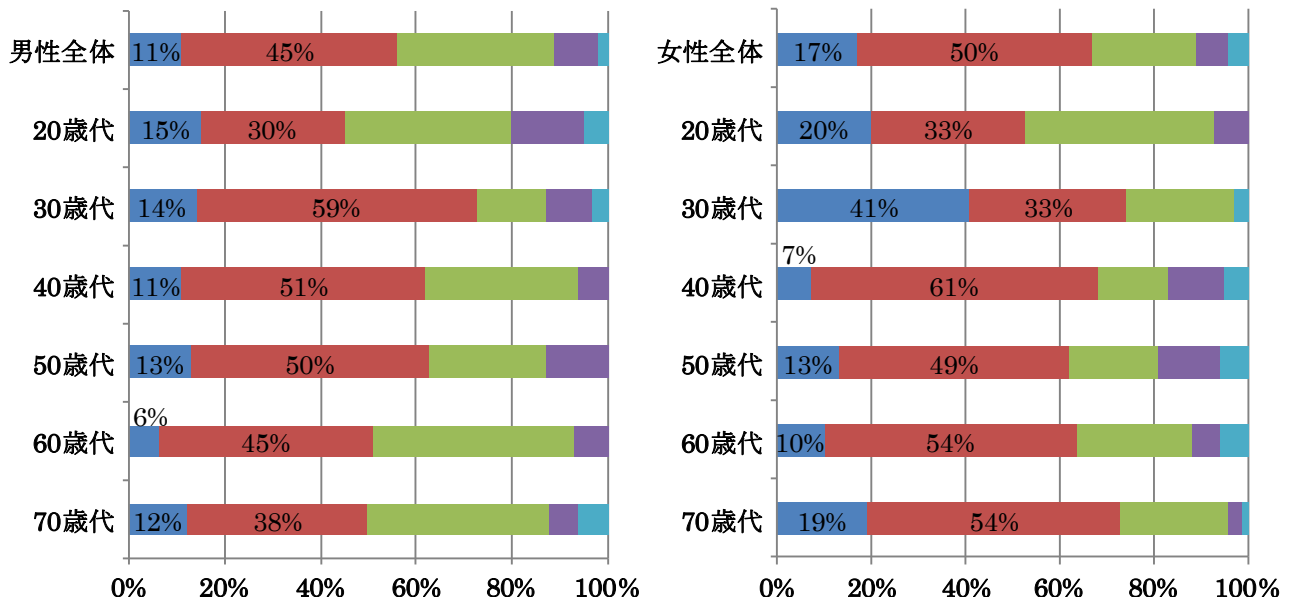
今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 62%

上記の値は、前回の63%から今回の62%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

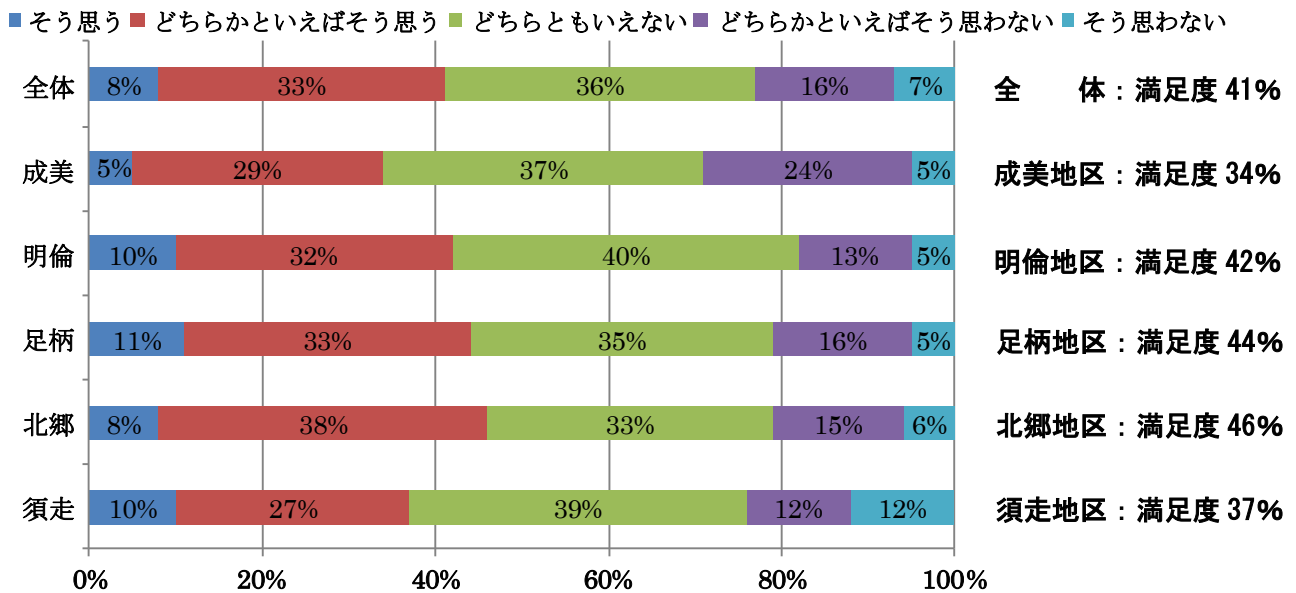


地区別の比較では、北郷地区と須走地区の満足度がやや高いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性より女性の方が満足度がやや高い傾向にあります。また、男女ともに30歳代の満足度が高く、20歳代の満足度が低いという傾向にあります。女性では30歳代と70歳代の満足度が高く、30歳代は、「そう思う」を選択する人の割合が他の世代と比べ20%以上高くなっています。

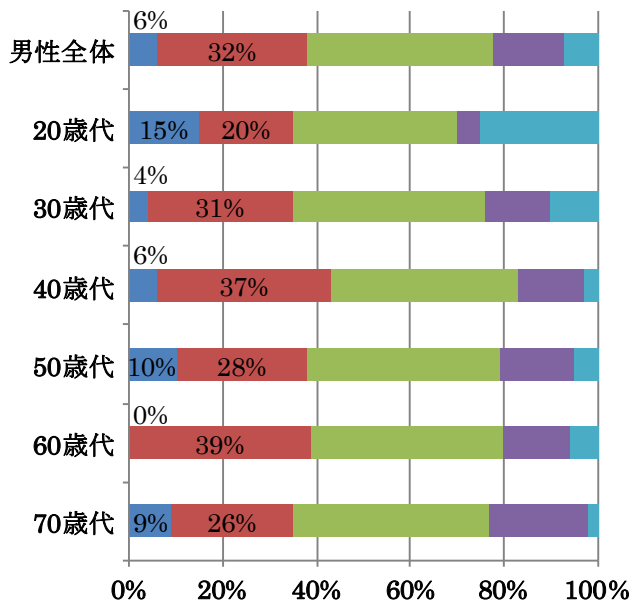
問8 - (29) 「皆が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 41%

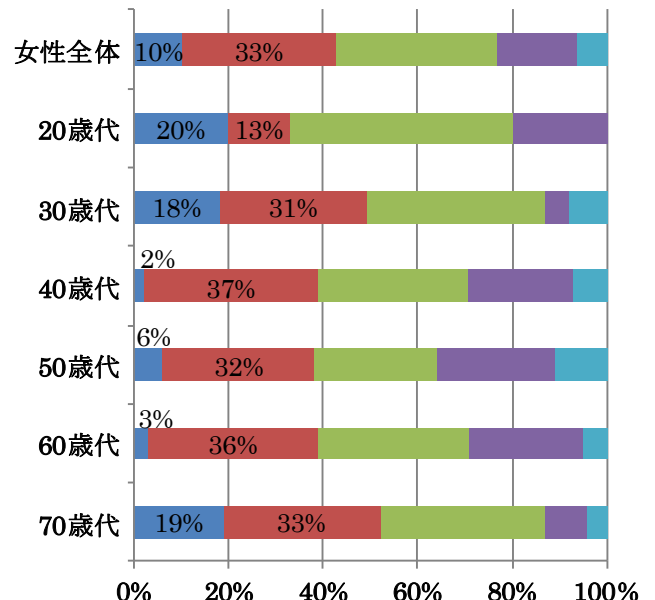
上記の値は、前回調査時と同様の41%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

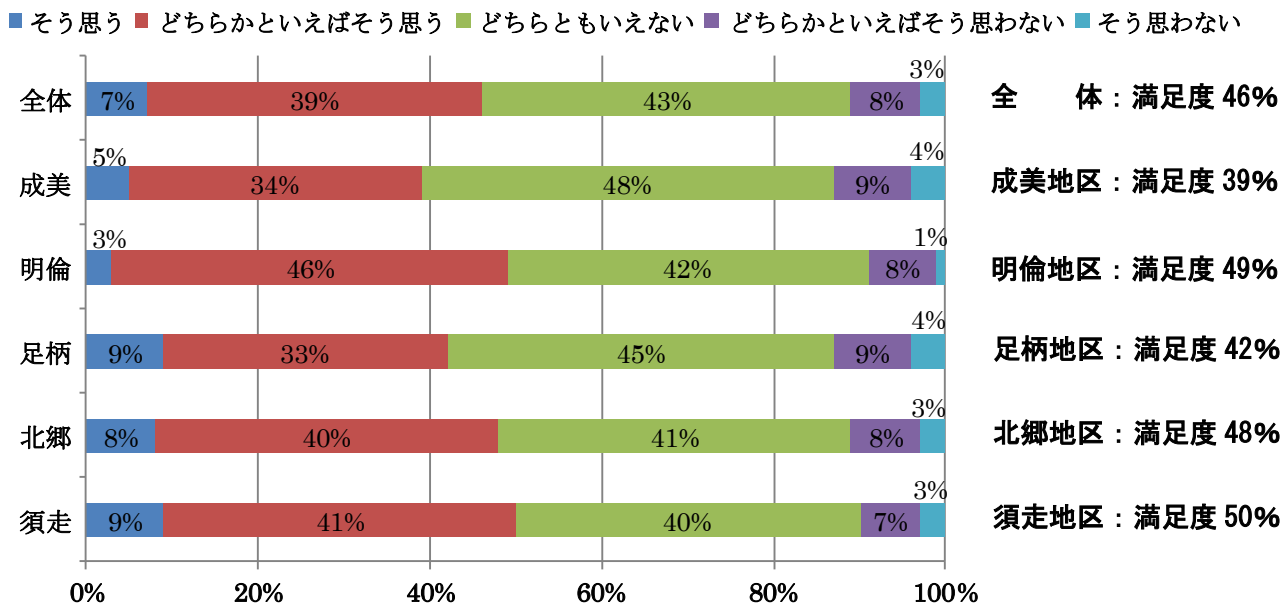


地区別の比較では、成美地区と須走地区の満足度が他の3地区と比べやや低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、40歳代の満足度が他の世代の満足度と比べやや高いという結果となっています。女性では、30歳代と70歳代の満足度が高く、20歳代の満足度が低いという結果となっています。

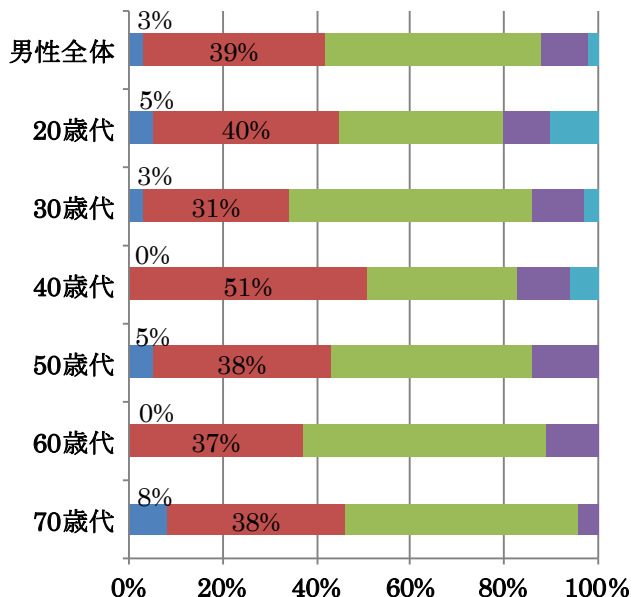
問 8 - (3 0) 「生きる力を育む学校教育が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 46%

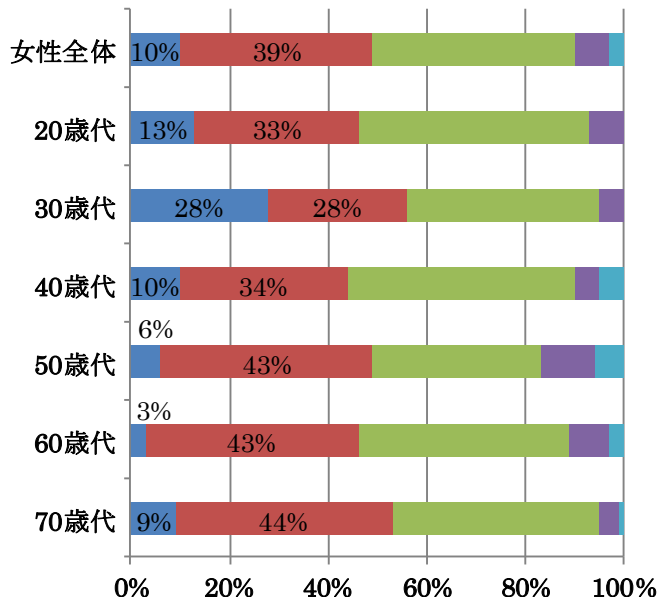
上記の値は、前回の48%から今回の46%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

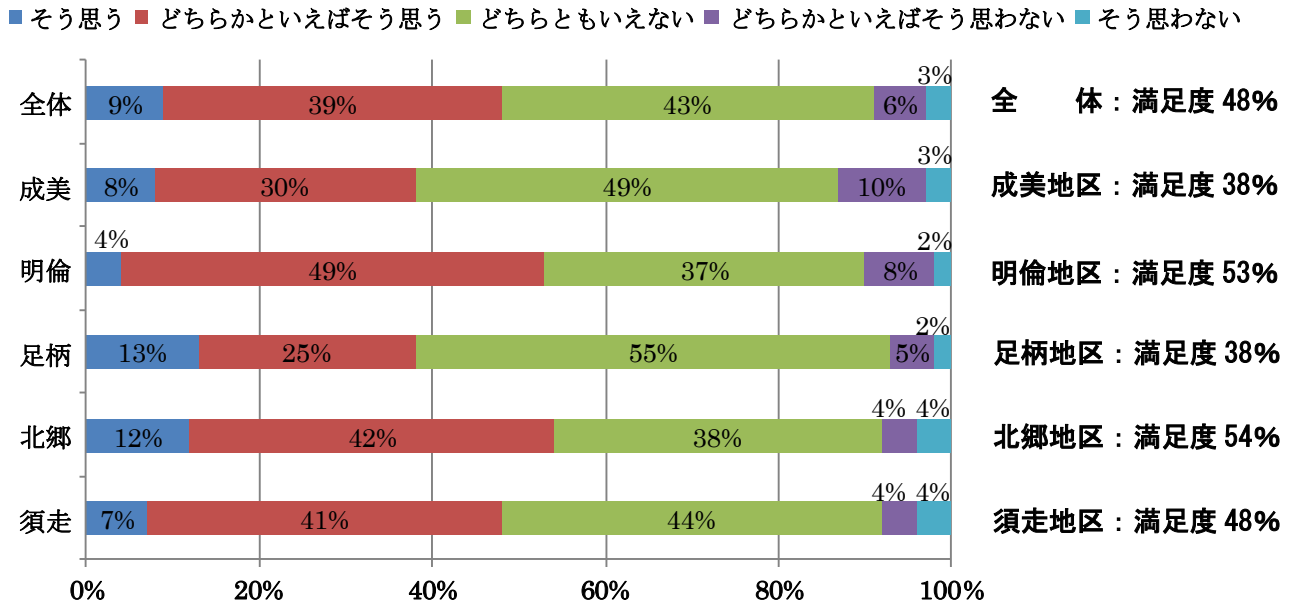


地区別の比較では、成美地区と足柄地区の満足度が他の3地区と比べ低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では40歳代の満足度が高く、30歳代と60歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、30歳代と70歳代の満足度が他の世代の満足度より高いという結果となっています。

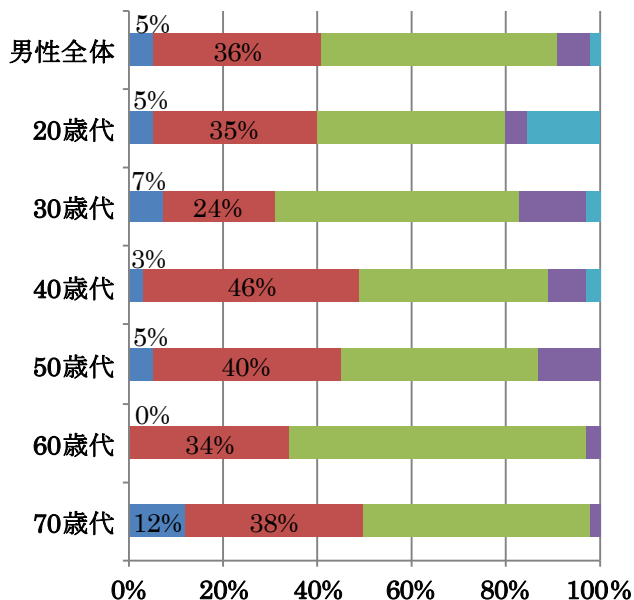
問 8 - (3 1) 「子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 48%

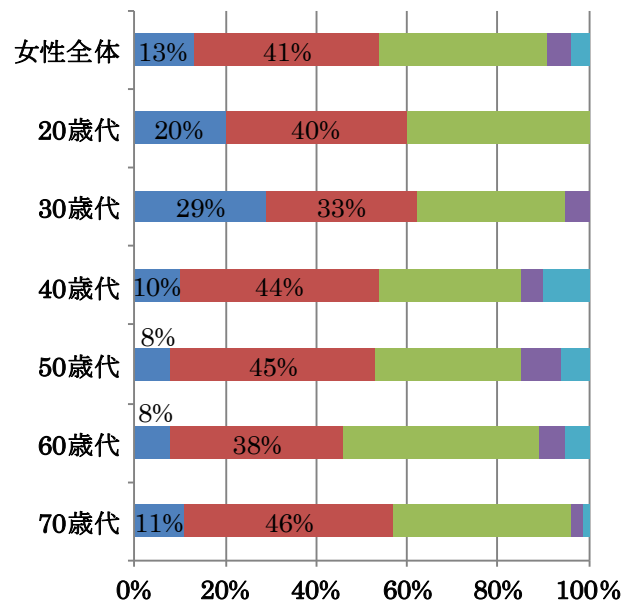
上記の値は、前回の51%から今回の48%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

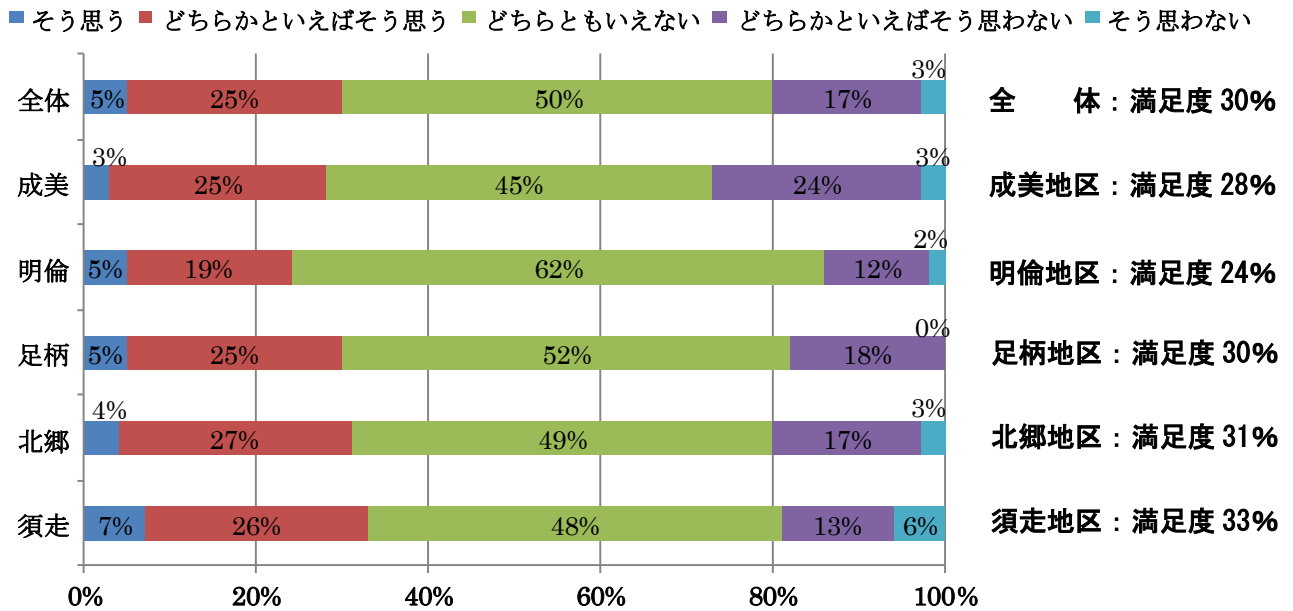


地区別の比較では、明倫地区と北郷地区の満足度が高く、成美地区と足柄地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性より女性の方が満足度が高い傾向にあります。男性では、40歳代と70歳代の満足度が高く、30歳代と60歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、20歳代と30歳代の満足度がやや高く、60歳代の満足度が低いという結果となっています。

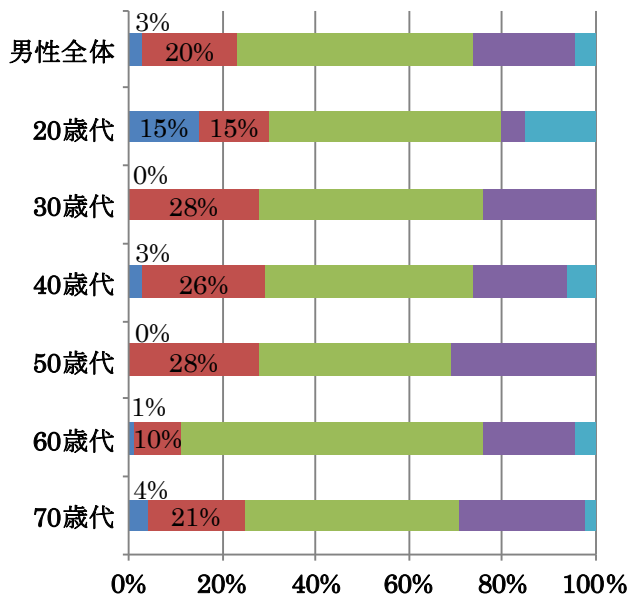
問 8 - (3 2) 「地域間交流や国際交流が活発に行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 30%

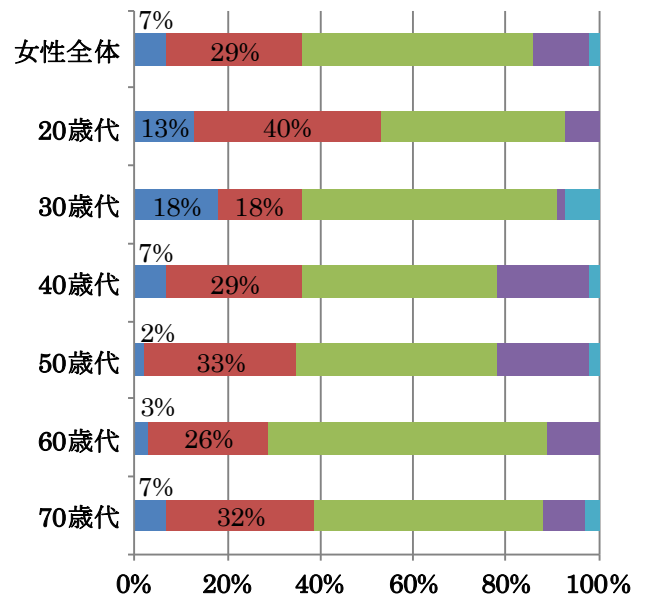
上記の値は、前回の37%から今回の30%に7%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

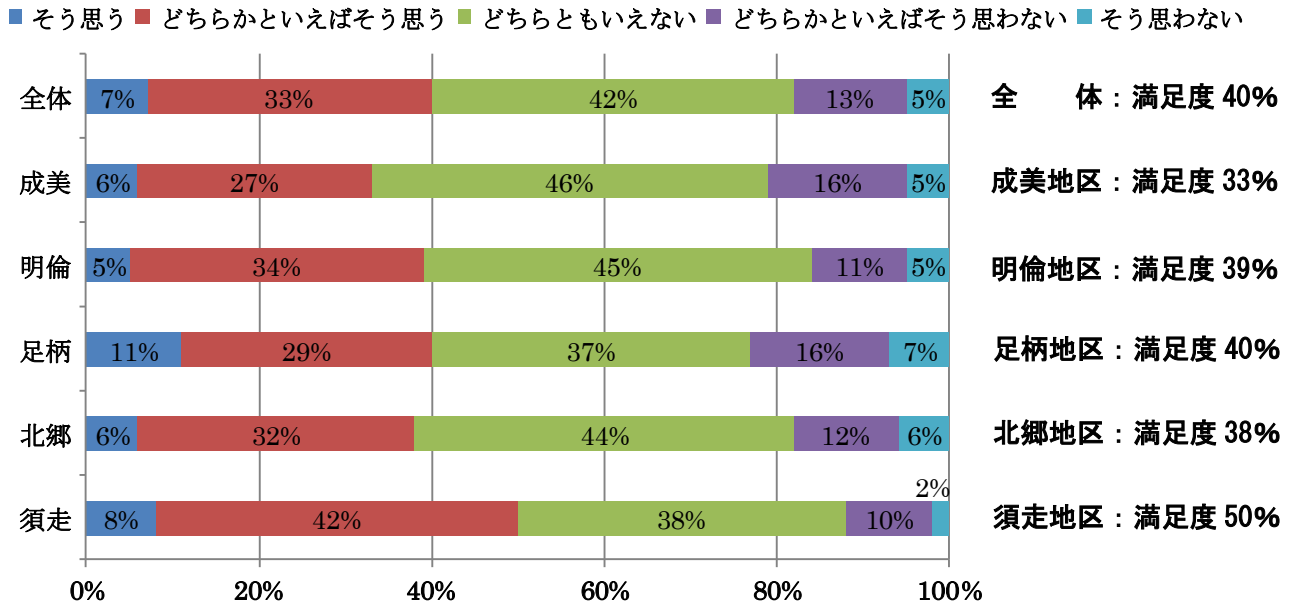


地区別の比較では、明倫地区の満足度が、他の地区に比べやや低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに、60歳代の満足度が他の世代の満足度に比べて低いという結果となっています。女性では、20歳代の満足度が他の世代の満足度と比べ高いという結果となっています。

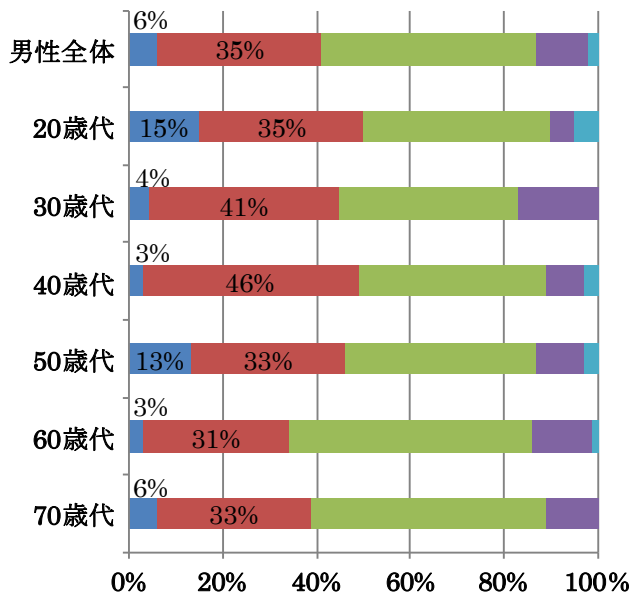
問8－(33) 「普段の生活の中で、男女が平等である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 40%

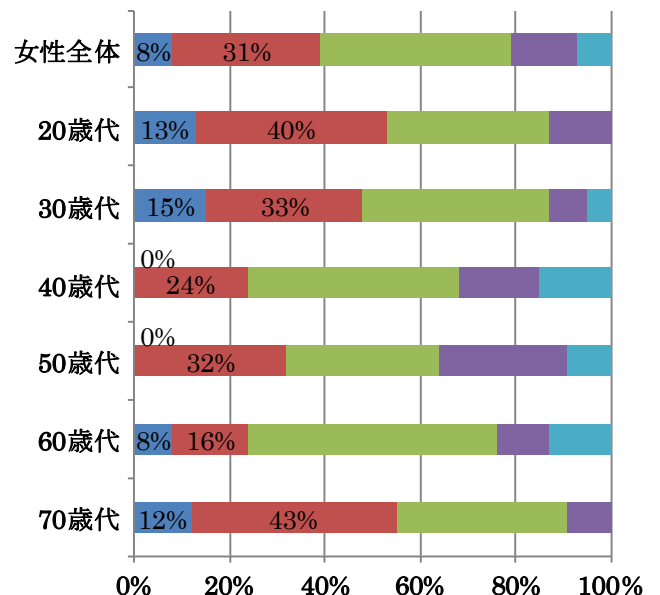
上記の値は、前回の43%から今回の40%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

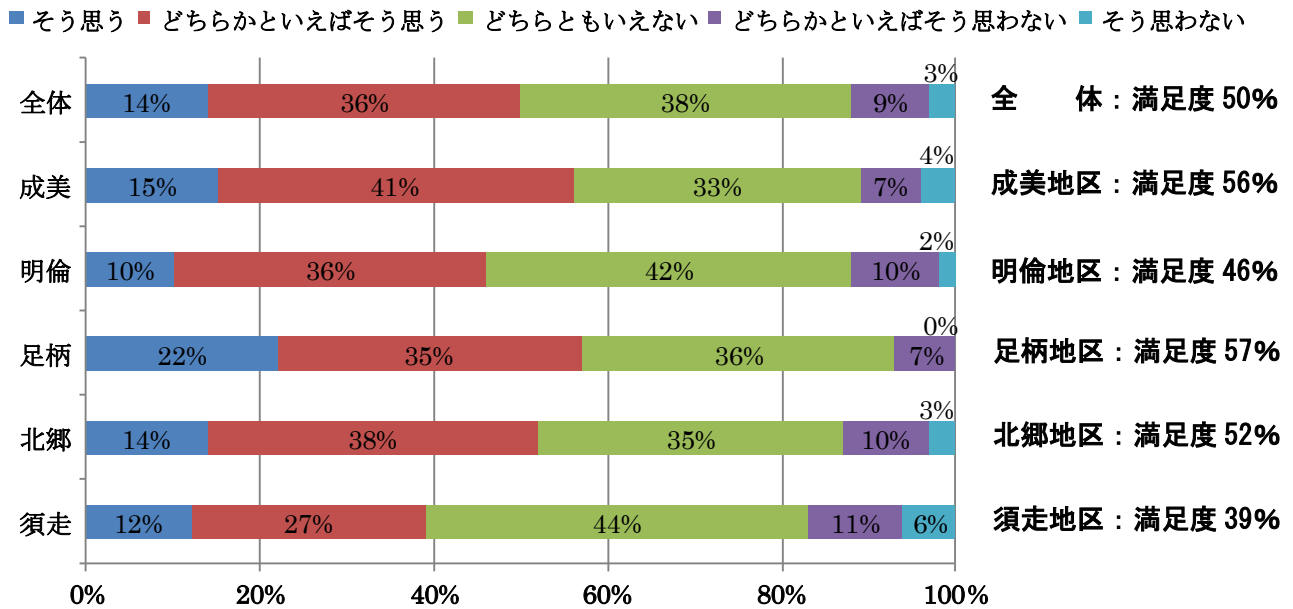


地区別の比較では、須走地区の満足度が高く、成美地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代と40歳代の満足度がやや高く、60歳代の満足度がやや低いという結果となっています。女性では、20歳代と30歳代、70歳代の満足度が高く、40歳代から60歳代にかけての満足度が低いという結果となっています。

問 8 - (3 4) 「企業誘致を活発に進めている」

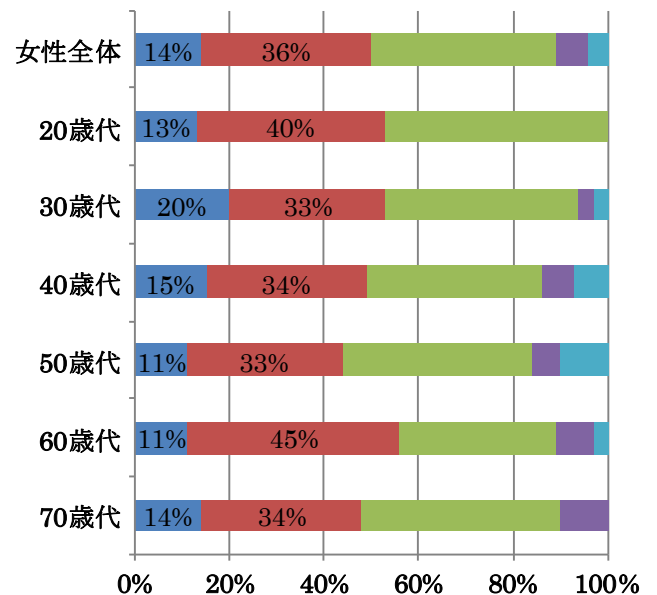
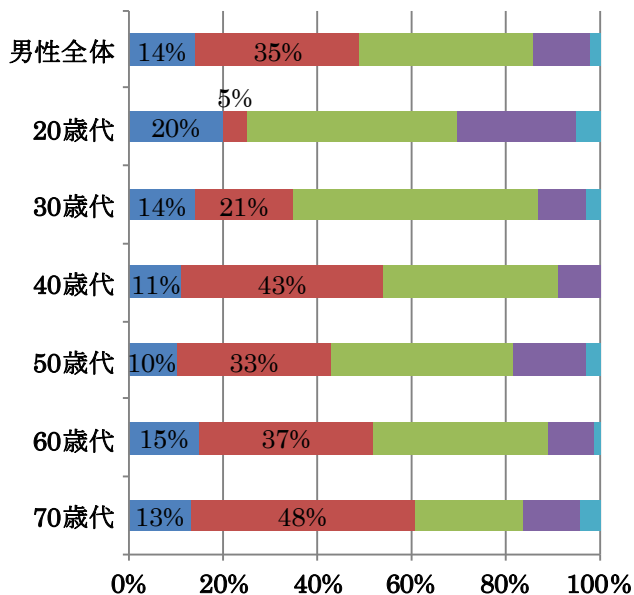
今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 50%

上記の値は、前回の 55%から今回の 50%に 5%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

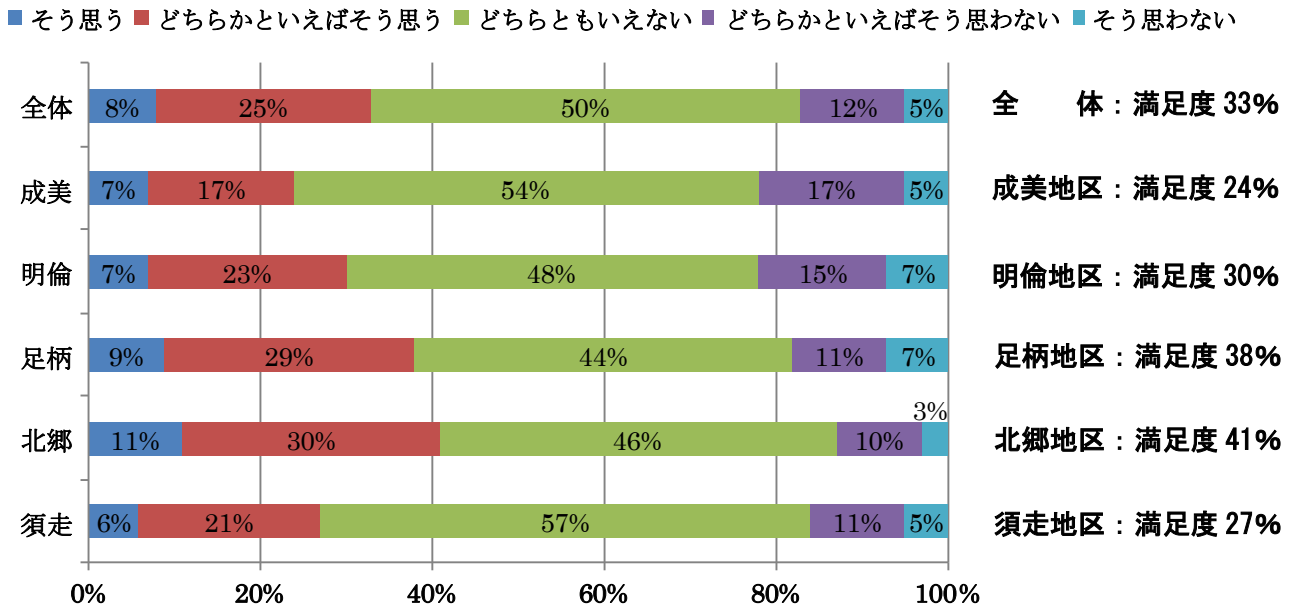


地区別の比較では、成美地区と足柄地区の満足度が高く、須走地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、70歳代の満足度が高く、20歳代の満足度が低いという結果となっており、世代が上の方が満足度が高い傾向にあります。女性では、60歳代の満足度がやや高く、50歳代の満足度がやや低いという結果となっています。

問 8 - (3 5) 「小山町が“農業”の活性化に取り組んでいる」

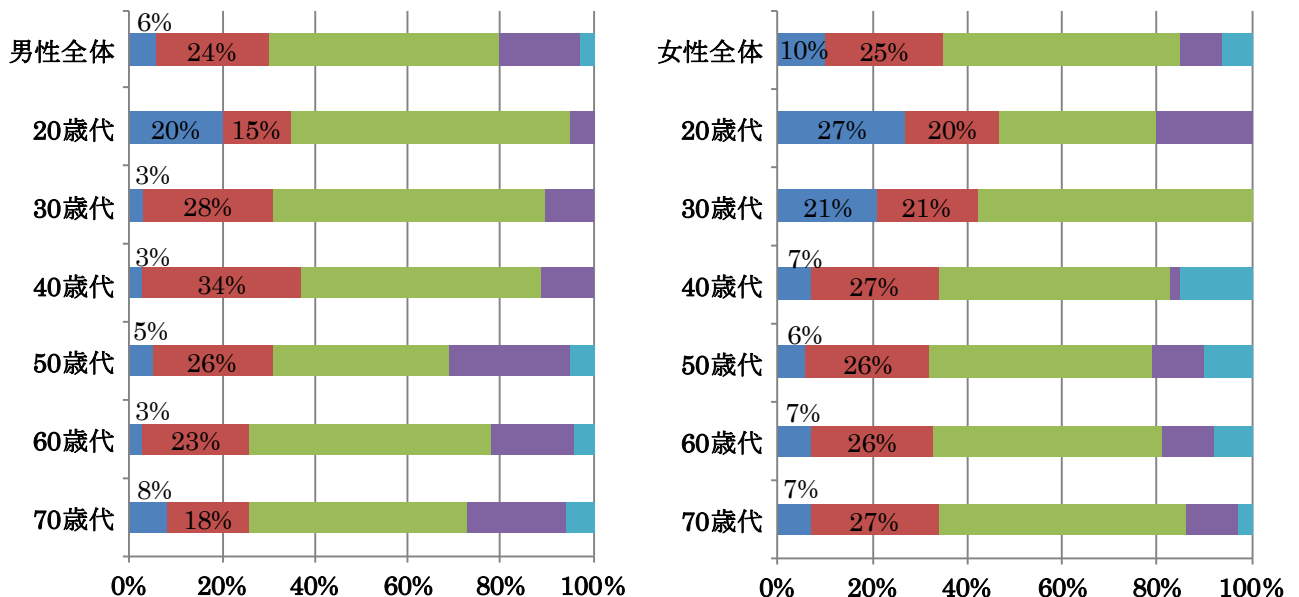
今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 33%

上記の値は、前回の39%から今回の33%に6%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

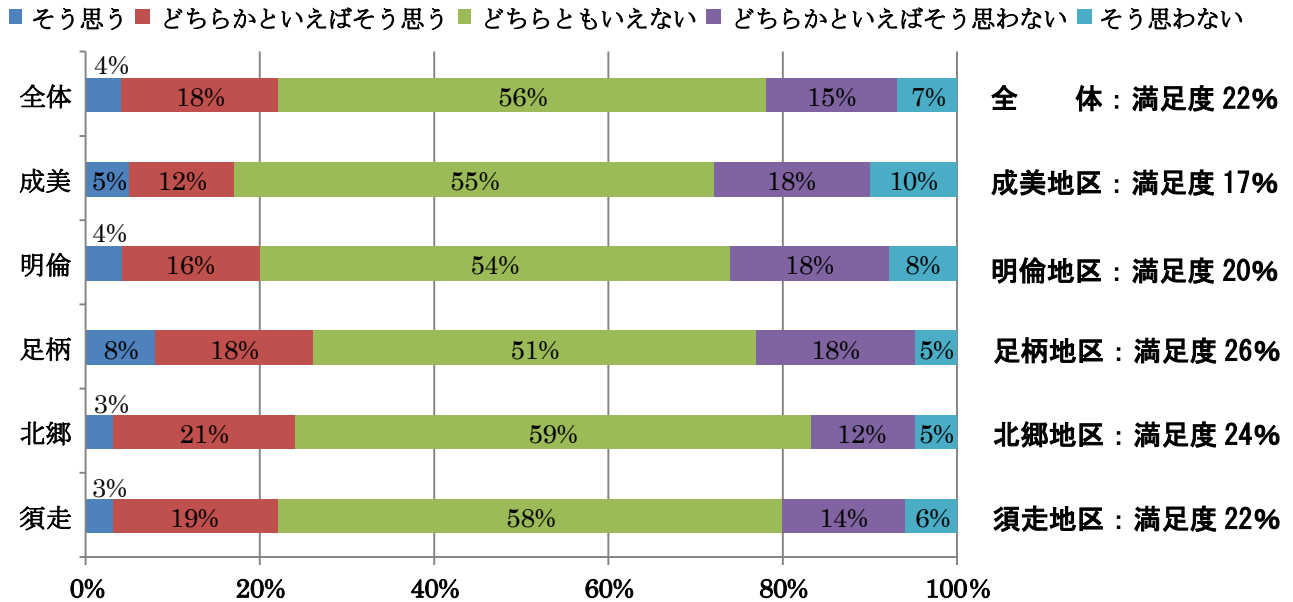


地区別の比較では、足柄地区と北郷地区の満足度が高く、成美地区と須走地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代と40歳代の満足度がやや高く、60歳代と70歳代の満足度がやや低いという結果となっています。女性では、20歳代と30歳代の満足度がやや高いという結果となっています。

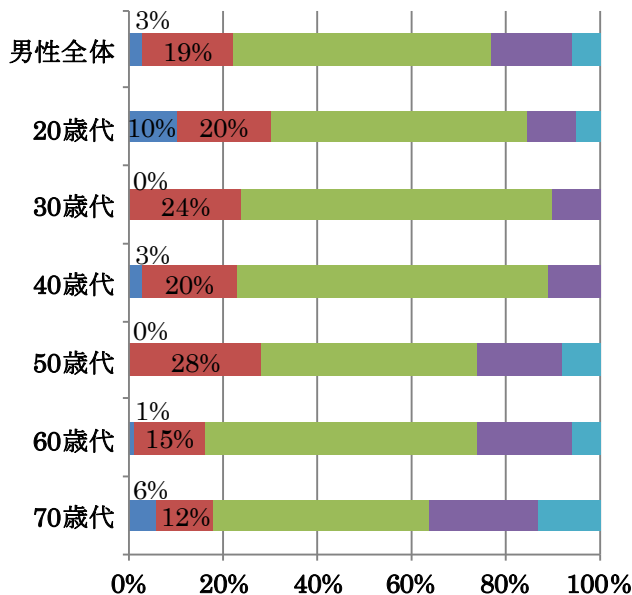
問 8 - (3 6) 「小山町が“林業”の活性化に取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 22%

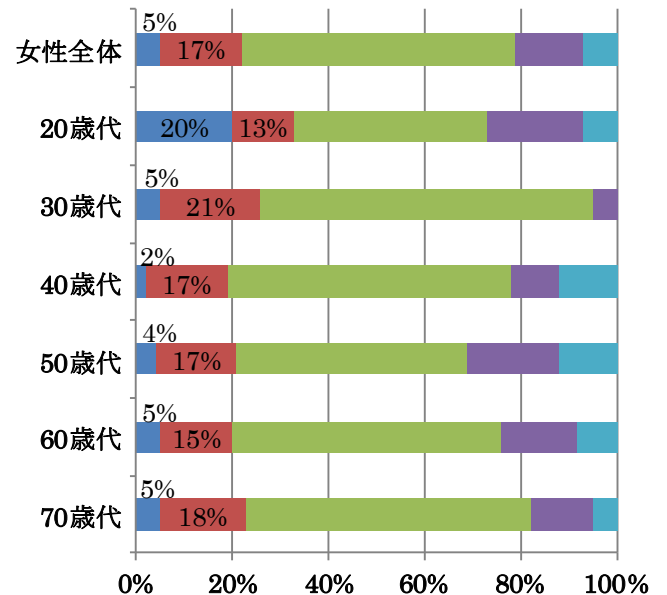
上記の値は、前回の27%から今回の22%に5%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

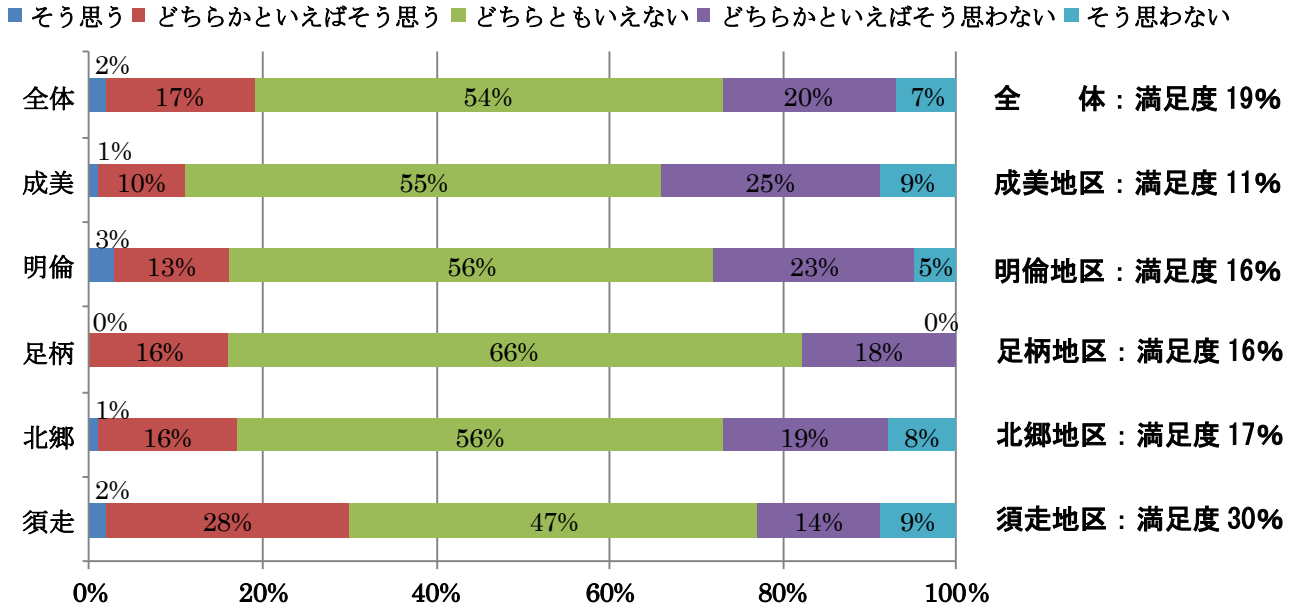


地区別の比較では、足柄地区の満足度が他の地区よりやや高く、成美地区の満足度がやや低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代と50歳代の満足度がやや高く、60歳代と70歳代の満足度がやや低いという結果となっています。女性では、20歳代の満足度が他の世代の満足度より高いという結果となっています。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

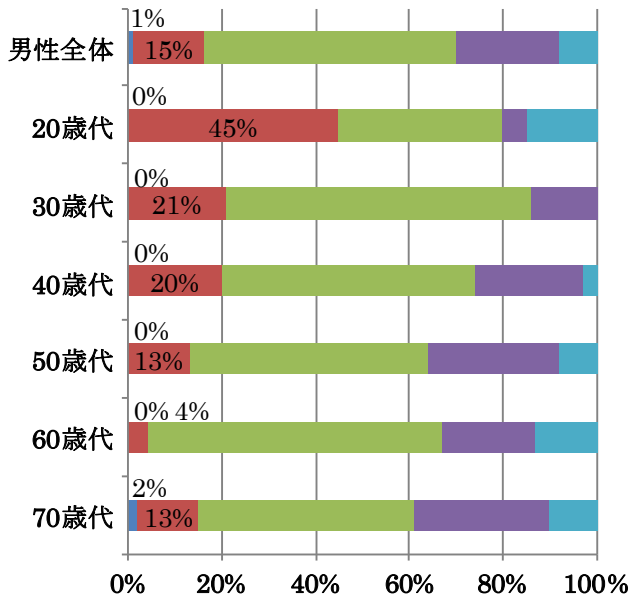
問 8 - (3 7) 「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 19%

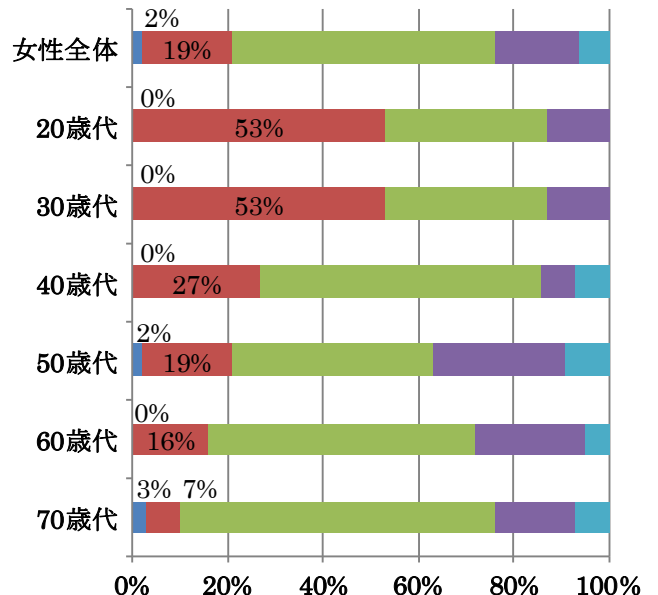
上記の値は、前回調査時と同様の 19%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

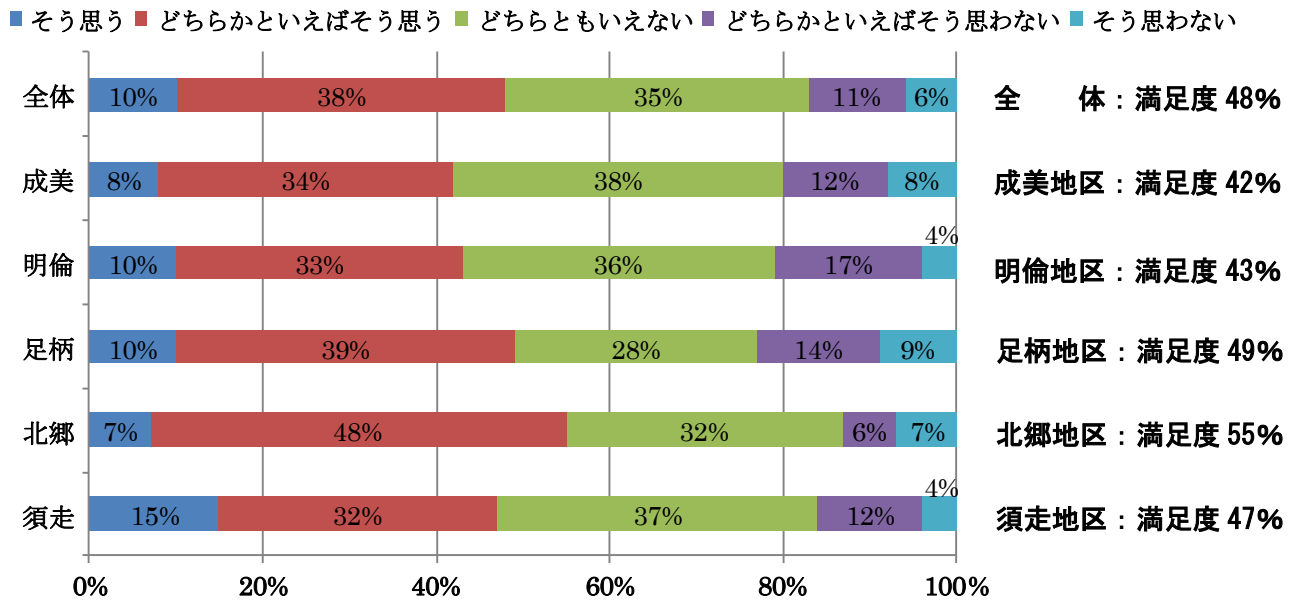


地区別の比較では、須走地区の満足度が高く、成美地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代の満足度が高く、60歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、20歳代と30歳代の満足度が高く、60歳代と70歳代の満足度が低いという結果となっており、年齢が上の世代ほど満足度が低い傾向にあります。

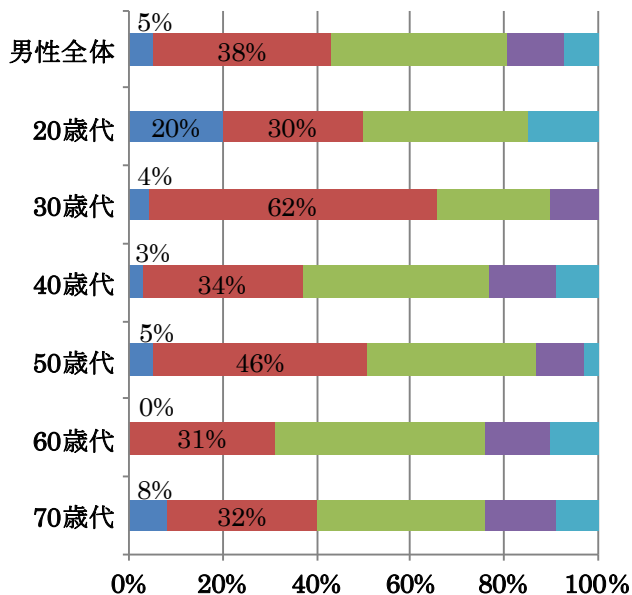
問 8 - (3 8) 「金太郎生誕の地おやま」のPRが行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 48%

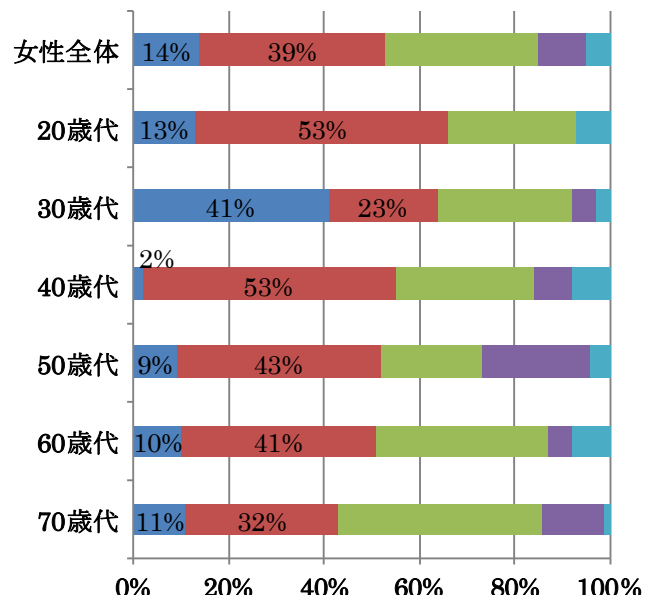
上記の値は、前回の53%から今回の48%に5%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

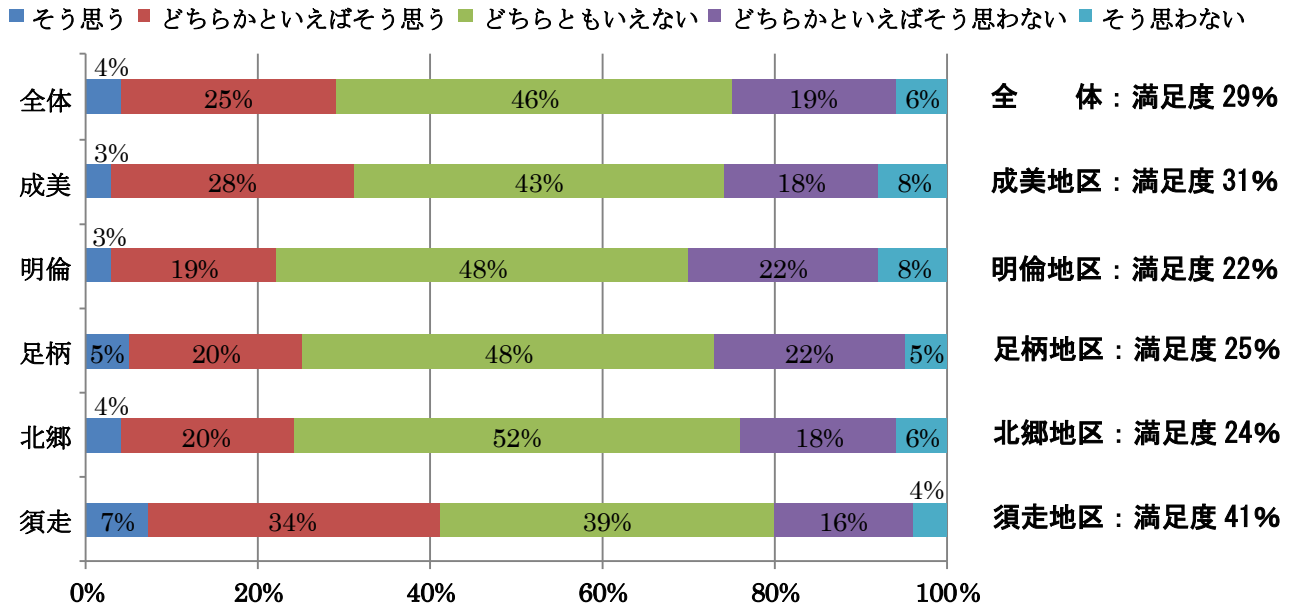


地区別の比較では、北郷地区の満足度が他の地区と比べやや高いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、30歳代の満足度が高く、40歳代と60歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、20歳代と30歳代の満足度が高く、70歳代の満足度が低いという結果となっています。特に女性の30歳代は「そう思う」を選択する人の割合が非常に高いという結果となっています。

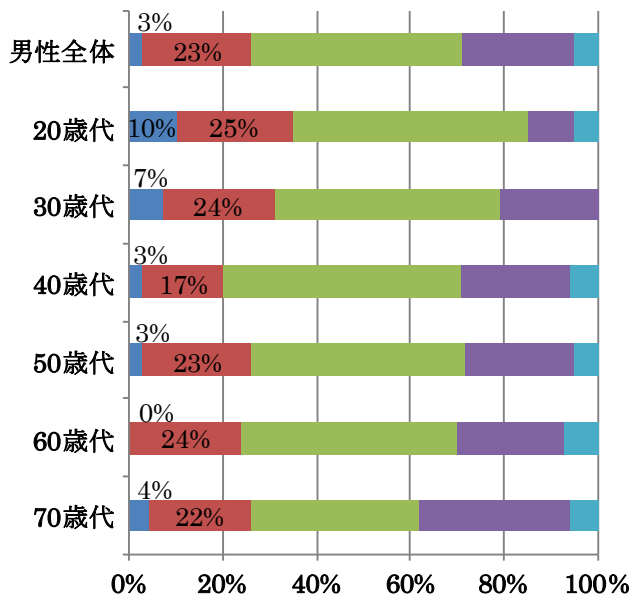
問8－(39) 「富士山須走口について情報発信が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 29%

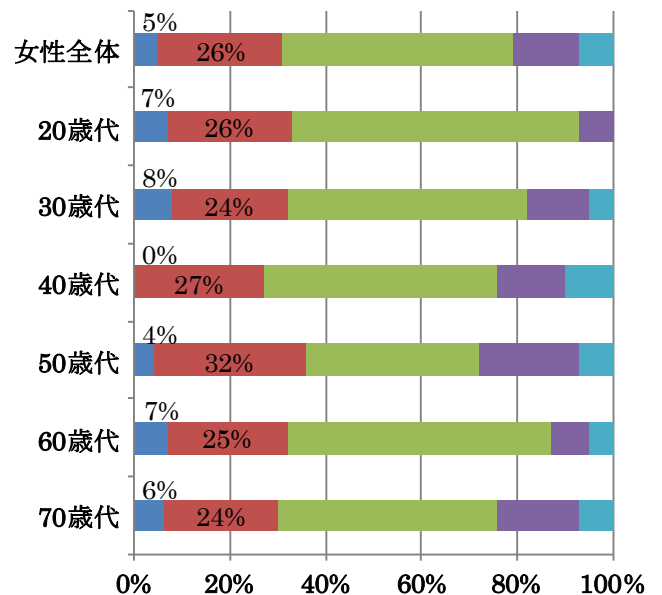
上記の値は、前回の35%から今回の29%に6%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

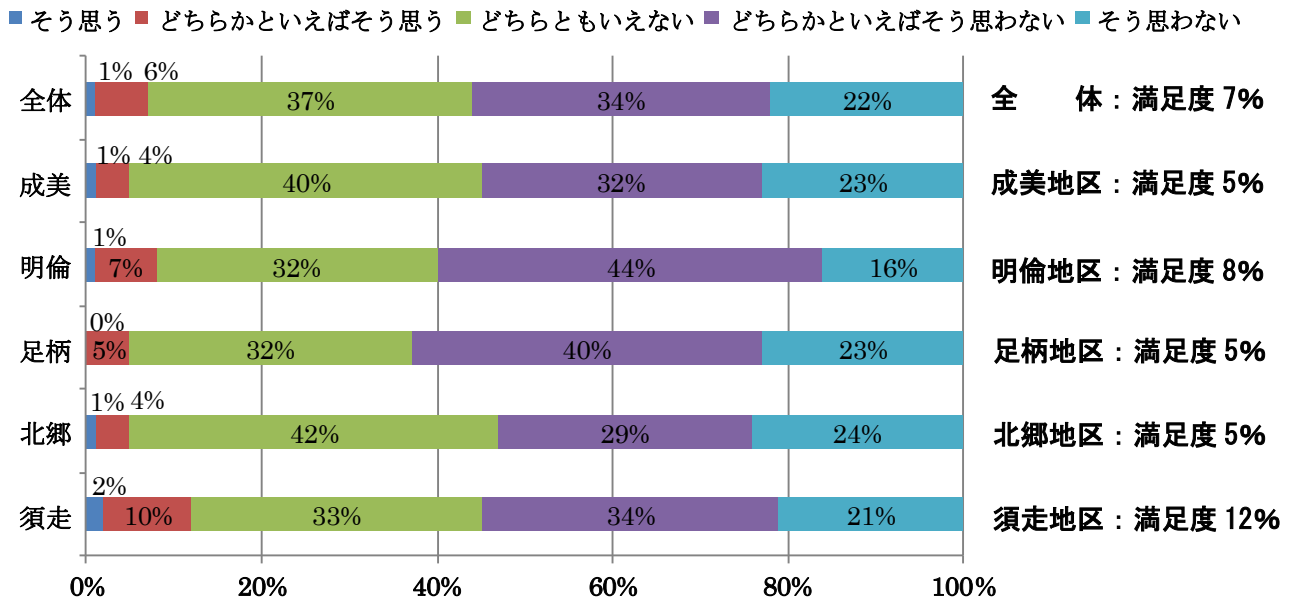


地区別の比較では、須走地区の満足度が高く、次いで成美地区の満足度が他の3地区の満足度よりやや高いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代と30歳代の満足度がやや高く、40歳代の満足度がやや低いという結果となっています。女性では、50歳代の満足度がやや高く、40歳代の満足度がやや低いという結果となっています。

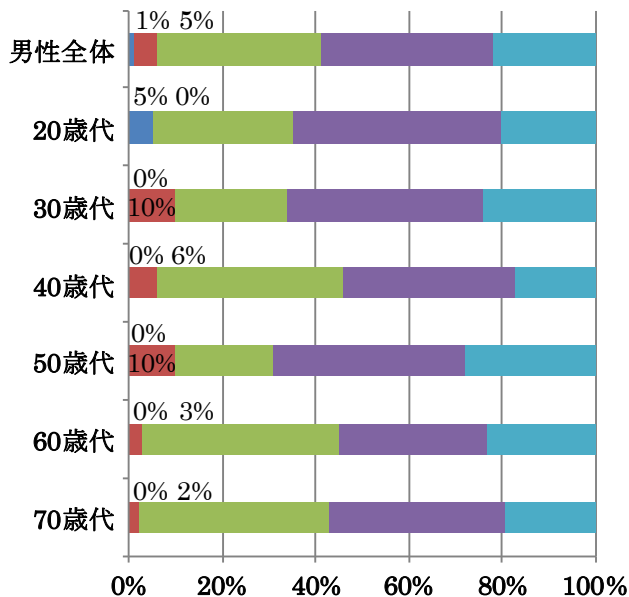
問8－(40) 「賑わいのある商業地づくりを行っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 7%

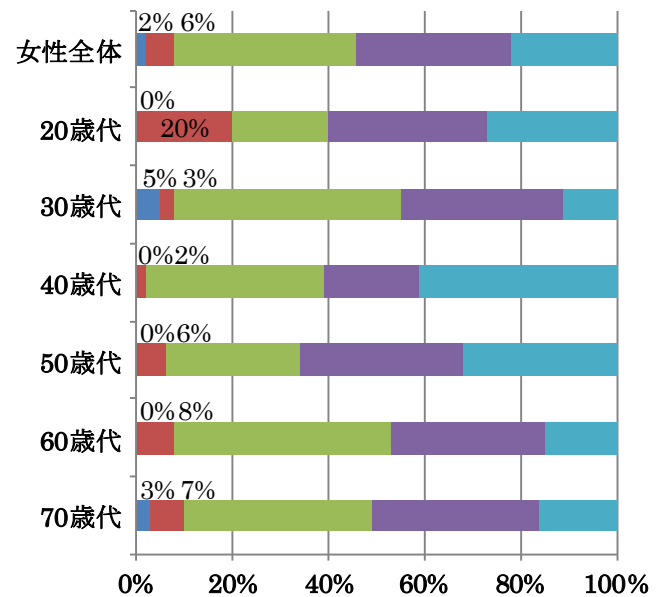
上記の値は、前回の11%から今回の7%に4%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

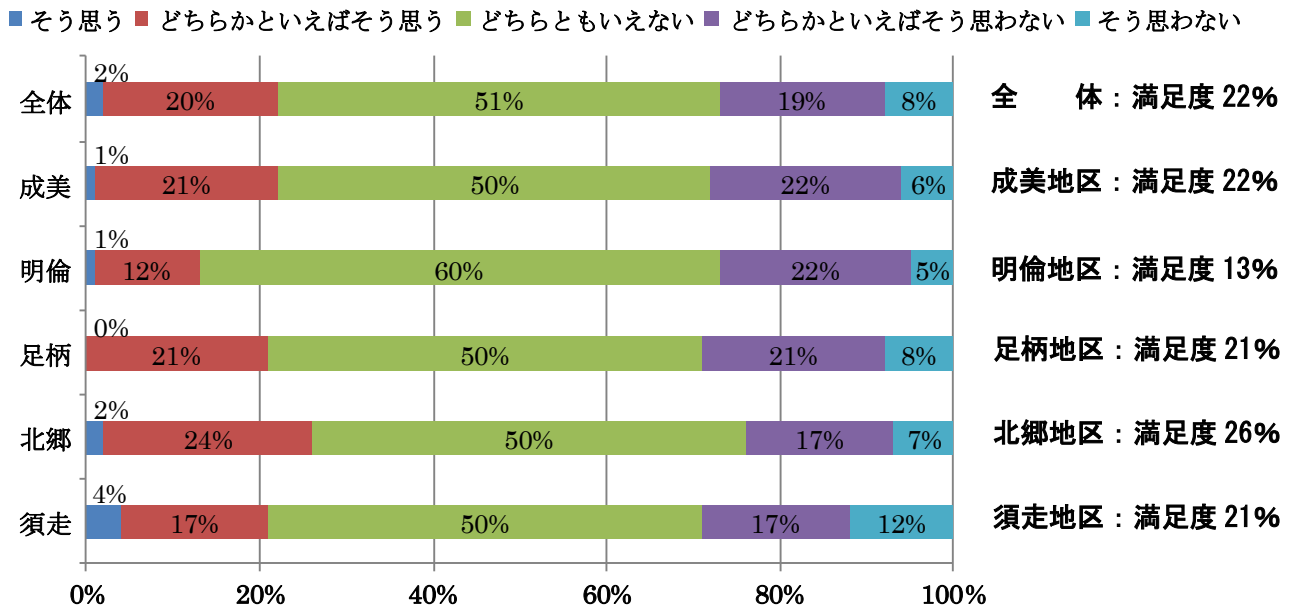


地区別の比較では、他の地区に比べ須走地区の満足度がやや高いものの、全体的に満足度は低い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代以外の世代で「そう思う」を選択する人の割合が0%となっています。女性では、他の世代と比べ20歳代の満足度がやや高いものの、全体的に満足度は低い傾向にあります。

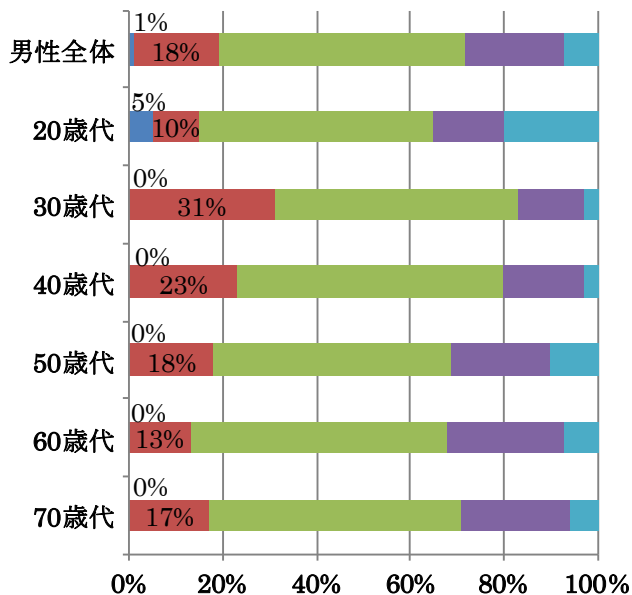
問8－(41) 「周辺市町村との連携が進んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 22%

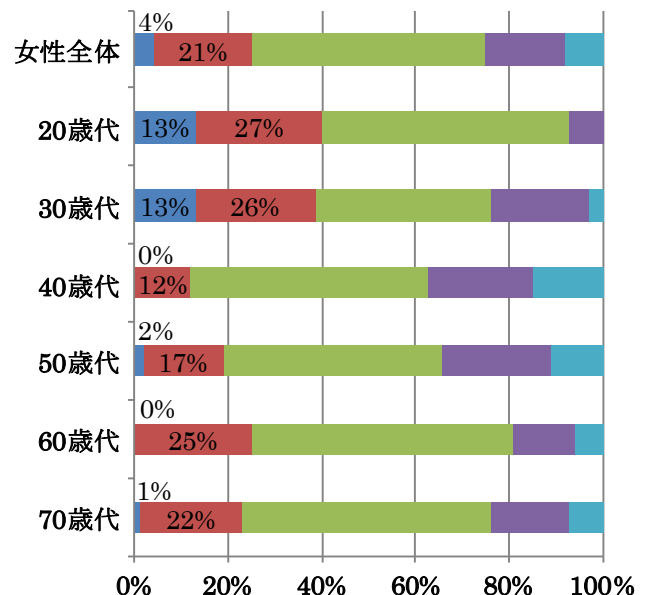
上記の値は、前回の28%から今回の22%に6%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

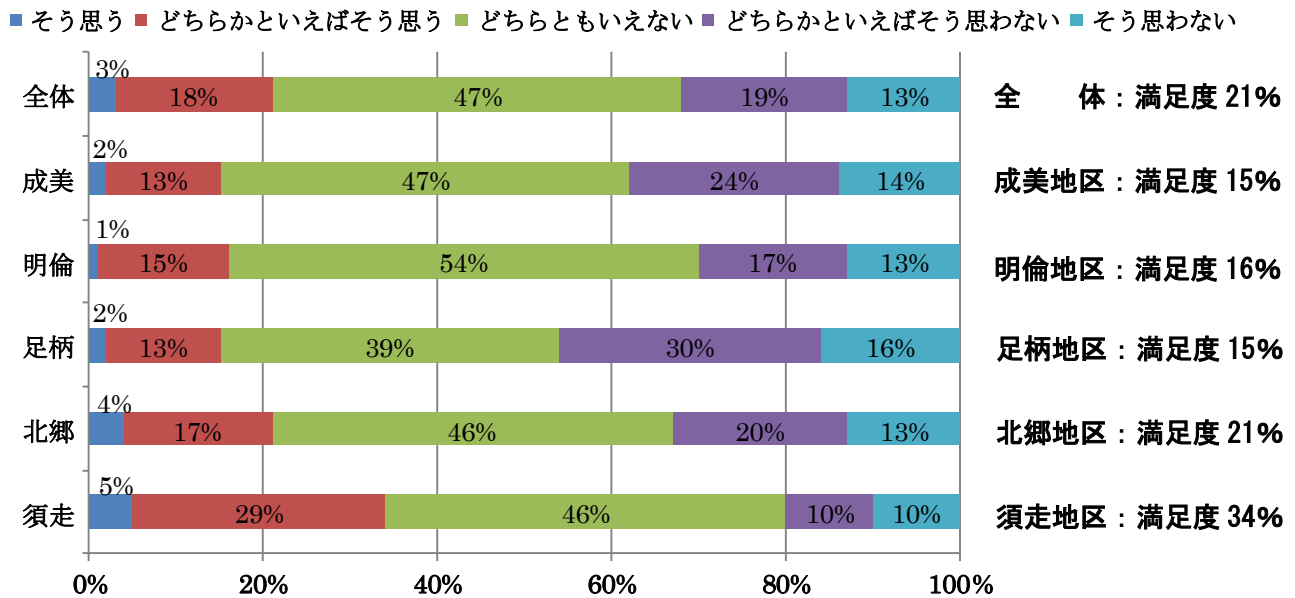


地区別の比較では、明倫地区の満足度が低く、北郷地区の満足度が高いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、30歳代の満足度が高く、20歳代と60歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、20歳代と30歳代の満足度が高く、40歳代の満足度が低いという結果となっています。

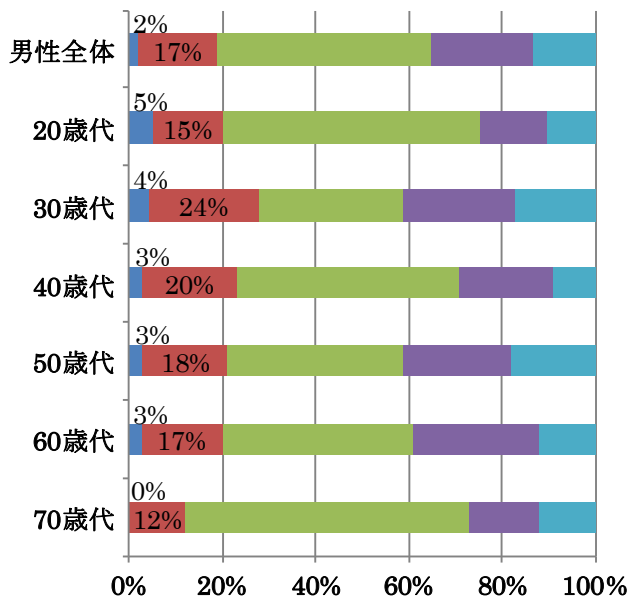
問 8 - (4 2) 「町の財政運営が健全である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 21%

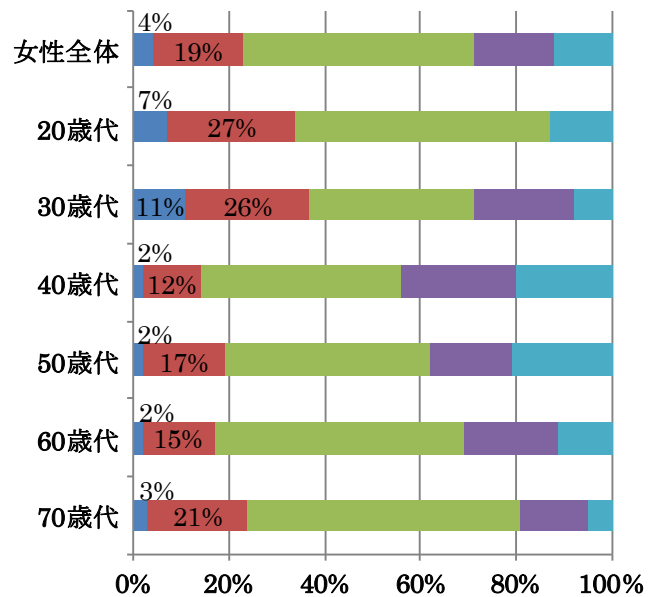
上記の値は、前回の31%から今回の21%に10%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

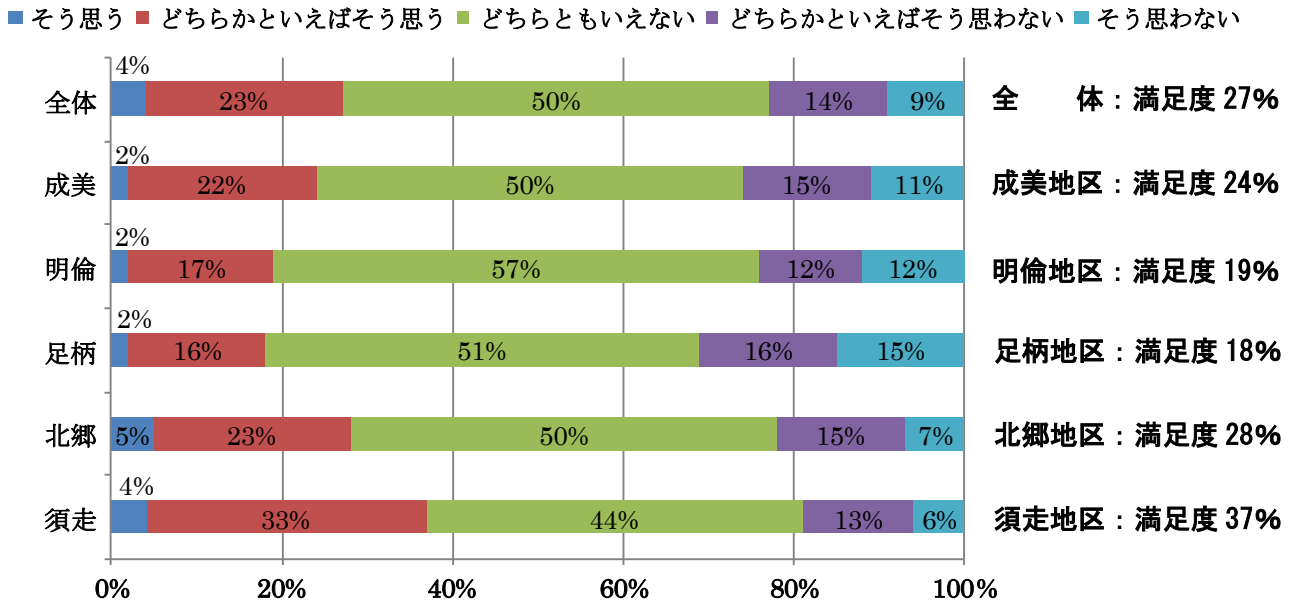


地区別の比較では、須走地区の満足度が他の4地区に比べて高いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、他の世代と比べ30歳代の満足度がやや高く、70歳代の満足度がやや低いという結果となっています。女性では、20歳代と30歳代の満足度が高いという結果となっています。

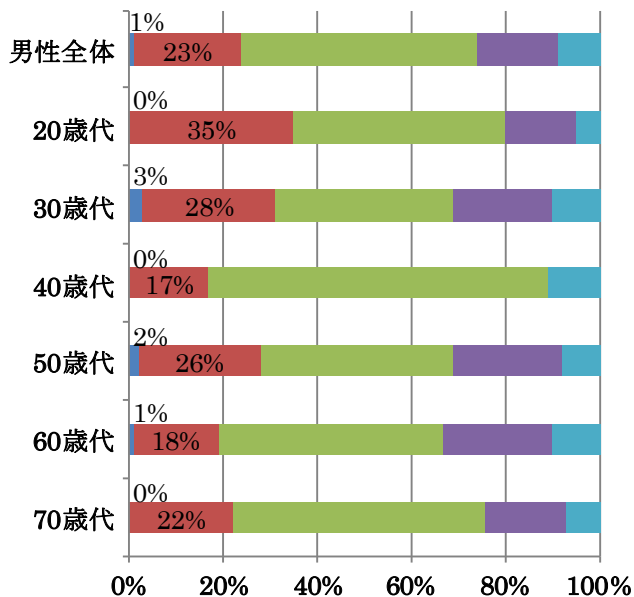
問8－(43) 「町民のための行政運営が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 27%

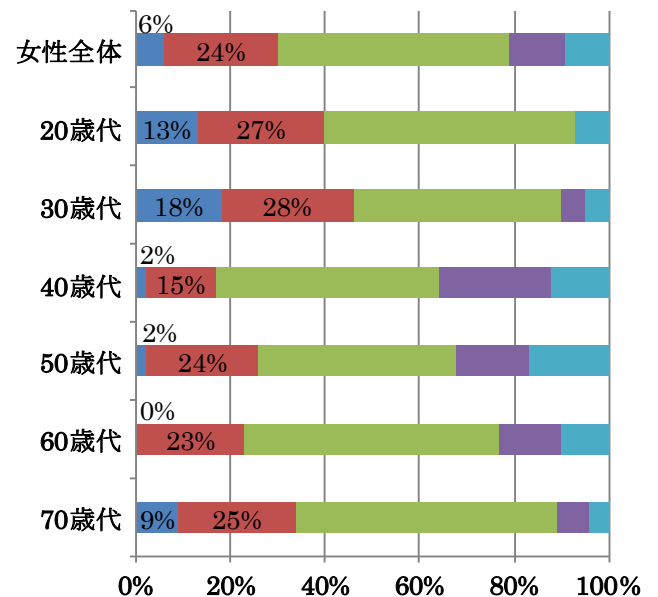
上記の値は、前回の33%から今回の27%に6%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

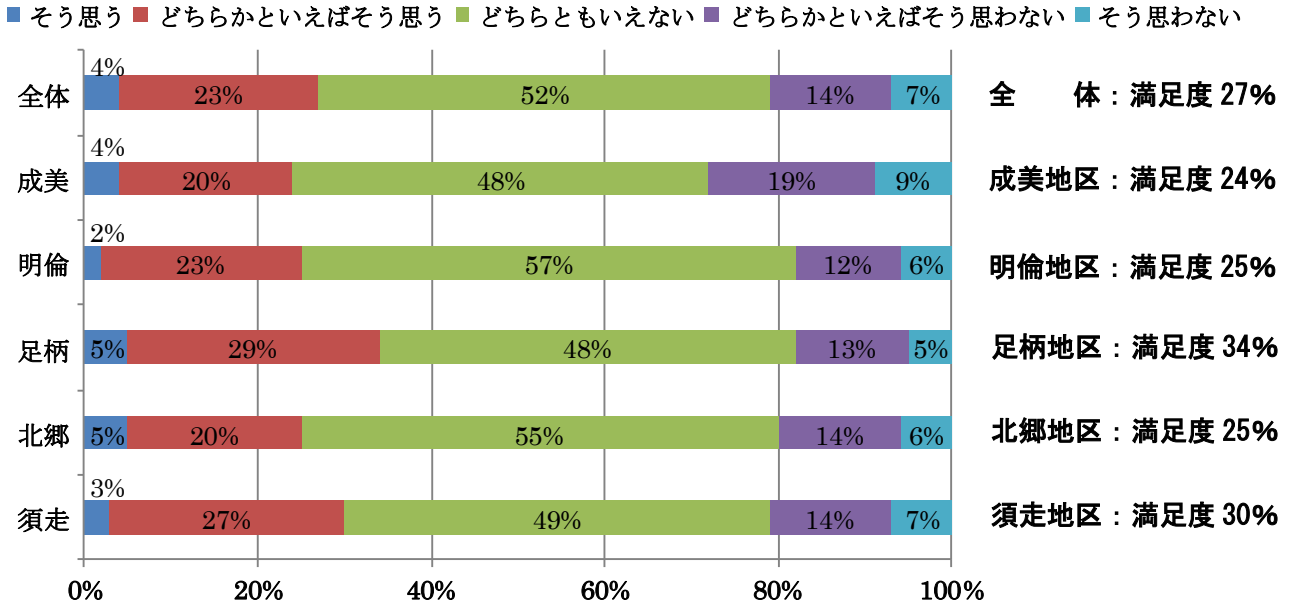


地区別の比較では、須走地区の満足度が高く、明倫地区と足柄地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに20歳代と30歳代の満足度が他の世代の満足度より高く、40歳代の満足度が他の世代の満足度より低いという結果となっています。

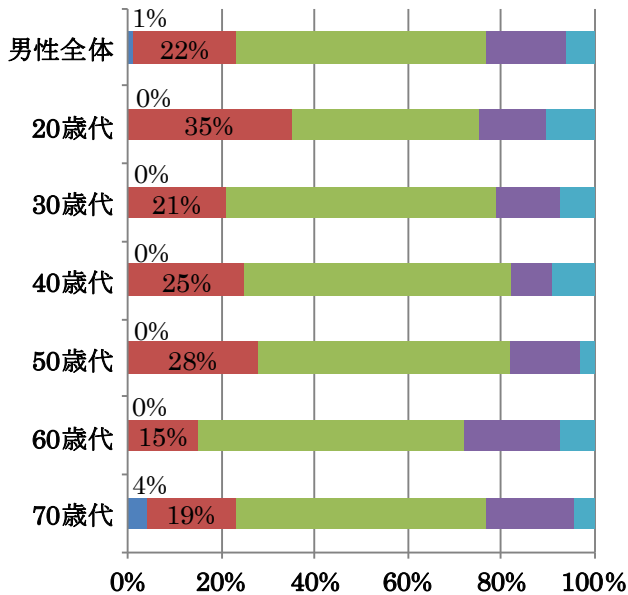
問8- (44) 「地域コミュニティが活発である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 27%

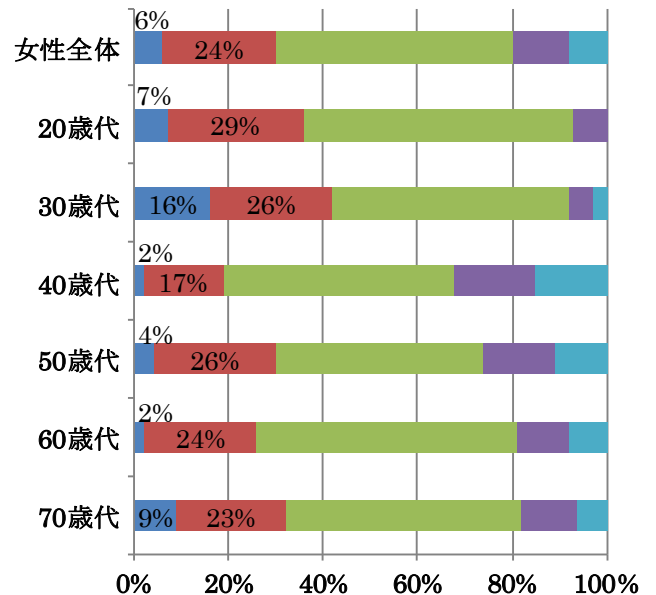
上記の値は、前回の33%から今回の27%に6%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

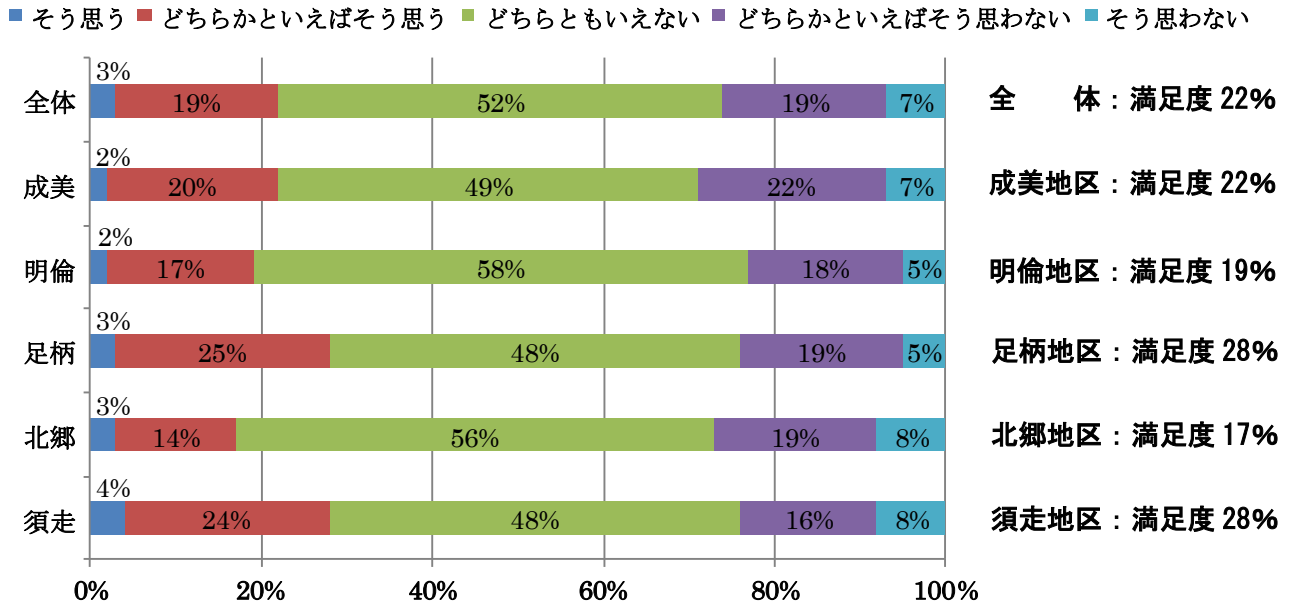


地区別の比較では、足柄地区と須走地区の満足度が高いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では20歳代の満足度が他の世代の満足度より高いという結果となっています。女性では20歳代と30歳代の満足度が他の世代の満足度より高いという結果となっています。また、全ての比較において「どちらとも言えない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

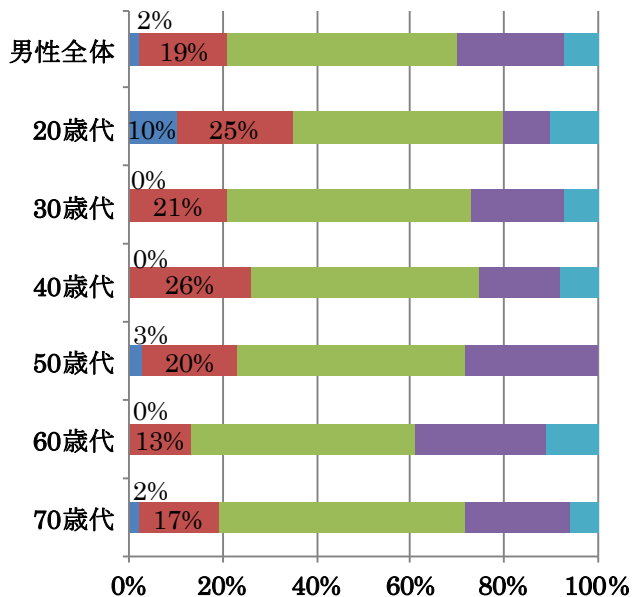
問8－(45) 「町民が参加してまちづくりを進めている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 22%

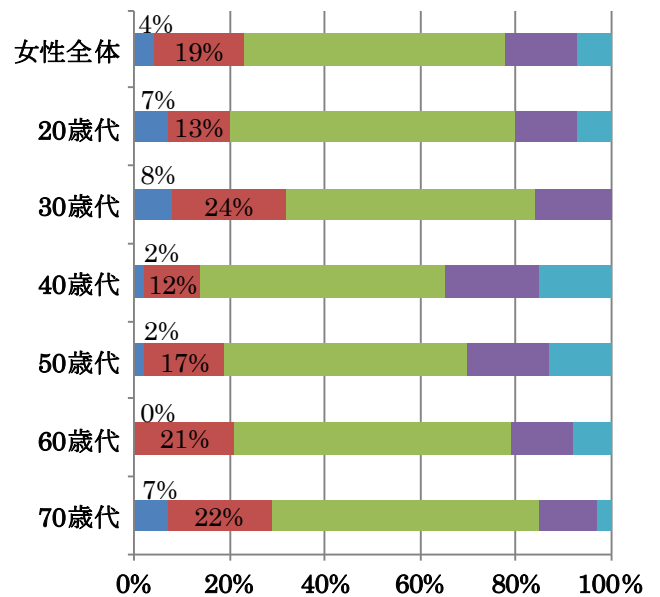
上記の値は、前回の30%から今回の22%に8%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

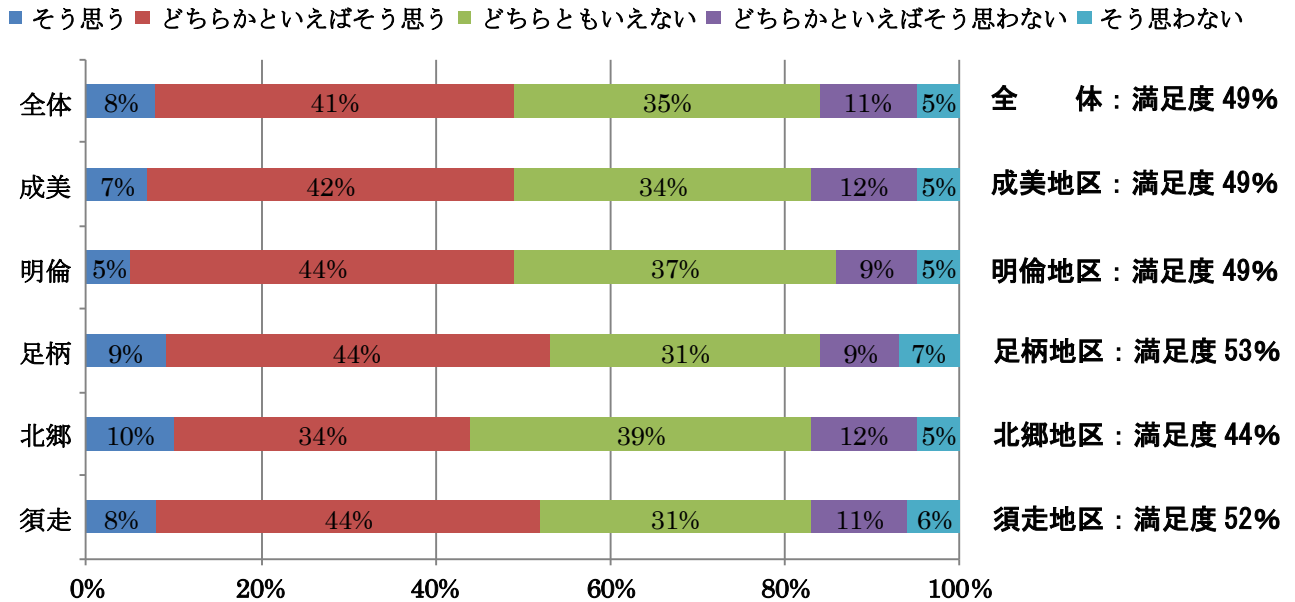


地区別の比較では、足柄地区と須走地区の満足度が高く、明倫地区と北郷地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では20歳代の満足度が高く、60歳代の満足度が低いという結果となっています。女性では、30歳代の満足度が高く、40歳代の満足度が低いという結果となっています。また、全ての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(46) 「役場からの必要な情報が伝わっている」

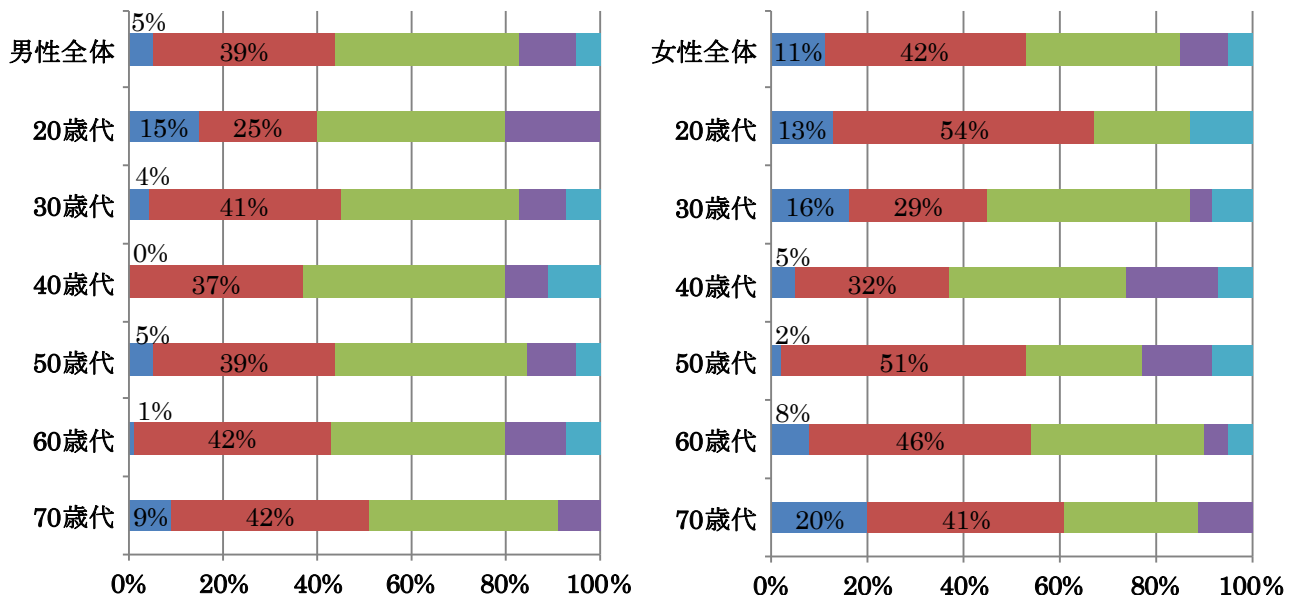
今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 49%

上記の値は、前回の47%から今回の49%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】



地区別の比較では、足柄地区と須走地区の満足度がやや高く、北郷地区の満足度がやや低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに70歳代の満足度が高く40歳代の満足度が低いという結果となっています。男性では20歳代の満足度が他の世代の満足度と比べやや低いものに対して、女性では20歳代の満足度が他の世代の満足度より高いという結果となっています。